

2013(平成25)年度

# 事業報告書

学校法人 麻布獣医学園



# 2013 (平成25) 年度 事業報告書

## 目次

### I 法人の概要

1. 建学の精神	1
2. 設置する学校	1
3. 沿革	2
4. 将来に向けてのビジョン[学校法人麻布獣医学園中期目標・中期計画]	4
5. 機構図	6
6. 役員・評議員	7
(1) 役員	7
(2) 評議員	8
7. 学生・生徒の状況	9
(1) 入学定員, 収容定員, 学生・生徒数, 収容定員充足率	9
(2) 専任教員一人当たりの学生数	10
(3) 留学生数	10
(4) 社会人学生数	10
(5) 非正規課程履修者	10
8. 教職員の状況	11
(1) 大学教員(常勤)	11
(2) 高等学校教員(常勤)	11
(3) 職員(常勤)	11
(4) 非常勤教職員	12
(5) 年齢別大学教員数(常勤)	12
(6) 専任教員と非常勤教員の比率	12

### II 事業の概要

1. 平成25年度事業計画の実施状況	13
2. 教育研究の概要	20
(1) 平成25年度の教育実施体制	20
(2) 教育に関する情報	21
① 入学者の選抜	21
② 教育課程	28
③ 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準	32
④ 平成25年度卒業生・修了者数及び進路状況	37
⑤ 国家試験合格率の推移	39
⑥ 退学者数・中退率・留年者数	40
⑦ 学習環境	41
⑧ 学生納付金	43
⑨ 学生支援と奨学金	45
⑩ 学生表彰制度	47
⑪ 学生の課外活動の状況	47
⑫ 国際交流	48
⑬ 大学間等の連携	49
⑭ 高大連携協定校	49

(3) 研究に関する情報	50
①競争的資金等受入状況	50
②学内競争的資金の状況	51
③知的財産データ	51
④受託研究等の受入状況	52
(4) 麻布大学附属瀧野辺高等学校に関する情報	53
3. 管理運営の概要	56
(1) 学園運営に係る会議等	56
(2) 会議等の開催状況	56
(3) 平成25年度 行事報告	66

### III 財務の概要

1. 財務状況の推移	75
2. 財務比率の推移	77
3. 寄附金収入の推移	79
4. 経常費補助金の推移	79
5. 動物病院収入の推移	80
6. 資金残高	80

# I 法人の概要

法人名	学校法人 麻布獣医学園
理事長名	政岡 俊夫
所在地	神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-1 7-7 1
目的	教育基本法及び学校教育法に従い、大学教育及び高等学校教育を行う。

## 1. 建学の精神

### 学理の討究と誠実なる実践

本学は、創設者與倉東隆先生の建学の精神である、学理を討究し実践を重んじる誠実なる校風を受け継ぎ、人と動物との共存及び人と自然環境との調和の途を探求することを目的として、獣医学、動物応用科学及び生命環境科学に関する専門の知識を教授研究し、その応用力の展開をはかるとともに、進んで学術の進歩と国民生活の向上に寄与し、平和社会の建設に貢献することとしています。

## 2. 設置する学校

### ◆ 麻布大学

設置認可年月	昭和25(1950)年 2月
学 長 名	政岡 俊夫
所 在 地	神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-1 7-7 1
目 的	[大 学]

獣医学、畜産学、動物応用科学、生命科学及び環境科学に関する専門の学術を教授研究し、その応用能力の展開をはかるとともに、人格の完成につとめ、進んで学術の進歩と人類の生活向上に寄与し、平和社会の建設に貢献する。

[大学院]

学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与する。

◆ 教育研究の理念 ◆  
地球共生系  
～人と動物と環境の共生をめざして～

### ◆ 麻布大学附属高等学校

設置認可年月	昭和36(1961)年 5月
校 長 名	有嶋 和義
所 在 地	神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-1 7-5 0
目 的	教育基本法及び学校教育法に基づき、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて高度な普通教育を施す。

## 3. 沿革

明治23 (1890) 年	9 月	東京獣医講習所開所 (現 東京都港区南麻布)
明治27 (1894) 年	4 月	麻布獣医学校開設
明治45 (1912) 年	3 月	麻布獣医畜産学校と改称
大正 9 (1920) 年	9 月	財団法人麻布獣医畜産学校設立
昭和 9 (1934) 年	4 月	実業専門学校令による麻布獣医専門学校の設置
		財団法人麻布獣医専門学校と校名変更
昭和19 (1944) 年	12 月	麻布獣医畜産専門学校と改称
昭和22 (1947) 年	6 月	現在地 (神奈川県相模原市) に移転
昭和25 (1950) 年	2 月	新学制による麻布獣医科大学の設置認可 財団法人麻布獣医学園
	4 月	麻布獣医科大学として開学
昭和26 (1951) 年	3 月	財団法人から学校法人へ改組, 学校法人麻布獣医学園となる
昭和27 (1952) 年	3 月	麻布獣医畜産専門学校廃止
昭和32 (1957) 年	4 月	麻布獣医科大学獣医学部獣医学専攻科開設
昭和35 (1960) 年	4 月	麻布獣医科大学大学院修士課程開設
昭和36 (1961) 年	5 月	麻布獣医学園渕野辺高等学校開校
昭和37 (1962) 年	4 月	麻布獣医科大学大学院博士課程開設
昭和40 (1965) 年	4 月	麻布公衆衛生短期大学開学
昭和51 (1976) 年	4 月	麻布獣医科大学獣医学部家畜環境学科開設
昭和53 (1978) 年	4 月	麻布獣医科大学環境保健学部 (環境保健学科及び衛生技術学科) 開設
	11 月	麻布獣医科大学獣医学部獣医学専攻科廃止
昭和54 (1979) 年	6 月	麻布公衆衛生短期大学廃止
昭和55 (1980) 年	4 月	麻布獣医科大学を麻布大学に名称変更
		獣医学部家畜環境学科を獣医学部環境畜産学科に名称変更
昭和59 (1984) 年	4 月	獣医学教育6年制発足 (学校教育法の一部改正による)
昭和60 (1985) 年	10 月	渕野辺高等学校を麻布大学附属渕野辺高等学校に名称変更認可
昭和63 (1988) 年	4 月	麻布大学附置生物科学総合研究所設置
平成元 (1989) 年	12 月	獣医学部環境畜産学科, 環境保健学部 臨時定員増認可
平成 2 (1990) 年	4 月	麻布大学大学院獣医学研究科博士課程 (4年制) 開設
平成 5 (1993) 年	4 月	麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻 (修士課程) 開設
平成 6 (1994) 年	4 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻 (修士課程) 開設
		麻布大学獣医学部環境畜産学科を獣医学部動物応用科学科に改組
		麻布大学獣医学部環境畜産学科募集停止
		麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻 (修士課程) 開設
平成 7 (1995) 年	4 月	麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻 (博士課程) 開設
平成 8 (1996) 年	4 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻 (博士課程) 開設
平成 9 (1997) 年	7 月	麻布大学附属動物管理センター設置
		麻布大学大学学生部保健課を麻布大学健康管理センターに組織変更

平成10 (1998) 年	4 月	麻布大学環境保健学部環境保健学科を環境保健学部健康環境科学科に名称変更
	12 月	麻布大学獣医学部動物応用科学科，環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の期間付入学定員増に係る学則認可（平成11年度まで）
平成11 (1999) 年	3 月	麻布大学獣医学部環境畜産学科廃止認可
	4 月	麻布大学環境保健学部環境政策学科開設
	7 月	麻布大学獣医学部動物応用科学科，環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の期間付入学定員増に係る学則認可（平成16年度まで）
		麻布大学獣医学部動物応用科学科，環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の期間付入学定員の廃止に伴う収容定員増に係る学則変更認可
10 月	麻布大学環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の編入学定員設定認可	
平成12 (2000) 年	4 月	麻布大学附属図書館と麻布大学附属情報処理センターを統合し，麻布大学附属学術情報センターを設置
平成15 (2003) 年	4 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境衛生政策専攻（修士課程）開設
平成18 (2006) 年	7 月	麻布大学獣医学部動物応用科学科の入学定員増に係る学則変更認可
平成19 (2007) 年	4 月	麻布大学獣医学部附属動物病院を麻布大学附属動物病院に組織及び名称変更
		麻布大学附属教育推進センター設置
平成20 (2008) 年	4 月	麻布大学環境保健学部を改組し，生命・環境科学部臨床検査技術学科，食品生命科学科及び環境科学科を開設（環境保健学部健康環境科学科，衛生技術学科及び環境政策学科は募集停止）
		麻布大学研究推進・支援本部を設置
平成25 (2013) 年	3 月	麻布大学環境保健学部（健康環境科学科，衛生技術学科及び環境政策学科）を廃止
平成26 (2014) 年	4 月	麻布大学附属渋野辺高等学校を麻布大学附属高等学校に名称変更

## 4. 将来に向けてのビジョン

## ◆ 学校法人麻布獣医学園 中期目標・中期計画 [平成21年度～平成26年度]

- 中期目標・中期計画は、「学校法人」「大学」「高等学校」が、平成21年度から平成26年度までに達成すべき事項を掲げたものである。  
【平成21年5月28日理事会・評議員会決定、平成21年9月29日 理事会一部改定】
- 中期目標・中期計画は、学校教育法に規定する認証評価機関が定めた大学における評価項目を基に取りまとめたものである。また、高等学校については、文部科学省が定めた学校評価ガイドラインに基づいた評価項目を基に取りまとめたものである。

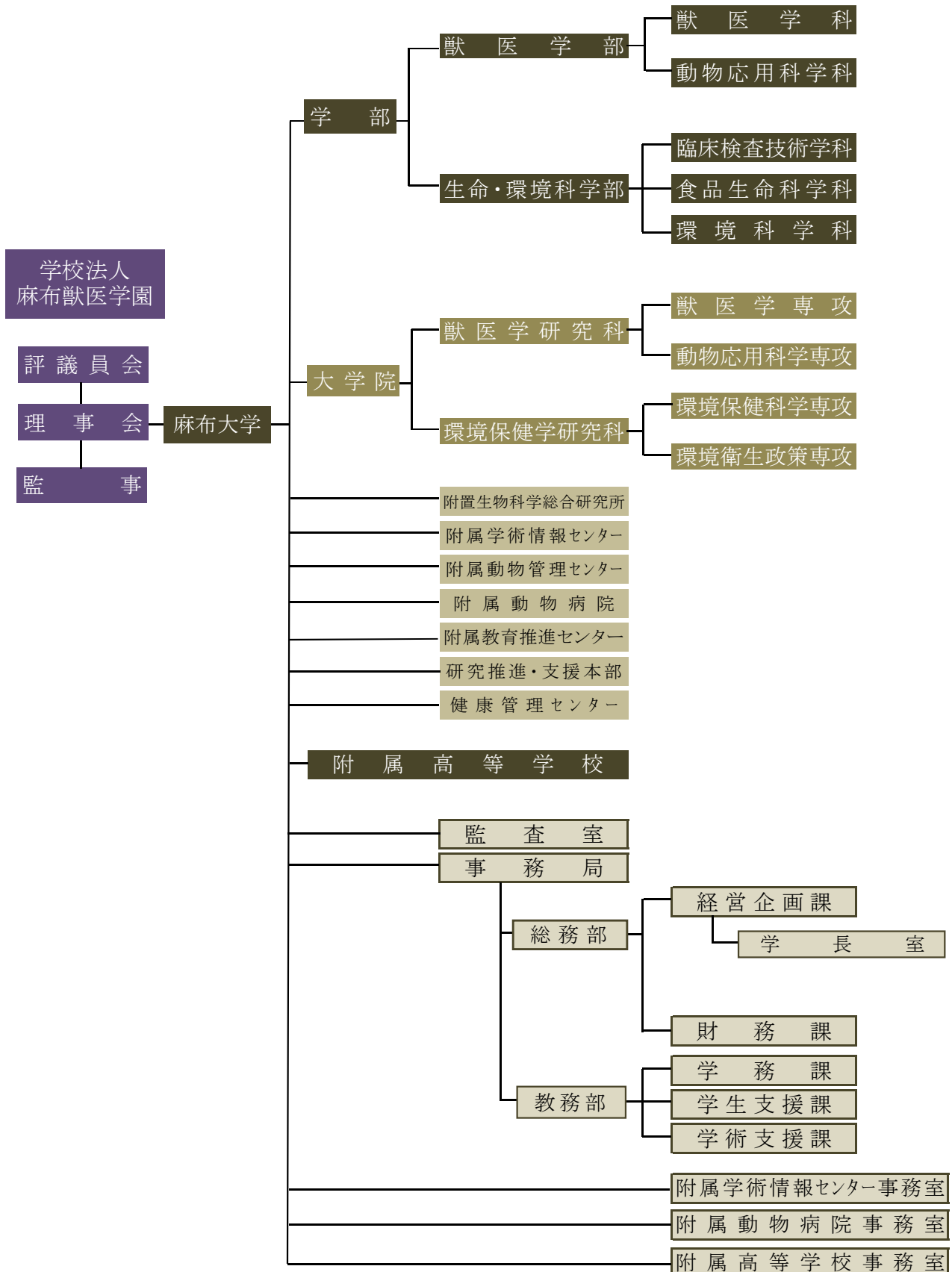
## ● 概要

中期目標	中期計画
<b>(1) 法人の経営管理について</b>	
<p>■ 大学及び高等学校を取り巻く経営環境の悪化と社会環境の変化に迅速に対応するために、機動的な意思決定と着実な業務執行を可能とする管理運営体制の構築を目指すものとする。</p>	<p>▶ 法人の経営方針は、大学及び高等学校の教学方針に基づいた経営管理を行うものとし、そのために経営側と教学側の意思疎通を図るための連絡調整組織を置く。</p>
	<p>▶ 国の私立大学等経常費補助金の予算額が前年比1%削減されるのに合わせて、本学においても一般管理経費を毎年度1%の削減を行い、日本私立学校振興・共済事業団が示す経営指標において、良好な財務状況であることを維持する。</p>
	<p>▶ 教職員の職責に係る利益相反・責務相反に関する規則を整備し、併せて教職員研修内容の充実・強化を図る。</p>
<b>(2) 大学の教育について</b>	
<p>■ 本学は、「学理の討究と誠実なる実践」の理念の下、大学学則及び大学院学則に基づき、人と動物と環境の共生を目指して「地球共生系」という標語を掲げ、生態系と人間社会の接点で生じる諸問題、特に動物及び生活環境を介して生じる人と動物の健康影響について、動物側あるいは環境因子側から教育研究し、人及び動物の健康社会に貢献する高度専門職業人（研究者養成を含む。）及び幅広い職業人の人材養成を教育成果の目標とする。</p>	<p>▶ 文部科学省中央教育審議会答申から、大学は、機能別に分化することが望ましいとの提言があることを踏まえ、本学は、「高度専門職業人養成」又は「幅広い職業人養成」の機能を担う大学として、個性化及び特色化を図るものとする。</p>
	<p>▶ この個性化及び特色化へ取り組むに当たり、大学は、教学方針として「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受入れの方針」をそれぞれ明確に定め、もって教学方針を確立する。</p>
	<p>▶ 現行の教育研究体制を改め、平成25年度から新教育研究体制で新たな教育研究を行う。</p>
<b>(3) 大学の学術研究及び社会貢献について</b>	
<p>■ 人と動物と環境の共生を目指して「地球共生系」という考えの下、本学の特徴的・個性的な研究を発掘及び顕在化させ、研究面でのブランド化を目指す。また、地域社会との連携推進の充実を図り、教育研究成果を社会に還元することをもって、本学が広く社会に貢献することを目指す。</p>	<p>▶ 経常的な研究条件の更なる整備に努める。</p>
	<p>▶ 本学の研究内容の可視化（研究マップの作成）を図り、共同研究及び大型研究プロジェクトを構築し、研究成果を知的財産として保護し、活用する。</p>
	<p>▶ 地域社会及び産学官連携並びに国際・文化交流に努め、教育研究成果を社会への還元に寄与する。</p>

中期目標	中期計画
<b>(4) 高等学校について</b>	
<p>本校は、「学理の討究と誠実なる実践」の理念の下、高等学校学則に基づき、次に掲げる事項を人材育成目標及び教育成果目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学力の向上及び高校生としての学力の保証</li> <li>■ 学習の場には積極的に参加し自ら学ぶ意欲を持った人材育成</li> <li>■ 秩序、良識、礼儀を尊重し、他人を思いやる心を持った人材育成</li> <li>■ 夢を持ち未来を拓く強い精神力と健康な身体を持つ人材育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 文部科学省学習指導要領（平成20年度改訂，平成25年度入学者から適用）の改訂に伴い，新教育課程を編成し，原則として，平成25年度入学者から，新たな教育を実施する。</li> <li>▶ 生徒，保護者に選ばれる高等学校を作り，学校評価等を通じて社会からの評価及び認知度を高め，もって安定した生徒数を確保する。</li> <li>▶ 学力受験偏差値が「60」以上と評価されることを目指す。</li> </ul>



5. 機構図



## 6. 役員・評議員

平成26年5月1日現在

	任期	定数	現員
理事	4年	10～11人	11人
監事	4年	2人	2人
評議員	4年	28～34人	34人

## (1)役員

理事・監事 の区別	担当職務等	氏名	就任	選任区分等		常勤/ 非常勤	備考
			就任年月日 (重任年月日)	寄附行為	選任区分		
理事	理事長	政岡俊夫	平成14年6月25日 (平成22年6月25日)	第8条第1号	大学長	常勤	平成21年6月1日理事長 就任
理事	総務担当	柏崎直巳	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	常勤	
理事	財務担当	福山正文	平成12年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	常勤	
理事	改革担当 (組織・管理運営)	山本雅子	平成24年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	常勤	
理事	改革担当 (教育・研究)	村上 賢	平成24年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	常勤	
理事	総務副担当	田中克明	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	非常勤	
理事	財務副担当	宮澤 宏	平成24年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	非常勤	
理事	改革副担当 (組織・管理運営)	高橋 徹	平成15年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	非常勤	
理事	改革副担当 (教育・研究)	横尾清文	平成24年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	非常勤	
理事		市川正雄	平成15年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第3号	学識経験者 (理事会選任)	非常勤	平成15年6月1日～平成 21年5月31日 寄附行為第8条第2号 理事
理事		谷口隆良	平成18年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第3号	学識経験者 (理事会選任)	非常勤	
監事		小野口勝巳	平成24年6月1日	第9条		非常勤	
監事		宮島成郎	平成22年6月1日 (平成24年6月1日)	第9条		非常勤	

平成26年5月1日現在

## (2) 評議員

氏名	就任	選任区分等		備考
	就任年月日 (重任年月日)	寄附行為	選任区分	
武本成十	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	議長
白石政美	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	副議長
浅利昌男	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
猪股智夫	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
柏崎直巳	平成18年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事
加藤政博	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
川上泰	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
田中秀和	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
土屋亮	平成18年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第1号	法人職員	
福山正文	平成12年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事
三宅太	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
村上賢	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事
村山洋	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
柳原新太郎	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
山本雅子	平成12年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事
高橋徹	平成12年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事
勝見晟	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	
保坂広	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	
有賀誠	平成18年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	
横尾清文	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事
宮澤宏	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事
田中克明	平9年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事
松家芳実	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	
長友士郎	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	
谷川力	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	
佐藤泰	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	
市川正雄	平成15年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	理事会選任理事
加山俊夫	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	
三東崇秀	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	
塩田浩平	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	
谷口隆良	平成15年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	理事会選任理事
中村滋	平成24年6月1日	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	
政岡俊夫	平9年6月1日 (平成22年6月25日)	第18条第4号	大学長	平成9年6月1日～平成14年6月24日 寄附行為第18条第1号評議員兼理事長
有嶋和義	平成15年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第5号	高等学校長	平成15年6月1日～平成24年5月31日 寄附行為第18条第1号評議員

## 7. 学生・生徒の状況

平成26年5月1日現在

## (1) 入学定員，収容定員，学生・生徒数，収容定員充足率

(人)

学部・学科等			入学定員	収容定員	学生・生徒数						収容定員充足率		
					1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次		合計	
学部	獣医学部	獣医学科	120	720	143	156	155	154	146	158	912	126.7%	
		動物応用科学科	120	480	150	138	137	141	—	—	566	117.9%	
		小計	240	1,200	293	294	292	295	146	158	1,478	—	
	生命・環境科学部	臨床検査技術学科	80	305	99	96	84	82	—	—	361	118.4%	
		食品生命科学科	80	305	105	80	83	87	—	—	355	116.4%	
		環境科学科	80	392	106	121	116	123	—	—	466	118.9%	
		小計	240	1,002	310	297	283	292	—	—	1,182	—	
	学部計			480	2,202	603	591	575	587	146	158	2,660	—
	研究科	獣医学専攻 博士課程	博士前期課程	10	40	4	5	7	1	—	—	17	
			動物応用科学専攻 博士後期課程	博士前期課程	12	24	25	27	—	—	—	—	52
博士後期課程				4	12	3	3	4	—	—	—	10	
小計			26	76	32	35	11	1	—	—	79		
環境保健学専攻 博士課程		博士前期課程	7	14	6	2	—	—	—	—	8		
		博士後期課程	2	6	0	0	0	—	—	—	0		
		環境衛生政策 専攻修士課程	7	14	0	2	—	—	—	—	2		
		小計	16	34	6	4	0	—	—	—	10		
研究科計			42	110	38	39	11	1	—	—	89		
附属高等学校			258	774	349	255	189	—	—	—	793		
総合計			780	3,086	990	885	775	588	146	158	3,542		

※ 平成26年度から生命・環境科学部の各学科の入学定員を変更するとともに、編入学定員を廃止したことから、同学部各学科の平成26年度の収容定員は次のとおり。

臨床検査技術学科及び食品生命科学科：1年次 80人，2年次 70人，3年次 75人，4年次 80人 [3年次以上は編入学定員を含む]

環境科学科：1年次 80人，2年次 100人，3年次 104人，4年次 108人 [3年次以上は編入学定員を含む]

平成26年5月1日現在

## (2) 専任教員一人当たりの学生数

学部・学科		専任教員一人当たりの学生数	
		(学生数/教員定数※1)	
学 部 医 獣 部	獣医学科 ※2	15.2 人	(14.3 人)
	動物応用科学科	29.8 人	(29.8 人)
生 命 学 部 環 境 科 学 部	臨床検査技術学科	22.6 人	(22.6 人)
	食品生命科学科	39.4 人	(27.3 人)
	環境科学科	38.8 人	(29.1 人)

※1 教員定数は、本学における教育研究上必要な教員数

※2 獣医学科専任教員は、附属動物病院及び附置生物科学総合研究所の専任教員を含む。

※3 特任教員は除く。

## (3) 留学生数

獣医学科 0人，動物応用科学科 0人，  
臨床検査技術学科0人，食品生命科学科1人，環境科学科0人

獣医学研究科獣医学専攻 0人  
獣医学研究科動物応用科学専攻 3人

環境保健学研究科環境保健科学専攻 0人  
環境保健学研究科環境衛生政策専攻 0人

## (4) 社会人学生数 ※

学部・学科		社会人学生数
学 部 医 獣 部	獣医学科	109
	動物応用科学科	4
生 命 学 部 環 境 科 学 部	臨床検査技術学科	6
	食品生命科学科	2
	環境科学科	1
合計		122

※ 平成26年4月1日現在で、満25歳以上の者  
(入試区分の社会人選抜による入学者とは異なる。)

研究科・専攻		社会人学生数
研 究 科 医 獣 科 学	獣医学専攻博士課程	17
	動物応用科学専攻博士前期課程	4
	動物応用科学専攻博士後期課程	10
環 境 保 健 学 研 究 科	環境保健科学専攻博士前期課程	0
	環境保健科学専攻博士後期課程	0
	環境衛生政策専攻修士課程	0
合計		31

## (5) 非正規課程履修者

区 分	獣医学部	獣医学研究科	動物病院	生命・環境科学部	環境保健学研究科	合計
研究生	26	0	0	5	0	31
研修生	0	0	0	0	0	0
研修獣医師	—	—	66	—	—	66
聴講生	2	0	0	1	0	3
科目等履修生	3	0	0	0	0	3
外国人研究生	0	0	0	0	0	0
特別聴講学生(受入)	0	0	0	0	0	0
特別研究学生(受入)	0	0	0	0	0	0
聴講生徒	0	0	0	0	0	0
研究室体験生徒	0	0	0	0	0	0
合計	31	0	66	6	0	103

## 【注】

- 特別聴講学生，特別研究学生として各協定大学大学院研究科に派遣する大学院学生は，両研究科ともになし
- 科目等履修生の内1人は，獣医学研究科動物応用科学専攻博士前期課程1年次の大学院学生
- 聴講生徒及び研究室体験生徒の受入れの決定時期については，7月上旬を予定。  
[平成25年度の実績は，聴講生徒1人，研究室体験生徒101人(獣医学部40人，生命・環境科学部55人，附属動物病院6人)]

## 8. 教職員の状況

平成26年 5月 1日 現在

## (1) 大学教員 (常勤)

(人)

学部・学科等	学長		教授		准教授		講師		助教		助手		特任教員		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
学長	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
獣医学部	獣医学科	—	—	17	3	13	2	6	5	6	1	0	0	1	0	54
	動物応用科学科	—	—	11	1	6	0	0	1	0	0	0	0	1	0	20
	基礎教育系	—	—	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	小計	0	0	29	5	22	2	7	6	6	1	0	0	2	0	80
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	—	—	6(1)	0	3	1	4	2	0	0	0	0	0	0	16(1)
	食品生命科学科	—	—	3	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	9
	環境科学科	—	—	4(1)	0	2	1	5	0	0	0	0	0	0	0	12(1)
	教職・学芸員課程	—	—	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	寄附講座	—	—	(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1(2)
小計	0	0	14(4)	1	7	3	12	2	0	0	0	0	0	1	40(4)	
大学院	獣医学研究科	—	—	(28)	(5)	(18)	(1)	(3)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(56)
	環境保健学研究科	—	—	(12)	(1)	(4)	(3)	(4)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(24)
	小計	(0)	(0)	(40)	(6)	(22)	(4)	(7)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(80)
附置生物科学総合研究所	—	—	(3)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1(3)	
附属学術情報センター	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)	
附属動物管理センター	—	—	0	0	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)	
附属動物病院	—	—	1	0	2	0	0	0	3	0	0	0	6	3	15	
附属教育推進センター	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)	
研究推進・支援本部	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)	
健康管理センター	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)	
合計	1	0	44	6	32	5	19	8	9	1	0	0	8	4	137	

【注】 ( )は、兼務者を表す。ただし、同一部門内兼務者を除く。

## (2) 高等学校教員 (常勤)

(人)

	校長		教頭		教諭		契約講師		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
附属高等学校	(1)	0	1	0	23	9	0	2	35

## (3) 職員 (常勤)

(人)

校名等	事務局長		部長		課長 事務長 室長・主監		補佐		主査		主任		一般職		契約職員		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
麻布大学	1	0	2	0	9	2	2	4	9	3	5	4	21	9	4	6	81
附属高等学校	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	5
合計	1	0	2	0	10	2	2	4	10	3	6	4	21	11	4	6	86

## 常勤教職員

男 193 人 女 65 人 総合計 258 人

【注】 常勤教職員の合計欄は、実人数である。

平成26年5月1日現在

## (4) 非常勤教職員

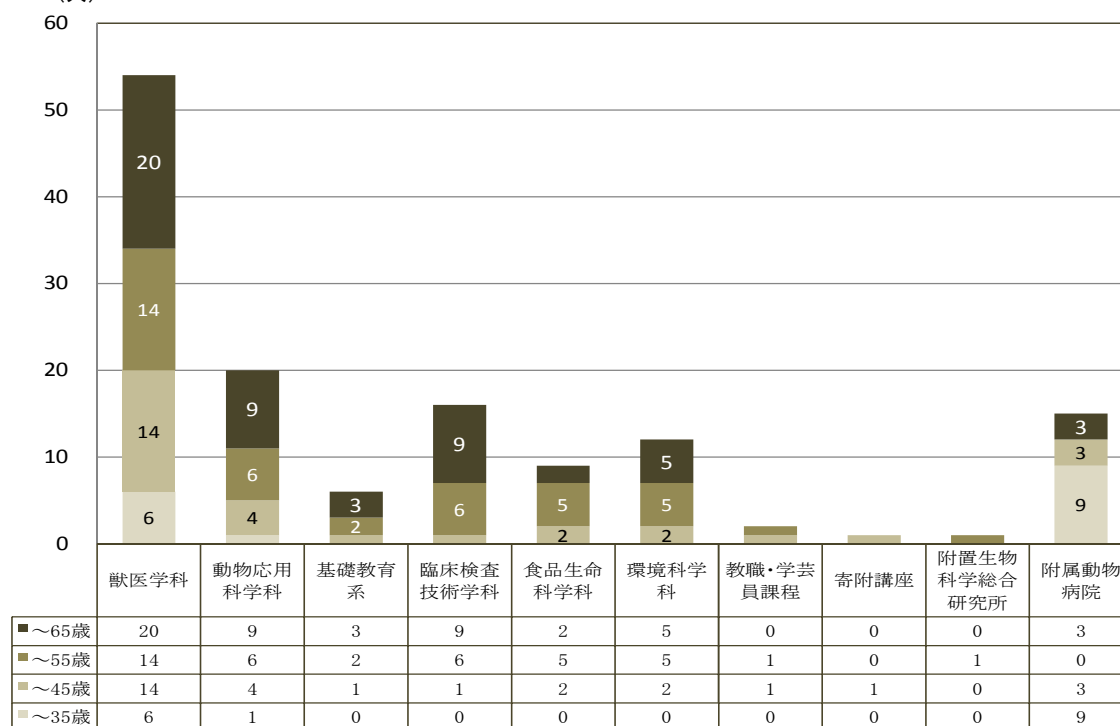
(人)

学部等	非常勤講師	非常勤職員	合計
獣医学部	54	23	77
生命・環境科学部	76	5	81
附属高等学校	26	0	26
事務組織	0	20	20
<b>合 計</b>	<b>156</b>	<b>48</b>	<b>204</b>

- 【注】1.非常勤講師欄は、獣医学部、生命・環境科学部及び附属高等学校を兼務する者を含む延べ人数である。  
2.非常勤講師には、業務委託による講師を含む。  
3.非常勤職員には、派遣職員を含む。

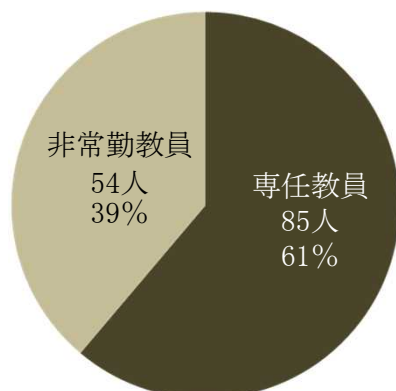
## (5) 年齢別大学教員数（常勤）

(人)

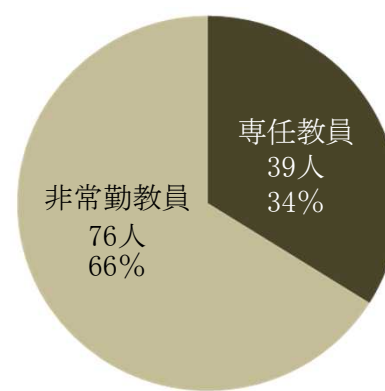


## (6) 専任教員と非常勤教員の比率

## ■ 獣医学部



## ■ 生命・環境科学部



- 【注】1.獣医学部の教員には、獣医学科、動物応用科学科、基礎教育系、附置生物科学総合研究所、附属動物病院を含み、特任教員を除く。  
2.生命・環境科学部の教員には、臨床検査技術学科、食品生命科学科、環境科学科を含み、特任教員を除く。

## II 事業の概要

### 1. 平成25年度事業計画の実施状況

- 平成25年度事業計画〔平成25年2月26日開催の理事会及び評議員会で承認〕は、平成25年度に学園全体として事業を推進するに当たり、学園の中期目標・中期計画〔平成21年度～平成26年度〕を基に、本学園の役員及び教職員が共通の認識に立って内外ともに明確にしておかなければならない事項を取り上げたもので、その実施状況は、次のとおりである。

決算額・予算額(単位:百万円)

平成25年度事業計画	実施状況	
<b>1. 優秀な教職員の確保</b>	決算額 2,873	予算額 3,122
(1) 将来展望を見据えた教職員の計画的採用と人材の適正配置	新たな教育研究組織の構成を見据えながら、現在実施している教育及び研究活動に支障が生じないよう、教員組織の維持及び退職者の補充・確保に努めた。	
(2) 学園職員に相応しい資質の向上に向けた人材育成の推進 (「職場内外の各種研修への積極的参加、高等学校における教員能力の向上と組織の活性化の継続実施」ほか)	<p><b>【職場内外の各種研修】</b>            大学教員におけるFD活動については、各研究科ごとに各2回研修会を開催し、積極的な資質向上に努めた。            学生による授業評価とその結果の教員へのフィードバックにより、授業改善の意識向上につなげるとともに、授業に関する様々な工夫の共有化や、教員のモチベーション向上等を通じた教育の質向上に資するため、平成25年度は、優れた授業科目に対しグッドティーチング賞を設け、担当教員を表彰した。            全学的にハラスメント防止に関する問題意識を喚起するよう、教育講演会及び研修会を3回開催し、ハラスメントに関する資質向上に努めた。            事務職員においては、課長補佐及び主査を対象に、外部講師による研修会を開催し、次期幹部候補者として準備、心構え等の研修を通して、ミドルマネジメント力の向上に努めた。</p> <p><b>【高等学校における教員能力の向上】</b>            1. 生徒による授業評価を年2回実施:分析・評価結果を各教諭にフィードバックし、教育や生活指導等に活用(PDCAサイクルのCAの充実)を図った。            2. 教員の研修会等[教科, 教育課程(学習指導要領改訂), 学校づくり, 分掌, 人権, 道徳教育研修, 公私合同研修会, 初任者研修, 10年経験者研修及び教員免許更新制度に係る講習]への積極的な参加を推進した。</p> <p><b>【高等学校における組織の活性化】</b>            1. 管理職研修会で学んだ資料の提示及び校内研修会の実施により、危機管理意識の向上を図った。            2. 学校評価及び学校関係者評価の継続実施            (1)分掌, 学年, 教科及び学級担任として目標を設定し、取組内容, 評価の観点を明確に自己評価を実施した。            (2)各教諭が行った学校評価について、第三者で構成される学校関係者評価委員会にて、総合評価・検証を実施した。            3. 「いじめ防止対策」として、分掌外での委員会設置及び防止対策を策定した。</p>	
<b>2. 教育事業の見直し・活発化</b>	決算額 832	予算額 883
(1) 大学(学生の質保証の取組)	<p>① 教員組織の一元化(教育学術院の設置)の検討・推進            ・教育執行体制の刷新(大学教育機構等の設置)検討            ・大学共通の教員評価基準(指標)の策定の推進</p> <p>麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申に基づいて取りまとめられた「新体制に関する基本的な考え方(原案)」の中で、教員組織の一元化(教育学術院の設置)の推進及びそれに係る新たな教育執行体制の構築(大学教育機構等の設置)に関する基本的な考え方が示された。これを受け、学長及び学内理事により同原案に係る説明会を実施し、学内の理解を得られるよう取り組んだ。  <b>【大学共通の教員評価基準(指標)の策定の推進】</b>            大学評議会において「教員評価基準に関する検討委員会」を設置、平成25年6月から平成26年3月にかけて計8回の委員会を開催し、教員評価基準の在り方について検討を行った。検討結果は、「教員評価基準に関する検討委員会報告書—新たな教員評価基準の策定に向けて—」として取りまとめられ、平成26年3月27日付けで同委員会委員長から評議会議長宛に報告された。</p>	



決算額・予算額(単位:百万円)

平成25年度事業計画	実施状況
<p>② シラバスの充実 自己点検・評価及び認証評価結果を踏まえ、平成25年度からシラバス記載内容の統一化、デジタル化(Web化)を図る。</p>	<p>平成25年度シラバスについて、学習成果が具体的にわかるよう記載方法や書式を統一し、作成要綱に沿って記載内容を学科長や部長が確認を行うこととした。また、生命・環境科学部においては、平成27年度カリキュラムの改正に併せてカリキュラムマップを作成することとした。 なお、平成25年度からホームページ上で公表し、学生が閲覧しやすいよう検索機能等工夫を図った。</p>
<p>③ 初年次教育の見直しと充実 ・全学共通のコアカリキュラム =麻布スタンダードの構築</p>	<p>教育推進センター基礎教育部門において、「麻布スタンダード」となる共通教育科目を立ち上げ、これを全学のカリキュラムに反映するよう同センターの運営委員会を通じて両学部に通じた働きかけた結果、次の科目を全学的な基礎教育科目とすることが決定した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「環境・食糧・生命操作問題」(獣医学部では実施済)</li> <li>2. 体育科目に「馬術」を導入(平成26年度獣医学部で導入)</li> <li>3. 「基礎科学英語」(獣医学部において導入が概ね決定。生命・環境科学部においては、臨床検査技術学科は、実施済だが、食品生命科学科と環境科学科においては、学年と名称・内容が異なる形で導入されることとなった。)</li> </ol> <p>また、初年次教育の充実について平成25年度まで実施していたフレッシューズセミナーの内容を各学科の特色に合致した初年次教育に発展させ、科目の設定又は科目の一部として取り入れるなど各学科において検討を進めた。 なお、麻布スタンダードの取組の先駆けとして平成25年度に獣医学科授業科目の「環境・食糧・生命操作問題」を動物応用科学科においても履修できるよう時間割を調整した。</p>
<p>④ FD活動の推進</p>	<p>各部署が主体となって、次のFD講演会及び研修会を開催した。</p> <p>①教育推進センター ・講演会『グッドティーチング賞受賞者から学ぶ”授業の工夫”』 (平成25年5月20日(月)開催) ・研修会『新任教員対象FD研修会』 (平成26年2月20日(木)開催) ・研修会『平成26年度麻布大学非常勤講師FD研修会』 (平成26年3月25日(火)開催)</p> <p>②大学院獣医学研究科 ・講演会『我が国における生命科学産業の課題と獣医学教育の果たすべき役割』 (平成25年12月19日(木)開催) ・講演会『大学院獣医学研究科への期待と課題』 (平成26年1月22日(木)開催)</p> <p>③大学院環境保健学研究科 ・研修会『環境保健学研究科における活性化の方策』 (平成26年2月12日(水)開催) ・研修会『環境衛生政策専攻の今後について』 (平成26年3月5日(水)開催)</p>
<p>⑤ 出欠席システムの改善</p>	<p>マークシートの出席カードを集計して結果を閲覧・管理するソフトウェアを導入し、各授業担当者が出欠席管理を行えるよう改善した。</p>
<p>⑥ 就職支援の強化・充実</p>	<p>平成24年度からハローワーク相模原と検討を進めていた就職説明会を、平成26年1月16日に「新規大学等卒業予定者就職面接会」として、卒業を間近に控えた未内定の学生を対象に実施した。 また、ハローワーク相模原を協議会事務局とする「相模原・町田地区大学等就職支援連絡協議会」を活用し、地元企業の求人情報を提供いただくなど、未内定学生への就職情報提供及び就職相談での個別対応に活用した。</p>

平成25年度事業計画	実施状況
<b>(2) 学部</b>	
<p>① 入学定員超過率・編入学者数比率の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学定員超過率を全学部で1.20以下に抑制</li> <li>・生命・環境科学部の編入学者数比率の改善に向け、編入学定員の見直しを含め検討</li> </ul>	<p>事業計画に基づき、平成26年度の全学部の入学者について、入学定員超過率を1.20以下になるよう取り組み、改善された。</p> <p>生命・環境科学部における編入学定員は、専門学校卒業者や多様な経験を有する者を編入学生として受け入れることにより、学生が相互に刺激を受けることを主目的として設定していたものであるが、次第に募集定員を満たすことができなくなってきた状況を踏まえ、今後大きな変化は見込めないことから、平成26年度以降、3学科に設定している編入学定員を廃止した。</p>
<p>② 入学前・入学時修学指導の充実</p>	<p>推薦等入学許可者と父母を対象にした学科説明会を開催。専任教員の紹介、教育課程・入学前教育・リメディアル教育の説明、教員の懇談等を実施。併せて、教育推進センター及び2学部の協働で、高校までの内容を全体的に復習する教育プログラムを14日間にわたって実施した。</p> <p>入学時には、4月2日～4月4日に、入学者オリエンテーションを実施し、カリキュラム、学生生活、科目履修、各学科の進級基準、卒業要件等大学生活に必要な事項の説明を行った。</p>
<p>③ 附属高等学校との高大一貫教育及び他校との高大連携教育の推進</p>	<p><b>【高大一貫教育の推進】</b> 附属高等学校生徒に対し、例年行っている高大一貫授業(99人受講)及び夏期体験実習(93人参加)を開講した。また、同校生徒に特化した1～2年生及び父母対象の学内見学会並びに1年生全員を対象とした施設見学会を開催し、附属学校生徒として、大学を身近に感じられるよう取り組んだ。</p> <p><b>【高大連携教育の推進】</b> 例年どおり、高大連携協定校7校(県立相原高等学校、県立麻溝台高等学校、県立川崎工科高等学校、県立相模原高等学校、県立座間高等学校、県立城山高等学校、県立大和東高等学校)と、協定に基づき、研究室体験生徒の受入れ(8人参加)及び演習講座・教養講座(122人受講)の開講を実施し、協定校からは、高校教諭による教職課程科目への講師派遣に協力いただき、相互に教育交流を行った。</p>
<p>④ 各学部の取組</p> <p><b>【獣医学部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・獣医学部教育モデルコアカリキュラムに基づく新教育課程の実施</li> <li>・四大連携事業の推進</li> <li>・動物応用科学科の新カリキュラム構築に向けた取組</li> </ul> <p>-----</p> <p><b>【生命・環境科学部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな教育課程の実現に向けた取組の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・獣医学科において、モデル・コア・カリキュラムに基づくカリキュラムの見直しを図り、専門科目及び卒業に必要な所定の単位数を変更した。</li> <li>・産業動物臨床オープンスキルラボを2回企画し(8月:牛の臨床、2月:豚の臨床)、連携大学の学生に実習を提供した。また、5月23、24日に、獣医学科4年生全員にiPad miniを貸与した。</li> <li>・動物応用科学科において、動物看護師養成を目的とした「動物保健学コース(仮称)」の新設に取り組むこととし、詳細については動物看護師検討委員会において検討することとなった。</li> </ul> <p>-----</p> <p>臨床検査技術学科にあつては平成26年度、食品生命科学科及び環境科学科にあつては平成27年度からのカリキュラム改正に併せ、各学科の3ポリシーの改正を行った。</p>
<b>(3) 大学院</b>	
<p>① シラバスの充実(大学院に関する事項)</p> <p>年間の授業計画、研究計画、学位論文審査基準等の内容等を明記し、掲載内容の充実を図る。</p>	<p>平成25年度シラバスについては、学習成果が具体的にわかるよう記載方法や書式を統一した。</p> <p>また、平成25年度からホームページ上で公表し、学生が閲覧しやすいよう検索機能等工夫を図った。</p>
<p>② 大学院教育の一元化に向けた検討の推進</p>	<p>「麻布獣医学園・麻布大学・附属渚野辺高等学校 新体制に関する基本的な考え方」に基づく改革への取組と関連するため、同改革の進捗状況に応じて検討することとして、検討の推進は図られなかった。</p>

決算額・予算額(単位:百万円)

平成25年度事業計画	実施状況
(4) 高等学校	
① 入学定員の確保と全教員による募集活動の推進	<p>入試説明会参加者及び塾講師を対象に実施したアンケート結果を基に、高等学校ホームページの充実及び最新情報の提供に努めた。</p> <p>また、相模原市、町田市、八王子市及び多摩市での志願者獲得強化を図るため、校長及び事務長による中学校訪問を実施するとともに、全教諭による15市町村の中学校訪問を実施し、志願者確保に努めた結果、受験者数は、1,100人を超え、平成26年度は入学定員を大幅に上回る入学者を受け入れることとなった。</p>
② 校務分掌の再編によるきめ細かい生徒生活指導の実施	<p>平成25年度から、生徒指導部を生活指導部と生徒会指導部に分割し、よりきめ細かい生徒指導への取り組みが可能となった。</p> <p>生徒の安心・安全を確保するために、次の取り組みを重点指導目標に掲げた。</p> <p>①生活指導講習会(交通安全教室、薬物乱用防止教室、携帯電話及びネットサイバー犯罪防止教室等)の実施、②挨拶の励行と礼儀を重んじ、他人を思いやる心を持った人材の育成及び規範意識の養成、③いじめ防止対策基本法に則した、本校いじめ防止対策基本方針の策定及び組織的な取組</p>
③ 習熟度別学習の実施	<p>特進クラスと進学クラスで、それぞれ生徒の学力に応じた評価基準を導入した習熟度別教育を開始した。これにより、それぞれの学力に応じた授業・教材・試験により教育をすすめた結果、特進・進学クラス間の定期試験点差が大幅に縮まった。また、模試成績では特進クラス・進学クラスともに偏差値の上昇が見られ、入学時からの偏差値上昇幅はこの3年間で最大であった。</p>
④ 平成25年度からの学習指導要領改訂に伴う新教育課程の実施	<p>平成25年度からの学習指導要領改訂に伴い平成25年度入学生から新教育課程を実施しているが、当校における教育方針をより実現していくために、更に小変更を加えたものを平成26年度入学生から実施することとした。</p>
⑤ 大学との高大一貫教育及び他大学との高大連携教育の推進	<p>麻布大学との高大一貫教育として2,3年次に選択授業として麻布大学教員による授業を履修できるようになっている。大学教員の協力により年々授業の質が向上し、生徒の満足度の向上及び受講生徒の増加につながっている。</p> <p>他大学との連携においては、平成25年度は田園調布大学での夏季集中講座を1名が履修し、高校の単位として認定した。</p>
(5) 学生・生徒募集のための広報活動の効果的実施	<p>【大学】</p> <p>平成25年度の学生募集のための広報活動として、神奈川・東京を中心に関東エリアの高校内進路相談会(大学説明、学部・学科説明、分野別説明、模擬授業等)、進学媒体関係企業主催の各種相談会へ積極的に参加するとともに、開催日前後に周辺の実績高校及び実績予備校の訪問を強化した。その結果、各高校の進路指導部長や予備校の担当者との信頼関係を図ることができ、特に、獣医学、農学、バイオ、環境系等の分野における説明機会が増加した。また、特に、公立高校の進路指導部長との信頼関係を強化することで、進路指導担当者の異動先高校において、継続した広報活動が可能となり、結果、広報活動のエリアの拡充に繋がった。HP関連については、法人サイト及び125周年記念事業サイトを立ち上げたことにより、今後、それぞれのサイトのページビューの増加が期待できる。</p> <p>【高等学校】</p> <p>校内では、入試説明会(3回)、塾説明会(1回)を実施した。10月からは、土日祝日も含め、個別相談会を実施した。学外では、進学企業主催の相談会(11回)に多数の教職員が参加し、多岐にわたる質問等に適切に答えた。また、6月から全教員による神奈川県及び東京都(特に町田市・八王子市)の中学校訪問を着実に実施した。</p>

決算額・予算額(単位:百万円)

平成25年度事業計画	実施状況	
<p><b>(6) 社会貢献活動の推進</b>                      ・学外からの要請に基づく教職員の派遣                      (非常勤講師・各種審議会委員等)</p>	<p>学外との交流として、日本養豚協会との学術協定に基づき、同協会及び日本養豚開業獣医師協会と連携し、次世代を担う養豚業者育成のため「日本養豚大専科」を創設した。</p> <p>また、神奈川県下の高等学校の理科担当教諭を対象に次のように「理科実験技術研修会」を開催し、本学獣医学部教員から高校の授業で活用できる理科実験手法の紹介を行うとともに、意見交換等を行い、相互交流の機会をもった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習支援キットを使った生物の実験」(平成25年8月8日(木)開催):参加者17人(16校)</li> <li>・「顕微鏡標本作製 シリーズ1」(平成25年8月27日(火)開催):参加者6人(5校)</li> <li>・「ヤギの肉眼解剖実習の見学」(平成25年11月13日(水)開催):参加者1人(1校)</li> </ul> <p>学外からの要請に基づき、平成25年度は次のとおり本学教職員を派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤講師としての派遣:31人[獣医学部教員24人, 生命・環境科学部教員6人, 動物病院教員1人]</li> <li>・各種外部委員会等への派遣: 122件(実人数51人)[学長5件(1人), 獣医学部教員78件(33人), 生命・環境科学部教員37件(15人), 動物病院教員1件(1人), 事務職員1件(1人)]</li> <li>・講演会, 特別講義等への派遣:130件(実人数45人)[学長1件(1人), 獣医学部教員101件(30人), 生命・環境科学部23件(12人), 動物病院教員5件(2人)]</li> </ul>	
<p><b>(7) 地域・国際交流</b></p> <p>① さがまちコンソーシアムにおける生涯学習, 近隣大学と地域との連携の推進</p> <p>② 国際交流協定校との連携の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民大学講座 2講座                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①『現代社会における医食同源へのアプローチ』(平成25年7月31日～9月4日 毎週水曜日, 全5回)</li> <li>②『私たちの快適な生活を支える下水道』(平成25年8月1日～9月5日 毎週木曜日, 全5回)</li> </ul> </li> <li>・さがまちカレッジ 2講座                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①『あなたの愛犬にもできる! ~ゲームを通じた科学的ドッグトレーニングを体験~』(平成25年 6月15日(土)・11月16日(土), 全2回)</li> <li>②『理系への夢を育てよう ~女性獣医師の活躍する現場って?~』(平成25年 8月 8日(木))</li> </ul> </li> <li>・オーサーズカフェ 1講座                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①『学生の実践コミュニティと里山コミュニティ - あざおね社中の場合』(平成25年8月31日(土))</li> </ul> </li> </ul> <p>協定校4大学(ペンシルヴァニア大学・国立中興大学・チェンマイ大学・北京農学院)へ29人の学生を派遣した一方で、協定校5大学(国立中興大学・全北大学校・北京農学院・ペンシルヴァニア大学・チェンマイ大学)から17人の学生及び研究者の受入れを行い、充実した学術交流を行った。</p> <p>また、協定締結を視野に入れ、更なる連携強化のため、平成24年度から相互交流を行っていた国立台湾大学と平成25年9月に学術交流協定を締結したほか、協定が少ない英語圏大学と間で学生交流に係る交渉を開始した。</p>	
<p><b>3. 研究活動の活発化</b></p>	<p>決算額 380</p>	<p>予算額 411</p>
<p><b>(1) 研究推進・支援本部を中心に、学術研究・産学官連携等の活動の推進</b></p> <p>① 支援計画の策定と活動の点検・評価</p> <p>② 本部機能の充実・強化</p>	<p>学園の補助金の有効活用及び外部競争的資金の獲得に向けた支援計画を策定し、年間スケジュールに基づき、随時、活動状況を点検・評価した。</p> <p>本学の研究上の特徴や個性の顕在化のため、学内外競争的資金獲得のためのインセンティブの提供を行った。また、知財を軸とした産学連携においては、学内の知的資産(研究成果全般と知財)の有効活用のための仕組み作りや、外部から専門的知識を有する人材を産学連携コーディネーター及び知的財産コーディネーターとして登用し、これらと協同して本学発の研究成果の技術移転を積極的に進めた。</p>	

決算額・予算額(単位:百万円)

平成25年度事業計画		実施状況	
③ 学内競争的資金の効果的活用	麻布大学(研究推進・支援本部取扱)補助金として、「知財展開研究」,「若手育成研究」,「研究科分」及び「学生分」の公募を行った。「知財展開研究」及び「若手育成研究」において採択した課題は、それぞれ研究に進展が見られた。また、「研究科分」については、本学独自のポイント制に基づき順位付けを行い、研究費を傾斜配分した。		
④ 外部資金獲得の推進	国の補助金である私立大学戦略的研究基盤形成支援事業及び学術研究振興資金が継続して採択された。 科学研究費補助金については、全学的に取り組み、96.2%の申請率となった。今後は、採択率向上につながる取組の強化に努めることとしている。 なお、企業からの共同研究・受託研究については、手続等を含めた本部機能が周知され、年々外部資金の獲得件数及び金額は増加している。		
⑤ 知的資産の蓄積及び活用と産学官連携の推進	国内特許出願を7件、海外特許出願を11件行い、有償での技術移転(ライセンス、譲渡等)が3件に至った。また、卒論発表会や大学院論文発表会等を活用し、学内知財専門家(知的資産コーディネータ及び産学官連携コーディネータ)を中心にシーズ発掘を実施し、本学の知的な資産としての展開を図った。さらに、外部専門家とのプロジェクト課題が、活用に向けて大きく進展した。 産学連携イベント(BIOexpo, アグリビジネス創出フェア)に出展し、本学の知財を広くアピールした。		
⑥ セミナーの実施	教職員を対象とした研究推進・支援本部主催セミナーを4回開催し、外部資金獲得や著作権、大学発ベンチャーの体験談等、研究推進活動への積極的な取組の意識付けを行った。		
⑦ 知財教育及びベンチャー企業育成の推進	両学部学生及び大学院生を対象に講義の一部に知財教育を取り入れた。なお、起業家セミナーは、実施しなかった。 また、大学発新産業創出拠点プロジェクト(プロジェクト支援型)に応募し、本学発ベンチャーの育成に取り組んだが、採択されなかった。		
<b>4. 附置・附属施設の充実</b>		決算額 647	予算額 750
(1) 生物科学総合研究所の機器・設備の更新(購入・修繕)	事業計画に基づき、空調設備中央監視装置の更新及び老朽化に伴う施設・設備の修繕を実施した。		
(2) 学術情報センターの機器・設備の更新(購入・委託保守管理等)	事業計画に基づき、施設及びPC教室の利便性並びに安全性の向上、環境改善を図るため、(1)図書館管理システムのリプレイス、(2)リポジトリのコンテンツ制作、(3)インターネット回線の増強、(4)9101教室の防犯カメラ設置を行った。 図書館管理システムのリプレイスでは、図書の自動貸出機を設置、「OPAC」の検索速度の改善など、利用者サービスの向上と図書業務の安定稼働を図った。		
(3) 動物病院の医療用器具・機械の計画的整備	平成23年度から平成25年度までの備品購入計画に基づき、耐用年数を越えた備品を中心として、電動油圧手術台・シリンジポンプ・筋電図誘発電位検査装置等の整備を行い、安全性の確保・検査精度を高めることに寄与したほか、5階実習室・3階のカンファレンスルーム、病院長室にHD術野映像記録・配信システムを第3期として導入した。これらにより、陽圧手術室等の立入りが難しい場所の見学も可能となり、学生教育の向上に寄与でき、更には、手術見学を希望する飼い主への応接対応の改善にもつながった。また、平成26年度から平成30年度における備品購入計画を作成した。		
<b>5. 教育研究環境の整備</b>		決算額 3,483	予算額 3,446
<b>(1) 安全・良質な施設の構築</b>			
① 新キャンパス・マスタープラン第Ⅱ期計画に基づく施設整備の推進[(仮称)新5号館・新食堂等の整備]	平成25年度から3か年計画で着手した新キャンパス・マスタープランにおけるⅠ期事業の残りⅡ期事業としての(仮称)新5号館・新食堂等の整備計画のうち、馬場及びカフェテリアさくらが完成した。		
② 教育研究機器備品の整備	平成25年度の事業計画に基づき、全学共用機器としてマイクロチップ次世代シーケンサーの整備、動物病院における手術顕微鏡などの機器の更新、生物科学総合研究所における放射線モニタリングシステム等の更新を実施した。		

平成25年度事業計画	実施状況			
6. 業務運営の改善・効率化	決算額	179	予算額	244
(1) 法人運営の改善				
① 学園の今後の在り方委員会答申に基づく各種制度改革(案)の企画検討及び推進	麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申に基づく改革の具体的な制度設計について、改革担当理事の下で検討を行い、「新体制に関する基本的な考え方[原案]」として取りまとめた。 同原案を平成25年5月28日開催の評議員会に諮問に付したところ、様々な意見が出されたことから、改革に対する理解を得るため、平成25年7月に部局ごとに同原案に係る説明会を実施するとともに、学長から教授会及び研究科委員会で検討するよう依頼を行い、それぞれの検討結果が報告された。これらを踏まえ、改革担当理事の下で精査の上、同原案の修正の検討に着手した。 一方で、文部科学省中央教育審議会等の行政機関等において、大学のガバナンスや教授会の在り方等に係る検討が進められていたことから、政府動向を見極めていたところ、平成26年2月にこの審議がまとまり、公表された。これにより、法令改正に至る可能性が生じたことから、これらの動向を踏まえて改革を取り進めることとした。			
② 新たな教育研究組織の発足に向けた企画検討及び推進				
③ 競争的資金の適正管理	会計検査院実地検査における指摘事項を踏まえて、物品の検収を徹底し、採択された研究者に説明会を開催、経費の適正執行に係る意識付けを行った。 また、物品の購入に当たっては、物品購買システム(オフサイド)により透明性を確保する等、競争的資金等執行マニュアルに則り執行した。			
④ 内部監査の効果的実施	平成25年度は前年度まで実施していた5部署の状況確認に加え、更に3部署、合計8部署について業務内容の監査を実施した。また、平成25年度も教員研究費等研究室経費の執行状況について、支払い内容等の確認を実施した。			
⑤ 危機管理体制の整備	学生又は生徒若しくは教職員が事件・事故等に遭遇した場合の発生事案に応じ、事務局全体で迅速かつ適切に対応するため、「危機管理マニュアル(事件・事故等対応編)」を整備し試行・運用を行った。また、防災関係としては、学生及び事務職員による消火訓練、祝祭日における災害発生を想定した緊急参集時の初動対応訓練を実施した。			
(2) 情報システムの充実・強化	安全かつ利便性の高い情報システムの維持と最適化に向けて、インターネット回線の増強及びWiFiエリアのサービス拡張を実施し、教育研究活動を支える情報インフラの整備強化を行った。近年のデータ通信量の増大にも対応可能な安定したインターネット環境を構築した。 また、動物病院システム第3期及び高校教務システムのリプレース事業の技術支援を行った。			
(3) 創立125周年記念事業への取組・推進	創立125周年記念事業委員会の下に設置した実行委員会及び検討委員会において、支援業者の協力を得ながら、各周年事業の詳細検討を行った。平成25年度は、創立125周年を迎える平成27年9月に向けて、周年事業を広報し盛り上げるため、125周年記念ロゴマークを決定するとともに、年史の編纂や創立125周年募金を開始したほか、記念行事や博物館(「麻布大学ののちの博物館」に名称決定)の設置に係る検討を行った。 また、創立125周年記念事業の一貫として、大学と高等学校の連携を一層強いのとするため、平成26年度から麻布大学附属淵野辺高等学校の校名を麻布大学附属高等学校に変更することを決定した。			
合計	決算額	8,394	予算額	8,856

## 2. 教育研究の概要

## (1) 平成25年度の教育実施体制

平成25年5月1日現在

## ①教員及び学生数

(人)

学部・学科等		教員							学生					
		大学設置基準上の教員数		常勤教員数		常勤教員の学位取得状況			非常勤教員数	入学定員	編入学定員	収容定員	学生数	
		総数	内 教授(学部) 内 研究指導教員 教授(大学院)	総数	内 教授(学部) 内 研究指導教員 教授(大学院)	博士	修士 (6年制含む)	学士						
獣医学部	獣医学科	19	10	55	21	54	1	0	44	120	—	720	920	
	動物応用科学科	10	5	20(1)	12(1)	21(1)	0	0		120	—	480	562	
	基礎教育系	—	—	6	2	3	3	0		—	—	—	—	
	小計	—	—	81(1)	35(1)	78(1)	4	0		44	240	—	1,200	1,482
	生命・環境科学部	臨床検査技術学科	8	4	14	6	12	0	3	85	70	2年次 3年次 5	305	362
		食品生命科学科	8	4	9(1)	2(1)	9(1)	0	0		70	2年次 3年次 5	305	346
		環境科学科	10	5	11	4	5	6	0		100	2年次 3年次 4	420	484
		教職・学芸員課程	2	1	2	1	2	0	0	—	—	—	—	
		寄附講座	—	—	2(2)	(2)	1(2)	0	0	—	—	—	—	
		小計	—	—	38(3)	13(3)	29(3)	6	3	85	240	2年次 3年次 14 14	1,030	1,192
大学設置基準上、大学全体で必要な教員数		23	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
学部 計		80	43	119	48	104	10	3	129	480	2年次 3年次 14 14	2,230	2,674	
研究科	獣医学専攻博士課程	8	4	(38)	(18)	—	—	—	0	10	—	40	19	
	動物応用科学専攻 博士前期課程	6	3	(18)	(12)	—	—	—		12	—	24	49	
	動物応用科学専攻 博士後期課程	8	3	(18)	(12)	—	—	—		4	—	12	10	
	小計	22	10	—	—	—	—	—	0	26	—	76	78	
	環境保健科学専攻	環境保健科学専攻 博士前期課程	12	4	(19)	(6)	—	—	—	0	7	—	14	6
		環境保健科学専攻 博士後期課程	12	4	(14)	(6)	—	—	—		2	—	6	2
		環境衛生政策専攻修士課程	3	2	(11)	(2)	—	—	—		7	—	14	2
小計	27	10	—	—	—	—	—	0	16	—	34	10		
研究科 計		49	20	—	—	—	—	—	0	42	—	110	88	
附属動物病院		—	—	9(1)	1(1)	5(1)	4	0	—	—	—	—	—	
附置生物科学総合研究所		—	—	1(3)	(3)	1(3)	0	0	—	—	—	—	—	
総合計		—	—	129	49	110	14	3	129	522	—	2,340	2,762	

## ②職員数

(人)

	常勤職員	非常勤職員	合計
麻布大学	79	57	136

- 【注】 1. ( )は、兼務者を表す。  
 2. 非常勤教員は、獣医学部、生命・環境科学部、大学院、附属湘野辺高等学校を兼務するものを含む延べ人数である。  
 3. 非常勤教員には、業務委託による講師を含む。  
 4. 非常勤職員には、派遣職員を含む。

(2) 教育に関する情報

① 入学者の選抜

◆ 麻布大学

○ 各学部学科の「アドミッション・ポリシー(求める学生像)」に基づき、入学者選抜を行った。

■ 獣医学部

◇ 獣医学科

本学科の教育は、獣医師として高い倫理観を有し、高度な専門知識・技術を身に付けて社会に貢献できる人材を養成することを目的にしているため、次のような人物を求めている。

1. 人や動物、自然が好きの人
2. 獣医学に強い関心を持ち、獣医師となることについて明確な問題意識を持っている人
3. 学習意欲が旺盛で、獣医学を学ぶ上で必要な生物・化学など理科の素養を含む基礎学力が十分に備わっている人
4. 獣医師になるための情熱及び他者への思いやりと奉仕の心、高い倫理観を持っている人

◇ 動物応用科学科

本学科の教育理念を理解し、自ら学ぶ姿勢を持ち、本学での学習を通して人間と動物と社会の接点で通用するキャリアを身に付け、動物応用科学の諸領域で活躍したいという強い意志と意欲を持った人物を募集する。なかでも次のような人物を求めている。

1. 高等学校までの基礎学力、特に生物・化学を含む理科の学力が十分にある人
2. 問題意識を持ちチャレンジ精神が旺盛である人
3. リーダーシップと協調性を有し、動物応用科学の社会的使命をよく認識している人

■ 生命・環境科学部

◇ 臨床検査技術学科

本学科の教育理念を十分に理解し、最後まで目標に向かって努力できる強い意志と意欲を持った次のような人を求めている。

1. 臨床検査技師として医療分野において活躍したい人
2. 疾病の発症機序や病態について広く興味がある人
3. 臨床検査学を学ぶために必要な基礎学力(特に数学、生物、化学)を有する人

◇ 食品生命科学科

高等学校までの中等教育で学んだ基礎学力、特に化学、生物、英語の学力を有し、次のような人を求めている。

1. 本学科の教育理念を理解するとともに、食品に関する問題とその改善に強い関心を持っている人
2. 自ら考えて問題解決に積極的に挑戦する意欲を持った人
3. 食の安全・安心確保の見地から、正義感と責任感にあふれている人

◇ 環境科学科

高等学校までの中等教育で学んだ化学、生物、国語、英語の基礎学力を有し、次のような志向を持つ人を求めている。

1. 環境問題に強い関心がある人
2. 環境改善にチャレンジしようと考えている人
3. 環境の科学について学習意欲がある人
4. 環境科学科の教育理念、教育方針、教育内容等を理解し、自然科学的立場あるいは社会科学の立場から環境問題の解決に貢献したいとの強い意欲を持っている人

● 入学者の推移(過去5年) \*

学部・学科		平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
学 獣 部 医	獣医学科	139	138	146	149	148
	動物応用科学科	143	144	144	144	147
生 命 学 ・ 部 環 境	臨床検査技術学科	96	85	90	90	90
	食品生命科学科	97	84	91	90	88
	環境科学科	96	120	128	128	127
合計		571	571	599	601	600

\* 編入学者は除く。



■ 獣医学部

学部	学科等	募集人員	平成26年度												平成25年度			平成24年度		
			志願者			受験者			合格者			入学者			志願者					
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
獣医学部	推薦	23	43	68	111	43	68	111	7	16	23	7	16	23	33	75	108	39	71	110
	附属	5人程度推薦内	6	2	8	6	2	8	4	1	5	4	1	5	1	5	6	1	4	5
	地域																	0	0	0
	帰国子女	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	海外留学																	0	0	0
	社会人	若干名	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	3	2	2	4
	外国人	若干名	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	AO	10	61	91	152	61	91	152	3	7	10	3	7	10	46	85	131	63	77	140
	一般	75	819	792	1,611	781	763	1,544	96	77	173	45	43	88	778	727	1,505	823	735	1,558
	センター利用	12	204	248	452	192	246	438	38	51	89	9	4	13	197	204	401	133	166	299
	計	120	1,134	1,202	2,336	1,084	1,171	2,255	148	152	300	68	71	139	1,055	1,100	2,155	1,061	1,055	2,116
獣医学部	推薦	25	6	15	21	6	15	21	4	11	15	4	11	15	7	35	42	7	36	43
	附属	10人程度推薦内	4	5	9	4	5	9	4	5	9	4	5	9	1	4	5	1	7	8
	地域																	0	0	0
	帰国子女	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	海外留学																	0	0	0
	社会人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外国人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	AO	15	7	34	41	7	34	41	1	14	15	1	14	15	11	35	46	11	40	51
	一般	55	185	256	441	178	250	428	45	72	117	27	38	65	186	308	494	179	285	464
	センター利用Ⅰ期	25	151	234	385	150	234	384	70	103	173	12	27	39	142	222	364	101	179	280
	センター利用Ⅱ期	若干名	1	3	4	0	1	1	0	1	1	0	0	0	3	6	9	2	8	10
計	120	354	547	901	345	539	884	124	206	330	48	95	143	350	610	960	301	555	856	
合計	推薦	48	49	83	132	49	83	132	11	27	38	11	27	38	40	110	150	46	107	153
	附属	15人程度推薦内	10	7	17	10	7	17	8	6	14	8	6	14	2	9	11	2	11	13
	地域																	0	0	0
	帰国子女	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	海外留学																	0	0	0
	社会人	若干名	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	3	2	2	4
	外国人	若干名	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	AO	25	68	125	193	68	125	193	4	21	25	4	21	25	57	120	177	74	117	191
	一般	130	1,004	1,048	2,052	959	1,013	1,972	141	149	290	72	81	153	964	1,035	1,999	1,002	1,020	2,022
	センター利用Ⅰ期	37	355	482	837	342	480	822	108	154	262	21	31	52	339	426	765	234	345	579
	センター利用Ⅱ期	若干名	1	3	4	0	1	1	0	1	1	0	0	0	3	6	9	2	8	10
計	240	1,488	1,749	3,237	1,429	1,710	3,139	272	358	630	116	166	282	1,405	1,710	3,115	1,362	1,610	2,972	

□ 獣医学部編入学

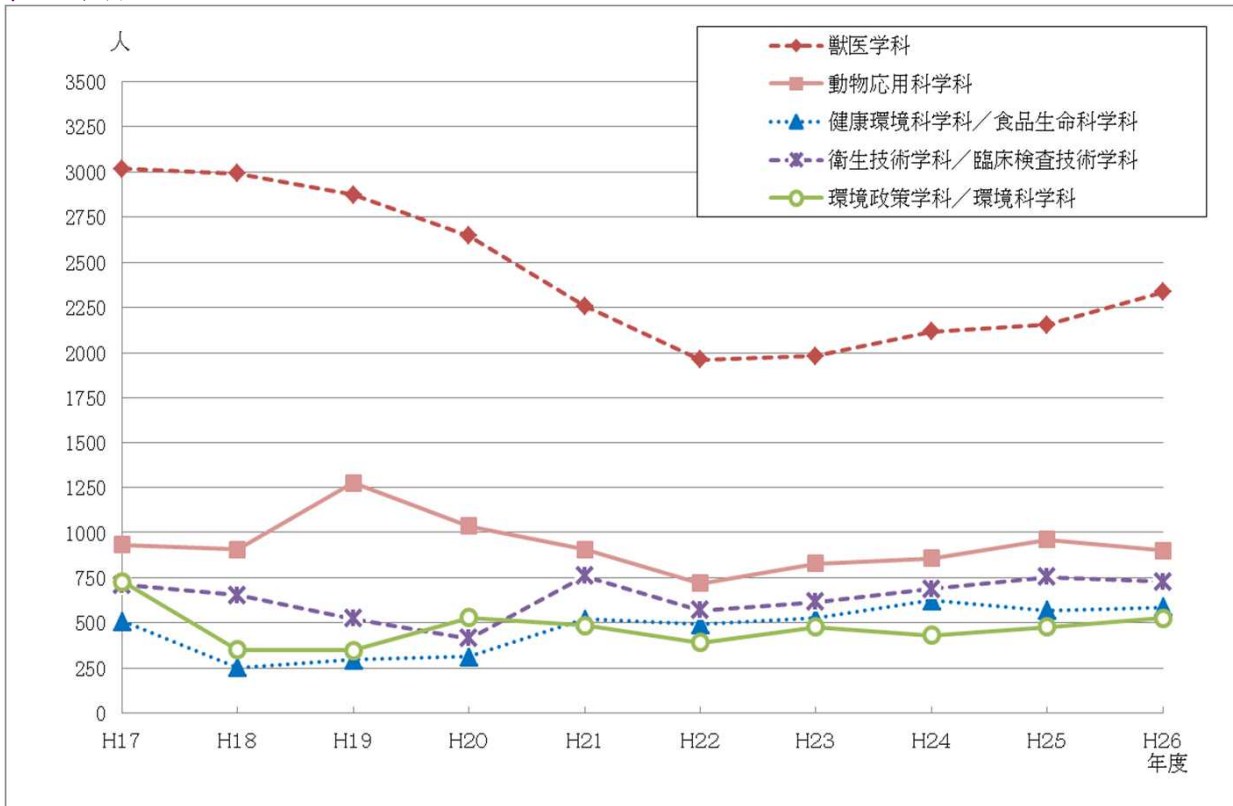
学部	学科等	募集人員	選抜区分	平成26年度									平成25年度		平成24年度		
				志願者			受験者			合格者			入学者		志願者		
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計
獣医学部	獣医学科	若干名	第1次選抜	34	18	52	33	18	51	20	16	36					
			第2次選抜	20	16	36	20	15	35	3	2	5	3	2	5	56	87
獣医学部	動物応用科学科	若干名		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		若干名		54	34	88	53	33	86	23	18	41	3	2	5	56	87



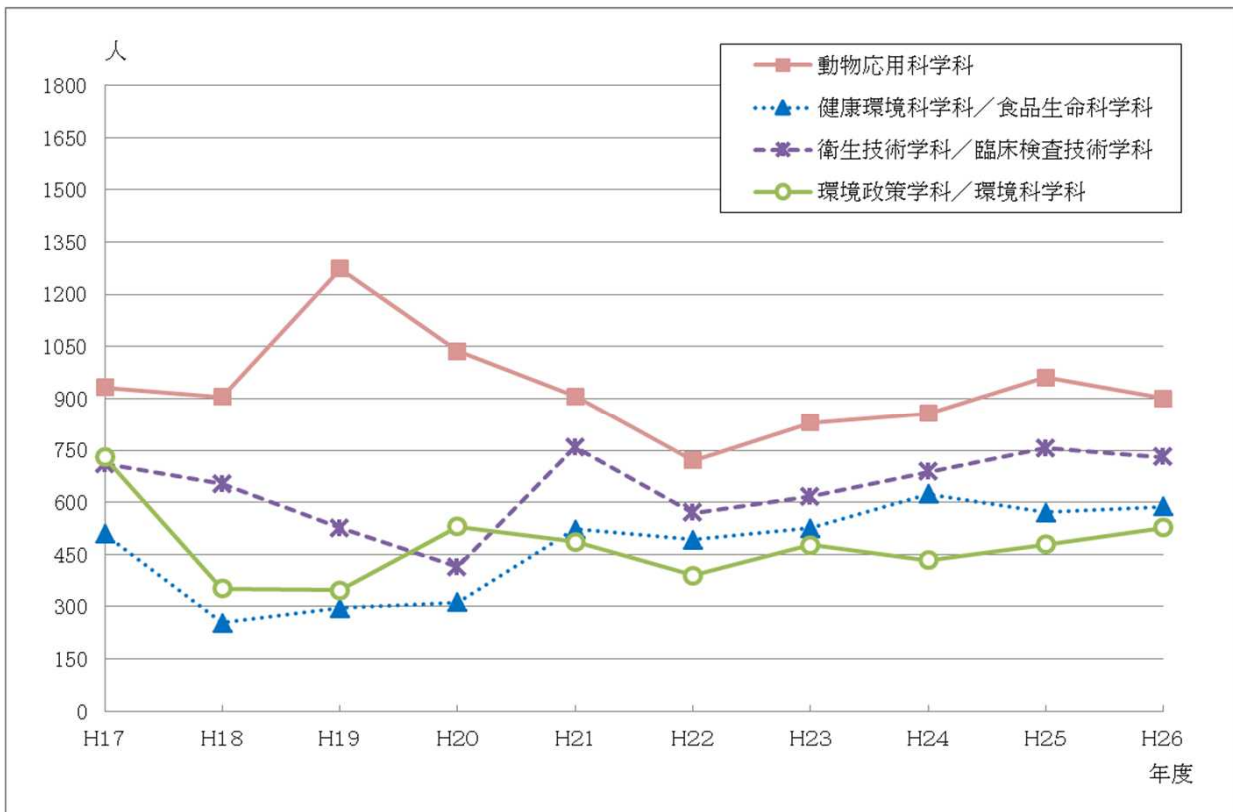
● 志願者の推移【麻布大学 過去10年】

■ 一般入学試験・推薦等入学試験・大学入試センター試験利用入学試験

◇ 全学科

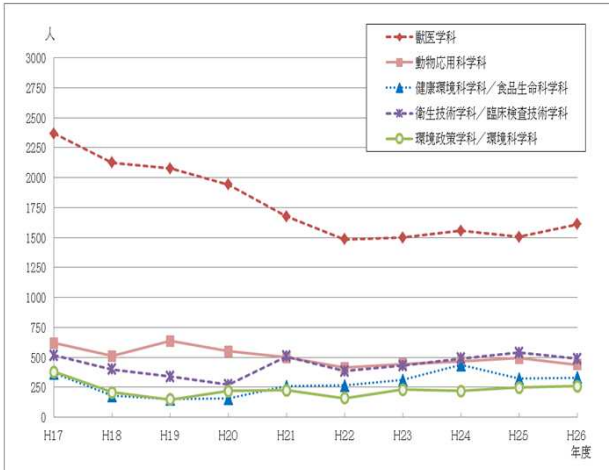


◇ 獣医学科を除く学科

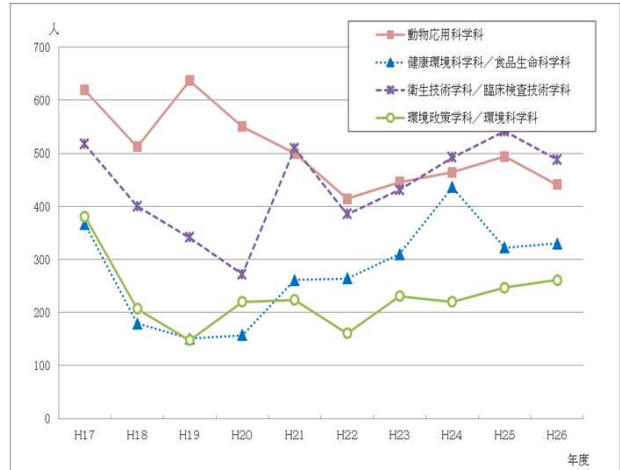


■ 一般入学試験

◇ 全学科

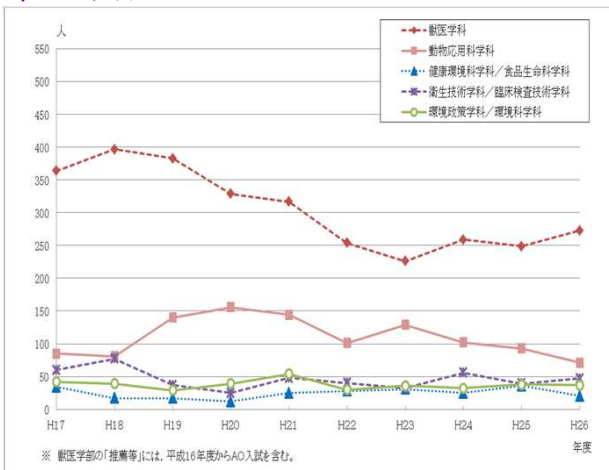


◇ 獣医学科を除く学科

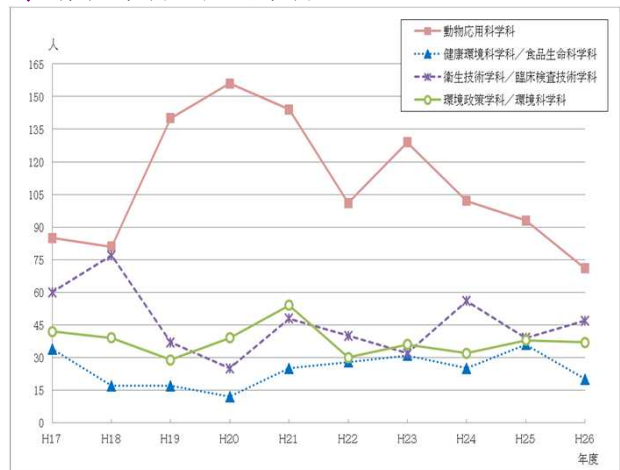


■ 推薦等入学試験

◇ 全学科

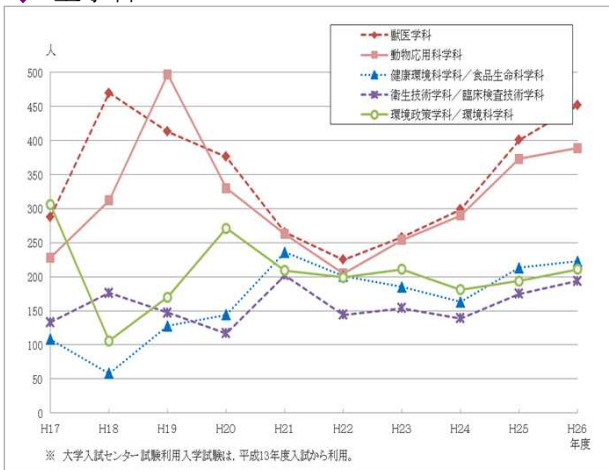


◇ 獣医学科を除く学科



■ 大学入試センター試験利用入学試験

◇ 全学科



## ◆ 麻布大学大学院

○ 各研究科・専攻の「アドミッション・ポリシー(求める学生像)」に基づき、入学者選抜を行った。

## ■ 獣医研究科

## ◇ 獣医学専攻 博士課程

獣医学専攻博士課程では、より高度な専門性を持つ職業人、研究者及び教育者の養成を目指す。そのために次のような人物を求めている。

1. 獣医学に関連する諸科学の基礎知識を持ち、かつ国際的な視点を持ち合わせている人
2. 獣医学に関する新たな知識の創造及び新技術の開発に取り組み、それによって人類と動物の健康維持に貢献しようとする意識のある人
3. 獣医学にとどまらず、新たな学際的な研究領域に対しても果敢に挑戦しようとする意欲を持っている人

## ◇ 動物応用科学専攻 博士前期課程

博士前期課程(修士課程)では、人と動物の健康社会を科学する高度な専門性職業人の養成を目指す。そのために次のような人物を求めている。

1. 学部の専門にかかわらず、人と動物の健康を科学する動物応用科学の基礎となる生物学、化学の基礎知識を持ち、かつ国際化に対応できるだけの語学力を備えている人
2. 動物応用科学に強い関心を持ち、新しい知識の吸収意欲があり、かつそれらの知識を科学的発見及び問題解決に結びつけようとする意識のある人
3. 動物応用科学の社会的使命をよく認識し、リーダーシップと協調性を持って問題解決に果敢に挑戦しようとする意欲を持っている人

## ◇ 動物応用科学専攻 博士後期課程

博士後期課程では、博士前期課程で修得した広い視野に立って、より高度な専門性を持つ職業人、研究者及び教育者の養成を目指す。そのために次のような人物を求めている。

1. 動物応用科学に関連する諸科学の基礎知識を持ち、かつ国際的な視点を持ち合わせている人
2. 動物応用科学に関する新たな知識の創造及び新技術の開発に取り組み、それによって人類と動物の福祉、社会の平和、生物としての共生並びに文化の進展に貢献しようとする意識のある人
3. 動物応用科学にとどまらず、新たな学際的な研究領域に果敢に挑戦しようとする意欲を持っている人

## ■ 環境保健学研究科

## ◇ 環境保健科学専攻 博士前期課程

博士前期課程では、国の内外を問わず、またこれまでの大学・学部での専攻学科にとらわれず高い基礎学力と、将来に対する明確な目標とそれぞれの各研究分野に対して強い興味を持った人物を求めている。

1. 環境保健科学に強い関心を持ち学習意欲に富んだ人
2. 社会人等でこれらの分野にかかわる業務に就いている人

## ◇ 環境保健科学専攻 博士後期課程

博士後期課程では、6つの専門分野あるいは関連する研究分野で修士号を取得した者又は取得見込みの者を求めている。

1. 高度な研究者、技術者あるいは統括指導者として活躍したい人
2. 社会人等でこれら分野にかかわる業務に就いている人

## ◇ 環境衛生政策専攻 修士課程

大学までに学んだ様々な分野の知見を踏まえて、更に環境衛生に関する専門的知見を身に付け社会全体の環境衛生レベルの向上について取り組みたい人物を求めている。

1. 人間社会にとって、人の健康と環境保全に関する、最も身近な政策である環境衛生政策に強い関心のある人
2. 自然科学・社会科学・人文科学など学問の全分野と深くかかわった政策を検討しようとする意欲を持っている人

● 入学者の推移（過去5年）

(人)

研究科	専攻	年度等		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
		平成26年度	4月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学
獣医学	獣医学専攻博士課程	3		3	2	6	2	1	1	5	0
	動物応用科学専攻博士前期課程	25		23	0	24	3	38	0	27	0
	動物応用科学専攻博士後期課程	2		3	1	2	0	5	0	1	0
環境保健学	環境保健科学専攻博士前期課程	6		2	0	3	0	7	0	10	1
	環境保健科学専攻博士後期課程	0		1	0	0	0	1	0	0	0
	環境衛生政策専攻修士課程	0		2	0	0	0	3	0	1	0
合計		36		34	3	35	5	55	1	44	1

■ 獣医学研究科

(人)

研究科	専攻	区分	募集人員	平成26年度												平成25年度	平成24年度
				志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計
獣医学	獣医学専攻博士課程	1期	10	2	2	4	2	2	4	1	2	3	0	1	1	3	7
		2期	若干名	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2	3	4
		計	10	3	3	6	3	3	6	2	3	5	1	2	3	6	11
	動物応用科学専攻博士前期課程	1期	12	9	15	24	9	15	24	7	11	18	6	11	17	26	22
		2期	若干名	3	7	10	3	7	10	1	7	8	1	7	8	2	18
		計	12	12	22	34	12	22	34	8	18	26	7	18	25	28	40
	動物応用科学専攻博士後期課程	1期	4	2	0	2	2	0	2	2	0	2	1	0	1	2	1
		2期	若干名	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	2	2
		計	4	3	0	3	3	0	3	3	0	3	2	0	2	4	3
合計			18	25	43	18	25	43	13	21	34	10	20	30	38	54	

平成26年度第1期合格者のうち、平成25年度10月期入学希望者は、平成26年度入学者に含まれていない。

(獣医学専攻博士課程・・・男性1人・女性1人、動物応用科学専攻博士後期課程・・・男性1人)

平成26年度第1期合格者のうち、動物応用科学専攻博士前期課程の男性1人は、辞退者。

平成26年度第1期合格者のうち、動物応用科学専攻博士後期課程の男性1人は、長期履修学生申請(6年)許可者。

■ 環境保健学研究科

(人)

研究科	専攻	区分	募集人員	平成26年度												平成25年度	平成24年度
				志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計
環境保健学	環境保健科学専攻博士前期課程	1期	7	3	3	6	3	3	6	3	3	6	3	3	6	2	3
		2期	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
		計	7	3	3	6	3	3	6	3	3	6	3	3	6	4	4
	環境保健科学専攻博士後期課程	1期	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		2期	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	環境衛生政策専攻修士課程	1期	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
		2期	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
合計			3	3	6	3	3	6	3	3	6	3	3	6	7	4	

## ②教育課程

### ◆ 麻布大学

- 各学部学科の「カリキュラム・ポリシー(教育の実施に関する基本的な方針)」に基づき、教育を実施した。

## ■ 獣医学部

### ◇ 獣医学科

本学科の教育理念・目的に基づき、以下のような特徴あるカリキュラムとなっている。

1. 初等年次では、教養から基礎獣医学まで幅広い知識や倫理観を身に付けるために基礎系教員と獣医学系教員の協力による総合的なカリキュラムの設定や選択科目を増やした学生の自主性を尊重したカリキュラムを設定している。
2. 中等年次では、基礎獣医学から臨床獣医学、応用獣医学まで獣医師として必要な要素を身に付けるために獣医学系教員による専門的なカリキュラムを設定している。このため専門教育を基礎獣医学系、病態獣医学系、生産獣医学系、臨床獣医学系及び環境獣医学系の5系のカテゴリーに分け、系内及び系外教員との協力体制の下に教育を展開している。
3. 高等年次では、小動物臨床獣医師、産業動物臨床獣医師あるいは公衆衛生獣医師などの獣医師としての専門性を身に付け、実践力を体得するためのカリキュラムを設定している。
4. 獣医師として、社会に巣立つための獣医師ライセンスの取得を目的とした獣医師国家試験対策のために、専門教育5系に属する獣医学系全教員の連携による総合的なカリキュラムを設定している。

### ◇ 動物応用科学科

動物生命科学コースでは、分子、細胞、組織、器官、個体及び生態系と様々な段階における生命現象について、その機能を解析し、動物資源の利用・開発とその保全・増殖並びに人と動物に対する安全の観点から学際的な分野を含む広範な動物生命科学の総合的な知識と技術、バイオテクノロジーの多様な応用領域について幅広い知識と技術を身に付けた人材の育成を目標とする。

動物人間関係学コースでは、自然科学と人文科学・社会科学の境界領域の学問分野として、全ての動物を対象に人と動物のより良い関係を学び、動物と人の健康・福祉・教育への貢献、また人と野生動物とのより良い関係及び野生動物の生息地管理などについて幅広い知識を備えた人材の育成を目標とする。

このような基本方針に基づき、以下のような特徴あるカリキュラムを用意した。

1. 初年次教育から卒業時まで在学期間全体を通して、社会人・職業人として必要な知識・技術の習得が可能となるようにキャリア形成科目を各年次に計画的に配分した。  
具体的には、人文科学・社会科学など一般教養や英語を主とした語学力並びにコミュニケーション能力、情報処理能力などである。
2. 動物科学の基礎学力の向上を起点とし、2年次までに動物応用科学が目指す人と動物とのより良い共利共生につながる幅広い教育科目群を配当した。  
1年次前期から生物学、化学、生態学などの科目配当で基礎学力を身に付け、その後段階的に専門基礎科目を配当し、動物の形態と機能、動物の特性及び基本的な病態について教育する。  
また、本学科の全教員による動物応用科学概論、基礎ゼミなどを通じて、動物応用科学の広がりを認識し、その中で自らの修学意欲を高める教育を行っている。
3. 3年次以降においては、拡大・深化した動物応用科学の諸領域を動物の生命活動とその資源の利用・開発に関わる動物生命科学コースと、人と動物のより良き共利共生関係を目指す動物人間関係学コースの2コースの教育科目を設けた。

動物生命科学コースでは、遺伝子から、細胞、組織・臓器、微生物、個体、群集、生態系までの種々の段階における生命現象を、保全・増殖、機能解析、利用・開発並びに人と動物に対する安全の観点から、分子から個体までの多様なレベルで総合的に学ぶ。

動物人間関係学コースでは、伴侶動物、介在動物、野生動物を対象に、人の福祉や教育の現場に活用できるような、これらの動物の特性とその応用及び人と動物と環境の共生について総合的に学ぶ。

4. 4年次には、卒業論文や科学の伝達によってそれぞれの領域における動物応用科学の専門性の追求と、それを基礎とした人間社会への貢献の在り方を学ぶ。  
具体的には、社会最先端の実験手法、それを基にした動物機能性製品や新たな動物飼育法、社会調査、フィールド・ワークの実場面を体験し、そのデータ解析やレポート作成などを通じて、最新の研究情報を社会へ発信する能力、逆に社会ニーズに対応するための問題発見・解決能力を兼ね備える人材の教育を目指す。

## ■ 生命・環境科学部

### ◇ 臨床検査技術学科

本学科の教育理念と教育目標を具体化したカリキュラムは、「臨床検査技師学校養成所指定規則」第2条第3号に規定されている「臨床検査技師養成教育」に必要な専門科目80単位を基本とし、これに本学科独自の科目を加えて構成されている。すなわち、高い倫理観を養うための生命倫理学、科学英語論文を理解するための基礎科学英語や医学英語を取り入れた教養科目、及び疾病や遺伝的疾患を理解させるために臨床医学概論や基礎遺伝学、臨床遺伝学、遺伝子検査学を配当した。さらに、履修した科目の内容を総合的に理解させるとともに、早い時期から国家試験を意識させ、合格率を高めるために、教育の進行に合わせて総合臨床検査学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、総合臨床検査学演習を開講する。

1. 1～2年次において教養科目のほか、解剖学、組織学、生理学、微生物学、生化学、病理学、免疫学、医動物学などの専門基礎科目(必修)及び臨床化学、病理検査学、検査管理総論などの専門科目(必修)を配当し、基礎学力並びに専門基礎学力を身に付ける。
2. さらに、3～4年次において臨床医学概論、衛生・公衆衛生学、医用工学概論などの専門基礎科目(必修、選択)のほか、臨床病理学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学、臨床生理学、臨床遺伝学、そして医療の安全についての科目として臨床検査リスクマネジメントを含め、専門科目(必修、選択)を配当し、臨床検査技師教育の専門分野を展開する。
3. 卒業論文は、2～4年次の3年間で履修する選択科目とした。学生は各研究室に所属し、研究テーマの決定、研究活動に必要な知識と実験手技の習得、文献の購読、実験の実施、データの解析・考察、論文作成などを通じて、問題に取り組む能力、必要な情報を収集する能力及びプレゼンテーション能力など社会で要求される幅広いコミュニケーション能力を身に付ける。

### ◇ 食品生命科学科

本学科の教育目標を達成するためのカリキュラムの設定方針としては、次のようなカリキュラム(教育課程)を組み立てている。

1. 高等学校までの基礎学力があることを前提として、1年次前期に生物学、有機化学などの自然科学系科目を配当する。また、1年次前期から専門基礎科目を配当し、食の安全及び生命科学について学ぶ専門基礎学力を育成する。一方、学生の学習意欲を増進させるために、1年次前期に社会の第一線で活躍する企業人などによる各専門分野のエキスパートを講師としたフード・バイオビジネス概論及び専門教育を担当する教員による食環境論などの導入科目を配当する。さらに、学生として必須の自学自習の習慣付けの強化、資料の読解とレポート作成能力を強化するために基礎科目の実習も1年次前期より配当し、さらにローテーション方式による少人数のプレ専門ゼミを1年次後期に配当する。
2. 社会人・職業人として最低限必要な教養とスキルの習得については、1年次から2年次にかけての人文科学、社会科学などの一般教養、食生活と健康科学等を通して、多面的・倫理的に物事を考察できる能力が身に付くように配慮している。また、1年次から2年次にわたり、英語を主とした語学力の向上を図るとともに情報処理及びデータ解析能力の基礎を身に付ける。
3. 2年次以降においては、食の安全及びバイオの科学コースの2コースを設けて、それぞれのコースにおいて専門教育を十分に展開する。2コースに共通する科目は専門共通科目群として2、3年次に配当する。
4. 4年次には、専門ゼミや卒業論文に取り組むことより、食品生命科学領域の深さと広がり認識し、最新の必要情報を収集する能力と問題発見・解決能力及びプレゼンテーション能力を身に付ける。

### ◇ 環境科学科

持続可能な社会の担い手を養成するために、以下のポリシーに従ってカリキュラムを編成している。

1年次には、教養科目・基礎専門科目として経済学・社会学・法学などの社会科学の基本的な科目を置くほか、大気環境学、水環境学、土壌環境学、廃棄物リサイクル論などの環境の基礎に関する科目を配置する。また、コース選択の指針を与える環境科学概論を配置し、1年次終了時点で適切なコース選択が行えるよう配慮する。

2年次以降のコース別教育では、次のような教育カリキュラムを編成している。

#### 「環境技術コース」

1. 2年次に、水質衛生学、食品衛生学などの保健衛生に関する科目、機器分析化学、病原微生物学など、環境に悪影響を及ぼす因子やその分析に関する科目などを配置して、「環境の分析・調査能力」を養成する。
2. 3年次には、化学物質毒性評価学、農薬化学、環境リスク評価論など環境の評価に関する科目を配置し、分析結果に基づいて「環境の質を評価」する能力を養う。



3. 2年次後期から3年次後期にかけて、化学物質管理学、衛生管理学、水質汚染制御学、水処理工学・同演習など環境の維持・改善及び環境管理に関する科目を配置し、「環境の保護・保全に必要な技術やシステムを提案」できる能力を高める。
4. 4年次では卒業論文の完成とその発表を通して、情報の整理、伝達、プレゼンテーションの能力を培う。

#### 「環境と社会コース」

1. 2年次に、環境社会学、環境統計学、社会調査法などを配置し、「環境の社会的分析・調査に必要な能力」を養成する。
2. 3年次には環境影響評価論、リスクコミュニケーション論、環境管理論などを配置し、「社会調査等に基づく環境の質の評価手法」や「環境の維持・改善のための対策立案」する能力を養う。
3. 2, 3年次には、まちづくり論、ビオトープ論、市民環境活動論、都市計画論、エネルギー環境論など、持続可能性の観点から社会を分析・評価し、政策を提言する方法論を学ぶ。さらに「使える英語」教育の徹底を図り、グローバル化した社会における新しいライフスタイルの確立に向けた実践的なコミュニケーション能力を高める。
4. 4年次では卒業論文の完成とその発表を通して、情報の整理、伝達、プレゼンテーションの能力を培う。

### ◆ 麻布大学大学院

- 各研究科・専攻の「カリキュラム・ポリシー(教育の実施に関する基本的な方針)」に基づき、教育を実施した。

### ■ 獣医学研究科

#### ◇ 獣医学専攻 博士課程

1. 獣医学に関する専攻科目の専門的知識を、各専攻科目に担当された授業科目の講義、演習並びに実験・実習により習得させる。
2. 各研究室において、それぞれの指導教員との討論の基、自ら主体的に各分野の先端的な研究課題に取組、博士論文としてまとめる。これにより、課題解決方法、論理的思考、発展的な課題設定方法についてより深く学ばせる。
3. 研究成果を学内の課程博士論文中間発表会及び論文発表会で発表させるとともに、国内外の学会及び学術誌において発表することを支援する。これにより、日本語のみならず、英語を始めとする外国語でのプレゼンテーション及び質疑応答能力を養わせる。また、対外的な評価を受けることで、自己の研究能力を客観的に評価する機会を与える。

#### ◇ 動物応用科学専攻 博士前期課程

1. 動物応用科学に関する専攻科目の専門的知識を、各専攻科目に担当された授業科目の講義、演習並びに実験・実習により習得させる。
2. それぞれの指導教員の下、研究指導を受けながら研究課題に積極的に取組、修士論文としてまとめる。これにより、科学的な課題設定方法、論理的思考、各分野の先端的知識及び実験手法について学ばせる。
3. 研究成果を学内の課程修士論文中間発表会及び論文発表会で発表させるとともに、学外の学会等において発表することを支援する。これにより、プレゼンテーション及び質疑応答能力を養わせる。

#### ◇ 動物応用科学専攻 博士後期課程

1. それぞれの指導教員との討論の基、自ら主体的に各分野の先端的な研究課題に取組、博士論文としてまとめる。これにより、課題解決方法、論理的思考、発展的な課題設定方法についてより深く学ばせる。
2. 研究成果を学内の課程博士論文中間発表会及び論文発表会で発表させるとともに、国内外の学会及び学術誌において発表することを支援する。これにより、日本語のみならず、英語を始めとする外国語でのプレゼンテーション及び質疑応答能力を養わせる。また、対外的な評価を受けることで、自己の研究能力を客観的に評価する機会を与える。

## ■ 環境保健学研究科

### ◇ 環境保健科学専攻 博士前期課程

1. 6つの専門分野のいずれかに所属し、必修科目として開講されている授業科目の講義、実験及び実習により、その専門分野の基礎となる幅広い知識を習得させる(22単位)。
2. 他の専門分野の講義を4単位及び共通科目として開設されている「科学英語」(ネイティブスピーカーが担当)及び「科学者・研究者論」を含め8単位を修得させる(合計30単位)。
3. 授業科目の修得を通じて、環境保健科学分野の幅広い基礎知識を習得させる。
4. 授業科目を2年間で修得するとともに、修士論文を完成させるために入学後、早期に1人の研究指導教員及び2人の副研究指導教員を決定し、3人の指導教員による総合的で綿密な指導を行う。

### ◇ 環境保健科学専攻 博士後期課程

1. 各専門分野及び環境保健科学分野の基礎となる幅広い知識を土台に、更に高度な専門的知識を習得させる。
2. 所属する専門分野の「特別演習」及び「特別実験」を3年間にわたって履修させる(合計12単位)。
3. 授業科目の修得を通じて、高度で専門的な博士(学術)にふさわしい学識を習得させる。
4. 授業科目を3年間で修得させるとともに、博士論文を完成させるために入学後、早期に1人の研究指導教員及び2人の副研究指導教員を決定し、3人の指導教員による総合的で綿密かつ高度な研究指導を行う。

### ◇ 環境衛生政策専攻 修士課程

1. 環境衛生政策を立案するために必要な自然科学的知識、社会科学的知識及び人文科学的知識に関わる授業科目の講義及び演習により習得させる(合計30単位)。
2. 世界の最新情報を身に付けるためのネイティブ教員による科学英語を開講する。
3. これらの学問を2年間で修得し、修士論文を完成させるために入学後、早期に1人の研究指導教員及び2人の副研究指導教員を決定し、3人の指導教員による綿密な指導を行う。
4. 研究成果を学内の課程修士論文中間発表会で発表させるとともに、大学院を担当する全教員による総合的指導を行う。

③学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準

◆ 麻布大学

● ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標），必要単位修得数及び取得可能学位

■ 獣医学部

◇ 獣医学科

本学科の定められた教育課程を修了することで，次のような人材が育成されることを目標とする。

1. 獣医師としての専門分野の学問内容についての知識を習得している。
2. 獣医師として，臨床・予防衛生・公衆衛生に対応できる専門家としての実践能力を習得している。
3. 獣医師としての高い倫理観を有し，高度な専門職業人として責任をもった行動をとることができる。
4. 獣医師である高度な専門職業人として，課題発展能力・問題解決能力を習得し，獣医療の進歩や生命科学に関する社会のニーズの変化に，持続的に対応できる柔軟さと学習意欲を持つ。

◇ 動物応用科学科

本学科の定められた教育課程に在籍し，本学科の教育理念・教育目標に沿って設定した授業科目を履修し，基準となる単位数を修得することが学位授与の要件である。修得すべき授業科目には，講義科目のほか，演習や実習，フィールド・ワークや卒業論文作成等の科目が含まれる。この卒業要件を満たすことで，次のような人物が育成されることを目標とする。

1. 社会から求められる幅広い知識，教養と高い社会倫理を習得した人物
2. 社会から求められる語学力，コミュニケーション能力，問題発見・解決能力を習得した人物
3. 動物応用科学の領域の特性，その社会的責任，また動物応用科学の知識と技術を基に人間社会への貢献に寄与する人物
4. 動物応用科学における最新の科学技術に立脚した生命科学と社会の発展に貢献する，論理的で科学的な思考を習得した人物

□ 獣医学科（平成25年度入学者）

区分	単位数
基礎教育科目	
必修	5
選択必修	12
選択	23
専門科目	
必修	143
選択	5
<b>計</b>	<b>188</b>

取得可能学位 学士(獣医学)

□ 動物応用科学科（平成25年度入学者）

区分	単位数
基礎教育系科目群	
必修	22
選択必修	6
選択	7
専門共通科目群	
動物生命科学コース科目群	}
動物人間関係学コース科目群	
必修	72
選択	17
<b>計</b>	<b>124</b>

取得可能学位 学士(動物応用科学)

■ 生命・環境科学部

◇ 臨床検査技術学科

本学科は、次のような能力・知識を有する卒業生を輩出する。

1. 臨床検査技師国家資格を取得できる学力
2. 医療従事者としての高い倫理観
3. 各種の疾患を理解し、疾患と臨床検査成績との関連性を深く把握できる能力
4. チーム医療を理解し、実践できる能力
5. 自分の考えを論理的に口頭発表したり、記述できる総合的能力(卒業論文を通して)

上記の能力・知識の習得について、定期試験・追再試験などを行い、厳格な単位認定を行う。また、必修科目133単位、選択科目10単位の計143単位を卒業要件とし、これを修得した者に対して卒業認定を行う。

◇ 食品生命科学科

本学科では、多くの実習・演習を通じて、食品衛生学・食品生命科学分野の諸領域における幅広い知識と専門技術に加え、高度なバイオ技術を用いた研究方法を修得し、以下のとおり、社会で活躍できる人材の育成を目指している。そのための卒業要件として、基礎科目と専門教育科目からそれぞれ19単位及び105単位、合計124単位以上を修得することが義務付けられていて、目標を達成した学生に対して単位を認定する。

1. 生物学的及び化学的な分析の知識・技術に精通し、得られた実験・調査成績に基づいて適切な評価・解決策を講じられる。
2. 食の安全・安心分野でリーダーシップを発揮し、問題の追求と解決に情熱を持って取り組む。
3. 広い識見と創造性に富み、人の健康にかかわる専門分野で実践・活躍できる実力を身に付ける。

◇ 環境科学科

卒業要件として、環境技術コースでは必修95単位、選択29単位以上、環境と社会コースでは必修66単位、選択58単位以上、合計124単位以上の修得を義務付けている。これらの単位の認定に当たって、それぞれの科目担当者は、学生の学力を十分考慮しつつ一定レベルの到達目標を定め、その目標に達した学生にのみ単位を与えることとしている。

本学科の教育課程は次のような人材の育成を目標としている。

1. さまざまな環境問題に遭遇した時に、その問題の本質がどこにあるのかを自然科学的あるいは社会科学的に正しく捉えることのできる問題発見能力と問題解決能力を身に付ける。
2. 環境技術コース履修者にあつては、対象となる環境の理化学的、生物学的分析・評価と環境の維持・改善のための技術的な提案を通して、社会に貢献できる。
3. 環境と社会コース履修者にあつては、社会科学的な視点に立って、環境問題に対する政策的な立案と実践を通して、社会に貢献できる。

□ 臨床検査技術学科(平成25年度入学者)

区分	単位数
必修科目	133
選択科目	10
┌ 教養科目	4
└ 専門科目	6
<b>計</b>	<b>143</b>

取得可能学位 学士(保健衛生学)

□ 食品生命科学科(平成25年度入学者)

区分	単位数
必修科目	114
選択科目	10
┌ 基礎・教養科目	4
└ 専門科目	6
<b>計</b>	<b>124</b>

取得可能学位 学士(保健衛生学)

□ 環境科学科(平成25年度入学者)

コース	区分	単位数
環境技術 コース	必修科目	95
	選択科目	29
	┌ 教養科目	10
	└ 専門科目	19 ※1
<b>計</b>		<b>124</b>
環境と社会 コース	必修科目	66
	選択科目	58
	┌ 教養科目	18
	└ 専門科目	40 ※2
<b>計</b>		<b>124</b>

※1 4年次に6単位以上を修得し、うち、2単位以上は、4年次後期で修得すること。

※2 4年次後期に2単位以上を修得すること。

取得可能学位 学士(環境科学)

## ◆ 麻布大学大学院

## ● ディプロマ・ポリシー（修了時の到達目標），必要単位修得数及び取得可能学位

## ■ 獣医研究科

## ◇ 獣医学専攻 博士課程

1. 博士課程にあつては、所定の修業年限である4年以上在学し、必修20単位、選択10単位計30単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、かつ博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者に、博士（獣医学）の学位を与える。
2. ただし、博士課程に3年以上在学し、定められた授業科目につき課程修了必要単位を修得し、かつ、特に優れた研究業績を上げ、指導教員を含む3人以上の本研究科委員会委員が推薦し、博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、修業年限の特例により博士（獣医学）の学位を与える。
3. また、博士課程修了にあつては、以下の水準に到達していることを目安とする。
  - 1) それぞれの専門領域における高度な学識（専門的知識と見識）並びに研究技術を習得している。  
さらに、その学識と研究技術に基づいて独自に課題を設定し、それを解決・展開できる能力を身に付けている。
  - 2) 必要に応じて他の研究者及び研究機関との連携を図ることができる能力を身に付けている。
  - 3) 研究成果を国際的に公表するために必要な英語でのプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力及び論文作成能力を身に付けている。

上記3点の能力を通じて、獣医学における高度な専門性を持つ職業人、研究者及び教育者として社会に貢献できるようにする。

## ◇ 動物応用科学専攻 博士前期課程

1. 博士前期課程（修士課程）にあつては、所定の修業年限である2年以上在学し、必修・選択両科目を併せて30単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、かつ修士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者に、修士（動物応用科学）の学位を与える。
2. ただし、博士前期課程（修士課程）に1年以上在学し、所定の課程修了必要単位数を修得し、かつ特に優れた研究業績を上げ、指導教員を含む3人以上の本研究科委員会委員が推薦し、修士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、修業年限の特例により修士（動物応用科学）の学位を与える。
3. 博士前期課程（修士課程）修了に当たっては、以下の水準に到達していることを目安とする。
  - 1) 動物、微生物などに由来する遺伝子、細胞、タンパク質などの機能解析とその応用、食品科学における危険要因の低減、除去及び生理活性マテリアルとしての環境改善への応用、更に「健康な動物」の持つ機能の人間生活への活用、野生動物の保全・人間社会との軋轢の軽減などの研究領域に関する高度な専門知識を習得している。
  - 2) それぞれの専門領域における科学的な課題設定方法、論理的思考、各分野の先端的知識の収集及び実験手法など基本的な研究技術を習得している。
  - 3) それぞれの研究成果を学会等において公表するために必要なプレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を身に付けている。

## ◇ 動物応用科学専攻 博士後期課程

1. 博士後期課程にあつては、所定の修業年限である3年以上在学し、必修科目12単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、かつ博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者に、博士（学術）の学位を与える。
2. ただし、博士後期課程に2年以上在学し、所定の課程修了必要単位数を修得し、かつ特に優れた研究業績を上げ、指導教員を含む3人以上の本研究科委員会委員が推薦し、博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、修業年限の特例により博士（学術）の学位を与える。
3. 博士後期課程修了に当たっては、以下の水準に到達していることを目安とする。
  - 1) それぞれの専門領域における高度な学識（専門的知識と見識）並びに研究技術を習得している。  
さらに、その学識と研究技術に基づいて独自に課題を設定し、それを解決・展開できる能力を身に付けている。
  - 2) 必要に応じて他の研究者及び研究機関との連携を図ることができる能力を身に付けている。
  - 3) 研究成果を国際的に公表するために必要な英語でのプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力及び論文作成能力を身に付けている。
4. 上記3点の能力を通じて、人と動物の健康社会に貢献する高度な専門性を持つ職業人、研究者及び教育者としての資質を備えている。

□ 獣医学専攻 博士課程

区分	単位数
必修	20
選択	10
<b>計</b>	<b>30</b>

取得可能学位 博士(獣医学)

\* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

□ 動物応用科学専攻 博士前期課程

区分	単位数
必修	26
選択	4
<b>計</b>	<b>30</b>

取得可能学位 修士(動物応用科学)

\* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

□ 動物応用科学専攻 博士後期課程

区分	単位数
必修	12
<b>計</b>	<b>12</b>

取得可能学位 博士(学術)

\* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

■ 環境保健学研究科

◇ 環境保健科学専攻 博士前期課程

1. 博士前期課程にあつては、高い倫理観を養うとともに、コメディカルな分野に新しいバイオテクノロジーを導入した臨床検査技術学と生命科学及び環境科学にかかわる諸問題を解明する基礎的かつ応用的能力を身に付けて修了させる。
2. 高度な専門知識と技術を備えた有能な中堅研究者、技術者又は統括指導者を育てる。
3. 教育研究職等で活躍できる能力を持った人材を養成する。

◇ 環境保健科学専攻 博士後期課程

1. 博士後期課程にあつては、独創性の高い研究能力を培い、関連する分野で自立した研究者、技術者又は統括指導者になる能力を身に付けて修了させる。
2. 自立した研究者、技術者又は指導者として活躍できる人材を養成する。

◇ 環境衛生政策専攻 修士課程

1. 人間社会の身近な環境衛生政策分野に関連する自然科学・社会科学の両方の専門知識を備えた能力を身に付けて修了させる。
2. 環境衛生政策を直接担当する地方公共団体等の行政機関や環境衛生に関する一般企業において活躍できる能力を持った人材を養成する。

□ 環境保健科学専攻 博士前期課程

区分	単位数
必修	26
選択	4
<b>計</b>	<b>30</b>

取得可能学位 修士(環境保健科学)

\* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

□ 環境保健科学専攻 博士後期課程

区分	単位数
必修	12
<b>計</b>	<b>12</b>

取得可能学位 博士(学術)

\* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

## □ 環境衛生政策専攻 修士課程

区分	単位数
必修	22
選択	8
計	30

取得可能学位 修士(環境衛生政策)

\* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

## ● 博士・修士学位授与数 (平成25年度)

平成26年3月31日現在

研究科・専攻等	学位授与数			
	修士	博士(獣医学)	博士(学術)	
獣医学研究科	獣医学専攻	-	6	-
	動物応用科学専攻	21	-	2
	麻布大学学位規則第3条第3項に該当する者※	-	4	1
	小計	21	10	3
環境保健学研究科	環境保健科学専攻	4	-	1
	環境衛生政策専攻	0	-	-
	麻布大学学位規則第3条第3項に該当する者※	-	-	0
	小計	4	-	1
合計	25	10	4	

## ※【麻布大学学位規則】第3条

- 3 博士の学位は、本学大学院の博士課程を経ない者であっても、論文を提出して、その審査に合格し、かつ、前項に該当する者と同等以上の学力があることを確認された場合には授与することができる。

④ 平成25年度卒業生・修了者数及び進路状況

(人)

	麻布大学								麻布大学大学院				計
	獣医学科	動物応用科学科	臨床検査技術学科	食品生命科学科	環境科学科	健康環境科学科	衛生技術学科	環境政策学科	獣医学専攻	動物応用科学専攻*	環境保健科学専攻*	環境衛生政策専攻	
卒業生・修了者数	151	128	91	83	103	0	0	0	6	23	5	0	590

進路状況

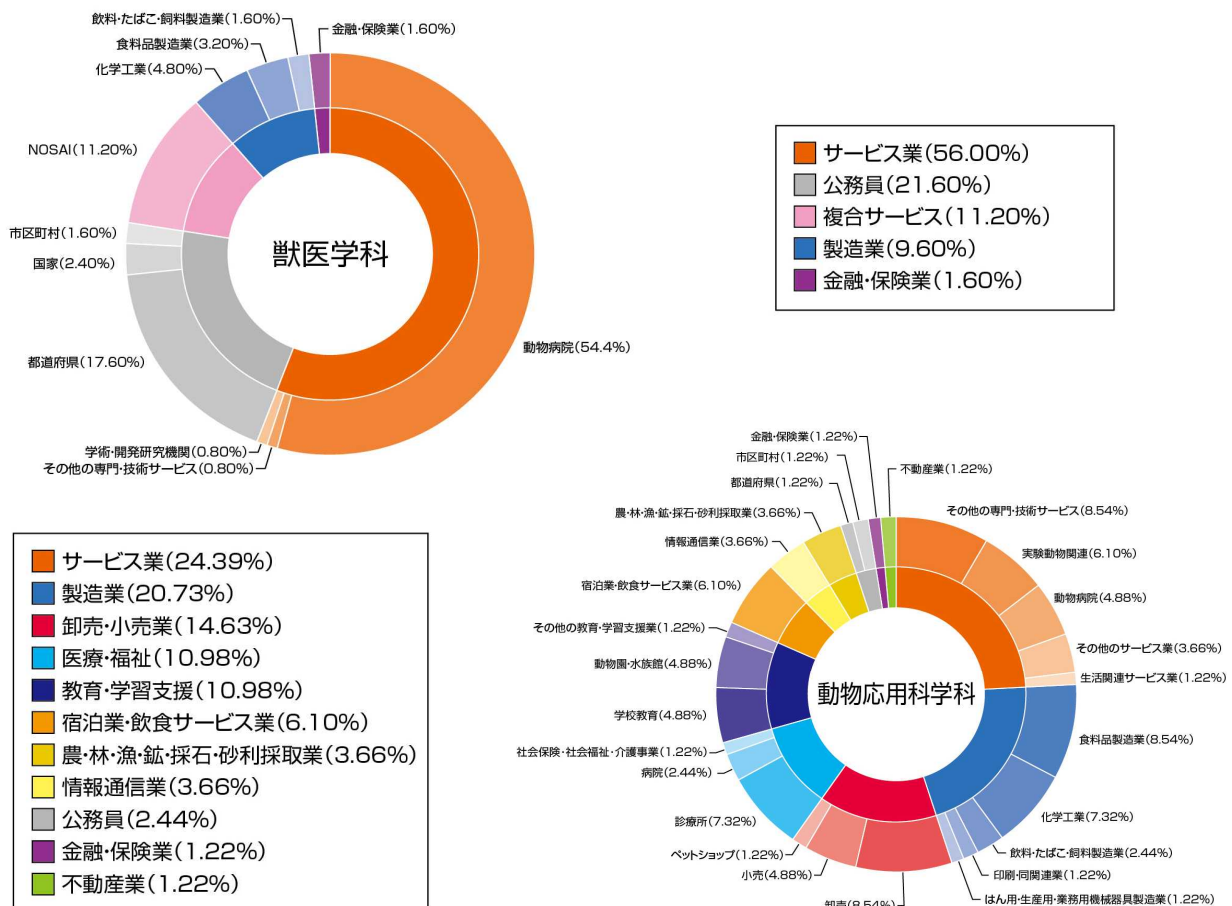
就職	125	82	65	60	73	0	0	0	4	20	1	0	430
進学	6	37	6	14	9	0	0	0	0	1	0	0	73
その他(浪人等)	20	9	20	9	21	0	0	0	2	2	4	0	87

[進学先内訳]

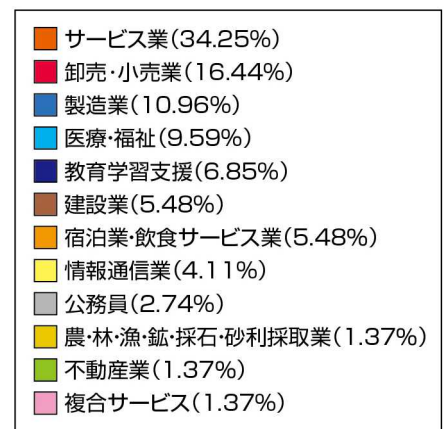
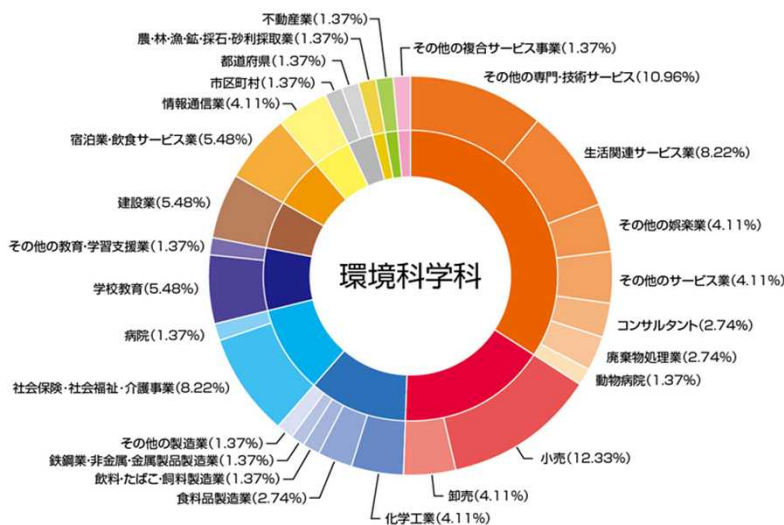
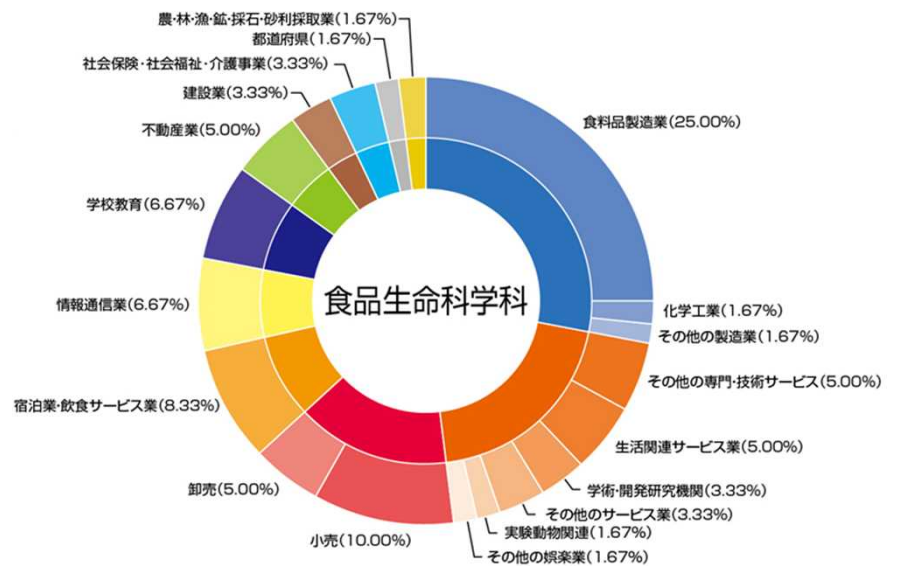
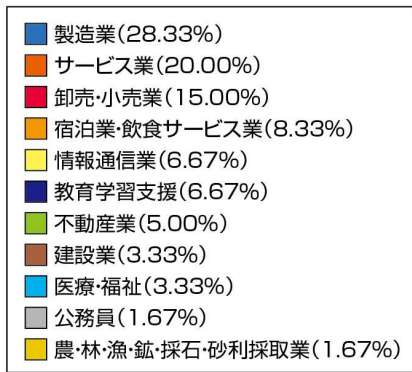
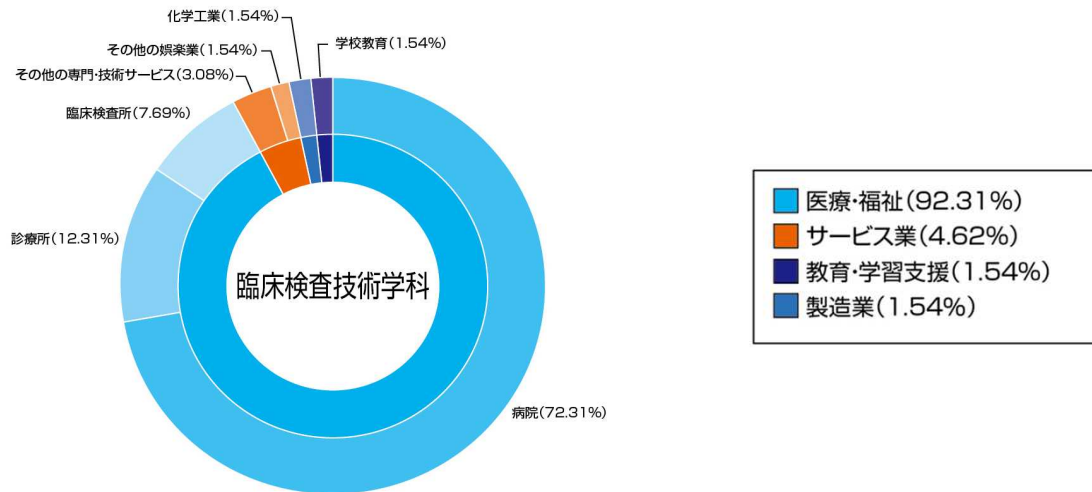
自大学院	1	23	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	30
他大学院	1	5	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	13
自大学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
他大学	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門学校・各種学校	1	5	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	11
その他(留学等)	2	3	5	3	2	0	0	0	0	1	0	0	16

\*麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻及び環境保健学研究科環境保健科学専攻の欄は、博士前期課程及び博士後期課程を合算した人数である。

● 就職先内訳 [麻布大学]





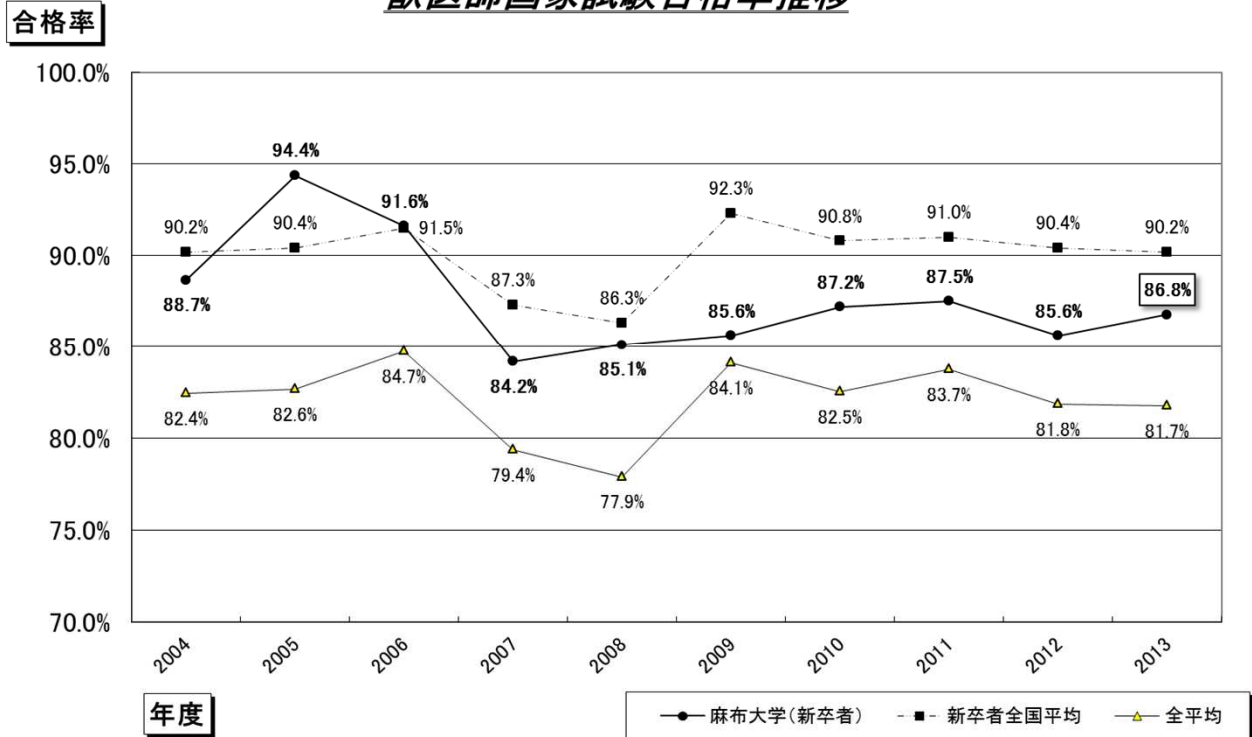


⑤ 国家試験合格率の推移

◆ 獣医師国家試験

(麻布大学 獣医学部獣医学科)

獣医師国家試験合格率推移



◆ 臨床検査技師国家試験

(麻布大学 環境保健学部衛生技術学科, 生命・環境科学部臨床検査技術学科)

臨床検査技師国家試験合格率推移



※ 2011(平成23)年度受験者から生命・環境科学部 臨床検査技術学科入学者が受験



⑦学習環境

平成25年5月1日現在

● キャンパス等

	区分	敷地面積 (㎡)
淵野辺キャンパス	神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71	110,078.31
信濃研修場	長野県佐久市布施字御牧原15-156	4,339.30
<b>敷地面積合計</b>		<b>114,417.61</b>

● 建物

区分	建物名称	建物の主な内容	床面積(㎡)	構造・階建
淵野辺キャンパス 麻布大学	獣医学部棟	獣医学部実習室, 研究室, 実験サポート室, 共用機器室	19,348.37	鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根7階建
	生命・環境科学部棟	生命・環境科学部実習室, 研究室, 高大共用講義室, 共用機器室, 自習室	1,032,325	鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根6階建
	4号館	学生食堂, 留学生研修室	1,605.73	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建
	5号館	実習室, 標本室	2,656.39	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建地下1階
	6号館	研究室, 食肉加工場, 水生生物飼育室	2,685.03	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
	7号館	研究室, 手術室, X線室	1,233.86	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
	8号館	講義室, コンピュータ・LL教室, 百周年記念ホール, 事務局各課	6,387.84	鉄骨鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺8階建
	9号館	メディアステーション, 講義室, 研究室	4,704.40	鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
	大教室		468.22	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建
	生物科学総合研究所	事務局, 飼育室, 実験室	3,423.22	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建
	本館	事務局各課, 学生相談室, 就職相談室, 会議室	1,656.95	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建
	学術情報センター(図書館)	図書館	1,846.96	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建地下1階
	獣医臨床センター	附属動物病院, 小動物飼育施設, ハイテク・リサーチセンター	5,583.43	鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付6階建
	コンパニオン・ドッグ・ラボラトリ	「動物トレーニング実習」を本格的に行う施設	214.11	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建
	教育用動物繋留施設		164.03	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	学生ホール	生協, 部室	1,276.08	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
	クラブハウス1	部室, 音楽練習場, 土俵, ボクシング練習場	729.75	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
	クラブハウス2	部室, 多目的ルーム	207.36	鉄骨造鉄板葺2階建
	百周年記念会館	学生食堂, 同窓会事務局, 会議室	764.01	鉄骨造ルーフィング葺2階建
	空手道場		197.55	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	馬術部部室		99.00	軽量鉄骨プレハブ造2階建
	小動物舎1		280.50	鉄骨造陸屋根平家建
	小動物舎2	手術室, 飼育室	213.84	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
	鶏舎1		51.84	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	鶏舎2		25.92	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	厩舎		476.97	鉄骨造鉄板葺一部2階建
	厩舎(小)		18.90	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建
	豚舎		597.34	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
	羊舎		40.71	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	牛舎		728.72	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
	危険物倉庫		7.68	コンクリートブロック造波スレート葺平家建
	ボイラー室		49.20	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建(平家建)
倉庫(守衛所横)		38.66	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建	
正門守衛所		28.57	鉄筋コンクリート造平家建	

区分	建物名称	建物の主な内容	床面積(㎡)	構造・階建
麻布大学	東門守衛所		20.12	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	特別高圧変電所		22,323.00	鉄骨造合金メッキ銅板葺平家建
	床面積小計		1,112,479.26	
淵野辺キャンパス 附属高等学校	高校1号棟	教室, 食堂, 売店	4,325.82	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建
	高校2号棟	教室, 事務室	3,026.29	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
	体育館		1,082.61	鉄骨鉄筋コンクリート造鉄板葺2階建
	麻布獣医学園アリーナ		354,781	鉄骨鉄筋コンクリート造ステンレス銅板葺2階建
	武道館		777.49	鉄骨造亜鉛メッキ銅板葺2階建
	高校部室	部室	337.60	鉄骨造鉄板葺2階建
	高校倉庫		138.80	鉄骨造合金メッキ銅板葺2階建
	総合グラウンド管理棟	体育教員室, 更衣室	222.31	鉄骨造亜鉛メッキ銅板葺2階建
	総合グラウンド倉庫棟	倉庫	280.80	鉄骨造亜鉛メッキ銅板葺平屋建
	床面積小計		364,972.72	
信濃研修場	研究棟		559.54	鉄骨造ルーフィング葺2階建
	職員棟		165.62	木造ルーフィング葺平家建
	床面積小計		725.16	
床面積合計			1,478,177.14	

● 厚生補導施設等

施設等	概要
学生ホール	1階には談話室, シャワー室, 生協店舗(売店)等があり, 2階にはクラブ部室(25室)がある。学生は, 憩いとコミュニケーションの場として活用している。
クラブハウス1	学生ホールに隣接して建設しており, 1階には防音設備完備の音楽練習場, 弓道場, 相撲部土俵, ボクシング練習場があり, 2階には学生自治会及びクラブ部室(11室)がある。学生は, クラブ活動の拠点として大いに活用している。
クラブハウス2	クラブハウス1の北側に建設しており, 1階にはクラブ部室(4室), 2階には筋力トレーニングやミーティングといった様々な用途に利用可能な多目的ルーム(3室)がある。クラブハウス1と同様, 学生は, クラブ活動の拠点として大いに活用している。
麻布総合グラウンド	敷地面積は15,906㎡。各種球技(野球, サッカー, ラグビー等)及び陸上競技に使用できる総合グラウンドである。 学生は, クラブ活動等で利用するほか, 大学祭などの各種イベントの会場として活用している。また, 附属高等学校では, 授業や部活動等で大いに利用している。
麻布総合グラウンドの管理棟・倉庫棟	麻布総合グラウンド西側に大学と附属高等学校の共同施設として建設。管理棟2階には, 多目的室(2室)があり, クラブハウス2と同様の設備がそろう, 筋力トレーニングやミーティング等に利用できる。倉庫棟には広い収納スペースがある。
4号館	1階には生協が運営するカフェテリア方式の学生食堂(300席)があり, 2～3階には教員室や留学生研修室等がある。学生は, 食堂利用のほか, 授業の合間の休憩, 自主学習やコミュニケーションの場として活用している。
百十周年記念会館	創立百十周年を記念し, 平成14年10月に竣工した。1階にはカフェテリア方式の食堂(150席)があり, 2階には多用途に利用できる会議室や麻布大学同窓会の事務室がある。
バーベキュー場	4号館横に設置しており, 学生はルールを厳守の上, 懇親の場として活用している。
ラウンジ	獣医学部棟1階の一部を, ラウンジとして開放している。学生は, 授業の合間の休憩や懇親の場として利用するほか, 放課後の自主学習の場としても活用している。
自習室	生命・環境科学部棟の自習室に加え, 獣医学部棟1階115室, 116室及び117室を学生用自習室として開放している。なお, 116室及び117室については, 11月初旬から2月下旬にかけて, 獣医師国家試験を控えた獣医学科6年次学生優先の自習室としている。
大学テニスコート	敷地面積は1,517.7㎡, 設置コートは2面。学生ホールの北側に設置しており, 学生は, クラブ活動等で利用している。
附属高等学校テニスコート	敷地面積は1,424.5㎡, 設置コートは2面。附属高等学校2号棟の北側に設置しており, 主に附属高等学校の授業やクラブ活動で利用される。
武道館	床面積は, 777.49㎡。1階には柔道場があり, 2階には剣道場がある。主に附属高等学校の授業やクラブ活動で利用されるほか, 大学の学生も, クラブ活動等で使用している。
附属高等学校食堂・売店	附属高等学校1号棟1階に設置しており, 食堂の収容数は120席である。また, 食堂の隣には生協が運営する売店を設置している。生徒等は, 昼食時に利用するほか, 憩いの場として活用している。
信濃研修場	昭和52年6月, 学生・生徒等の学外教育施設として開設した。研修棟には宿泊室(7室), 宿泊室兼研修室(1室), 研修室兼食堂があり, 職員棟には宿泊室(4室)及び応接室兼会議室(1室)がある。

⑧ 学生納付金

◆ 麻布大学

● 平成20年度以降入学に係る学納金

(単位 円)

学部・学科・コース		年次	1年次		2年次以降		
			前期	後期	前期	後期	
獣医学部	獣医学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	200,000	200,000	200,000	200,000	
		授業料	625,000	625,000	625,000	625,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
		教育充実費	150,000	150,000	150,000	150,000	
	合計	1,325,000	1,075,000	1,075,000	1,075,000		
	動物応用科学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000	
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
教育充実費		50,000	50,000	50,000	50,000		
合計	975,000	725,000	675,000	675,000			
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000	
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000	
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000		
	食品生命科学科	食の安全コース	入学金	250,000	—	—	—
			施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
			授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
			実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
			教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000		
	バイオ科学科	バイオ科学コース	入学金	250,000	—	—	—
			施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
			授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
			実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
			教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000		
環境科学科	環境技術コース	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000	
		授業料	350,000	350,000	425,000	425,000	
	環境と社会コース	実験実習費	—	—	100,000	100,000	
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000	
		合計	800,000	550,000	675,000	675,000	
環境科学科	環境と社会コース	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000	
		授業料	350,000	350,000	350,000	350,000	
	環境と社会コース	実験実習費	—	—	—	—	
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000	
		合計	800,000	550,000	500,000	500,000	

【注】 1 入学金は、入学年度のみ適用する。ただし、附属高等学校特別入学試験に合格して入学した場合の入学金は、免除とする。  
 2 編入学生の初年度の学納金については、「2年次以降」の金額に入学金を加えた金額を適用する。

● 平成19年度以前入学に係る学納金

(単位 円)

学部・学科		年次	1年次		2年次以降	
			前期	後期	前期	後期
獣医学部	獣医学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	200,000	200,000	200,000	200,000
		授業料	625,000	625,000	625,000	625,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
		教育充実費	150,000	150,000	150,000	150,000
	合計	1,325,000	1,075,000	1,075,000	1,075,000	
	動物応用科学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
教育充実費		50,000	50,000	50,000	50,000	
合計	975,000	725,000	675,000	675,000		
環境保健学部	健康環境科学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000	
	衛生技術学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000	
	環境政策学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
		授業料	350,000	350,000	350,000	350,000
実験実習費		—	—	—	—	
教育充実費		50,000	50,000	50,000	50,000	
合計	800,000	550,000	500,000	500,000		

【注】 1 入学金は、入学年度のみ適用する。  
 2 編入学生の初年度の学納金については、「2年次以降」の金額に入学金を加えた金額を適用する。

## ◆ 麻布大学大学院

(単位 円)

項目	区分 年度	動物応用科学専攻 博士前期課程		獣医学専攻博士課程・ 動物応用科学専攻博士後期課程		環境衛生政策専攻 (修士課程)		環境保健科学専攻 博士前期課程		環境保健科学専攻 博士後期課程	
		初年度	次年度以降	初年度	次年度以降	初年度	次年度以降	初年度	次年度以降	初年度	次年度以降
学 納 金	入学金	250,000	—	250,000	—	250,000	—	250,000	—	250,000	—
	授業料	600,000	600,000	600,000	600,000	500,000	500,000	600,000	600,000	600,000	600,000
	実験・実習費	200,000	200,000	200,000	200,000	—	—	200,000	200,000	200,000	200,000
	施設設備費	150,000	—	150,000	—	150,000	150,000	150,000	—	150,000	—
	合計	1,200,000	800,000	1,200,000	800,000	900,000	650,000	1,200,000	800,000	1,200,000	800,000

- 【注】 1 施設設備費は本学を卒業した者に限り免除とする。  
2 本学の博士前期課程修了者が博士後期課程に入学した場合の入学金は免除する。

## ● 授業料の免除・徴収猶予

## ■ 麻布大学学則

**第62条** 経済的理由によって納付が困難であり、かつ学業が優秀と認める場合、その他やむを得ない事情があると認めた場合は、授業料・実験実習費・教育充実費及び施設設備費の全部若しくは一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。

## ■ 麻布大学大学院学則

**第19条の2** 経済的理由によって学納金納付が困難であり、かつ学業が優秀と認めた場合又はその他やむを得ない事情があると認めた場合は、授業料・実験実習費及び施設設備費の全部若しくは一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。

⑨ 学生支援と奨学金

● 学生支援体制（麻布大学・麻布大学大学院）

支援内容	支援組織等	場所	具体的な支援内容等
就職支援・進路相談	学生支援課	8号館1階	進路・就職についての相談、斡旋、就職相談室の受付、就職に必要な事務手続、キャリア形成支援、インターンシップ、就職活動関係講座等の開催、企業等説明会の開催など
	就職閲覧室	8号館1階	就職及び進学に関する資料の展示・配付、求人情報の提供、就職情報検索専用パソコンの設置など
	キャリア・就職相談室	本館2階	相談員による就職相談、提出書類の添削、模擬面接など
教育支援・履修支援	附属教育・推進センター	8号館1階	リメディアル授業の開講、チューターによる個別指導、履修相談、学生による授業評価の実施など
	学生支援課	8号館1階	入学前教育、教職課程、各種資格、単位互換、転学部・転学科、学外実習に関すること。その他、履修・成績に関する教務全般、履修相談、休学、退学、学生の個人情報の変更に関すること
研究支援	研究推進・支援本部 学術支援課	本館2階	知的財産権等研究成果及び競争的資金を含む外部資金（共同研究、受託研究など）に関すること等の研究活動支援全般
生活支援	学生支援課	8号館1階	学生生活相談、各種証明書の発行、自転車・ロッカーの登録、課外活動支援など
経済支援	学生支援課	8号館1階	各種奨学金の案内、学納金の徴収猶予・免除等の相談、アルバイト求人案内など
保健・衛生	健康管理センター	8号館1階	健康相談、応急処置、定期健康診断、健康診断証明書の発行、検査など
メンタルヘルス	学生相談室	本館2階	カウンセラー（学外の臨床心理士等）による相談
ハラスメント 防止	ハラスメント防止委員会	—	セクシュアル・ハラスメント等の人権侵害の防止と被害からの救済・回復、啓発活動
	セクシュアル・ハラスメント等相談員	—	学内相談員（教職員）によるハラスメント相談
	ハラスメント相談室	本館2階	学外相談員によるハラスメント相談

◇ クラス担任 ◇

麻布大学では、学生の最も身近な相談相手として、各学科各年次に2～3人の「クラス担任」を置いている。クラス担任は、クラス全体の問題を始め、学生生活で直面する学習上の問題、健康、生活、経済面などの個人的な悩みについても相談に応じ、助言等を行っている。

● 奨学金

種類	貸与の種類	対象・条件	金額	
麻布大学奨学金	無利子	なし	学納金相当額	
麻布大学父母会奨学金	無利子	なし	学納金相当額	
麻布大学同窓会奨学金	無利子	なし	学納金半期相当額	
日本学生支援 機構 (JASSO)	第1種	学部学生	54,000円又は30,000円より選択（月額）	
		自宅通学者		
		自宅外通学者		64,000円又は30,000円より選択（月額）
		大学院学生（修士・博士前期）		50,000円又は88,000円より選択（月額）
	大学院学生（博士後期）	80,000円又は122,000円より選択（月額）		
	第2種	有利子	学部学生	30,000円、50,000円、80,000円、100,000円、120,000円より選択（月額） （獣医学科は、140,000円も選択可）
		大学院学生 （修士・博士前期・博士後期）	50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円より選択（月額）	



## ● 平成25年度 各種奨学金貸与状況

平成26年3月31日現在

## ■ 麻布大学

区分		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	小計	合計
麻布大学奨学金		3	4	5	5	0	3		20
麻布大学父母会奨学金		0	0	1	1	1	0		3
麻布大学同窓会奨学金		0	0	0	0	0	0		0
日本学生支援機構奨学金(JASSO)		218	228	249	218	71	62		1,046
獣医学科 (学生数934人)	第1種	13	30	26	23	21	13	126	383
	第2種	33	38	49	38	50	49	257	
	(併用者)	(3)	(9)	(16)	(8)	(9)	(6)	(51)	
動物応用科学科 (学生数560人)	第1種	17	17	19	20	-	-	73	201
	第2種	32	30	36	30	-	-	128	
	(併用者)	(5)	(2)	(7)	(2)	-	-	(16)	
臨床検査技術学科 (学生数366人)	第1種	9	7	7	7	-	-	30	156
	第2種	31	33	30	32	-	-	126	
	(併用者)	(3)	(3)	(1)	(2)	-	-	(9)	
食品生命科学科 (学生数363人)	第1種	9	8	8	10	-	-	35	128
	第2種	21	25	27	20	-	-	93	
	(併用者)	(2)	(3)	(2)	(3)	-	-	(10)	
環境科学科 (学生数493人)	第1種	13	8	11	3	-	-	35	178
	第2種	40	32	36	35	-	-	143	
	(併用者)	(4)	(4)	(2)	(0)	-	-	(10)	
合計		221	232	255	224	72	65	-	1,069

※ 日本学生支援機構奨学金(JASSO)の併用者は、内数

## ■ 麻布大学大学院

区分		1年次	2年次	3年次	4年次	小計	合計
日本学生支援機構奨学金(JASSO)							
獣医学専攻 博士課程	第1種	2	4	0	4	10	10
	第2種	0	0	0	0	0	
	(併用者)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
動物応用科学専攻 博士課程前期	第1種	10	10	-	-	20	21
	第2種	1	0	-	-	1	
	(併用者)	(1)	(0)	-	-	(1)	
動物応用科学専攻 博士課程後期	第1種	2	0	2	-	4	4
	第2種	0	0	0	-	0	
	(併用者)	(0)	(0)	(0)	-	(0)	
環境保健科学専攻 博士課程前期	第1種	0	2	-	-	2	4
	第2種	0	2	-	-	2	
	(併用者)	(0)	(1)	-	-	(1)	
環境保健科学専攻 博士課程後期	第1種	1	0	1	-	2	2
	第2種	0	0	0	-	0	
	(併用者)	(0)	(0)	(0)	-	(0)	
環境衛生政策専攻 修士課程	第1種	0	0	-	-	0	1
	第2種	1	0	-	-	1	
	(併用者)	(0)	(0)	-	-	(0)	
合計		17	18	3	4	-	42

※ 日本学生支援機構奨学金(JASSO)の併用者は、内数

⑩ 学生表彰制度

◆ 麻布大学

■ 学業成績優秀者

年度始めに、各学科から年次ごとに原則として3人(獣医学科及び動物応用科学科は4人)の学業成績及び人物の優秀な者を表彰する。表彰式は6月に行われ、賞状・副賞及び奨学金が授与される。なお、この賞は複数回受賞することができる。また、卒業認定時に、越智賞受賞者を除く各学科から原則として3人(獣医学科及び動物応用科学科は4人)の学業成績及び人物の優秀な者を表彰する。表彰式は卒業式に行われ、賞状及び副賞が授与される。

■ 越智賞

麻布獣医学園越智基金により、昭和63年度から設けられた制度で、毎年度の卒業生で最も学業成績及び人物が優秀な者に対して、各学科1人を表彰する。表彰は、卒業式に行われ、賞状と副賞が授与される。

■ 増井光子賞

麻布獣医学園増井光子基金により、平成24年度から設けられた制度で、学部学生及び大学院学生で、専門領域において、各種の受賞など学会等で高く評価され、今後の可能性が期待されると認められる者及び社会活動等で顕著な功績を上げた者を表彰する。表彰式は6月に行われ、賞状と副賞が授与される。(授与者数:若干名)

■ 学生功労賞

本学の学生及び団体が、スポーツ若しくは文化活動において、顕著な業績を上げ、又は社会に対して模範となることを行い、もって本学の名誉を著しく高めた場合に表彰する。表彰式は次年度6月に行われることとなり、賞状と副賞が授与される。(年間表彰予定数:個人5人, 3団体)

■ 日本獣医師会優等卒業生

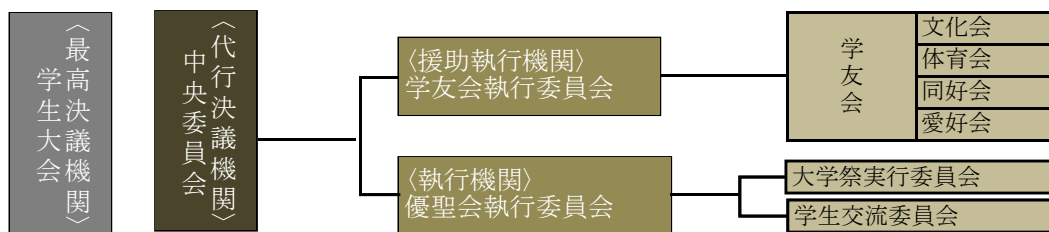
日本獣医師会より、獣医学教育の振興のため、獣医学科において最も優秀な卒業生1人に対し、優等卒業生の表彰をする。表彰式は卒業式に行われ、賞状と副賞が授与される。

⑪ 学生の課外活動の状況

● 学生団体・生徒会

■ 麻布大学全学学生自治会

麻布大学学部学生全員(獣医学科5, 6年次を除く。)で構成し、全員の民主的精神, 自主的活動により, 大学生活の維持充実を図り, 学生自治の健全化に努め, 学風・環境の刷新に資することを目的に活動している。主な活動内容としては, 学生大会等で学生から提案された要望などについて, 大学と話し合いを行い, 学生生活がより充実したものになるように努めているほか, 「大学祭」や「学生交流週間」に際し, 学生自治会中央委員会が中心になって実行委員会を組織して取り組んでいる。



■ 獣医学科5・6年生会

全学学生自治会とは独立した固有の自治団体として、獣医学科5・6年次の学生によって、中央委員会、国家試験対策委員会、アルバム委員会等を構成し、獣医師国家試験対策、獣医学科卒業記念アルバム作製等を中心とした活動を行っている。

■ 謝恩会実行委員会

獣医学科、動物応用科学科、生命・環境科学部の最終年次の学生で構成され、毎年3月に実施されるそれぞれの謝恩会の企画・運営を行う。

■ 卒業アルバム委員会

獣医学科、動物応用科学科、生命・環境科学部の最終年次の学生で構成され、卒業アルバムの発行に向けて外部業者と共同作業で作製・編集に関する活動を行う。

## ⑫ 国際交流

平成26年5月1日現在

## ● 学術交流協定校・機関

## ■ 学術交流協定校・機関一覧

	名称	国名	協定締結年	協定形態
1	アスンシオン大学	パラグアイ共和国	昭和61年	大学間
2	ペンシルヴァニア大学	アメリカ合衆国	平成2年	獣医学部間
3	国立中興大学	台湾	平成9年	大学間
4	全北大学校	大韓民国	平成16年	大学間
5	吉林農業大学	中華人民共和国	平成17年	大学間
6	北京農学院	中華人民共和国	平成18年	大学間
7	チェンマイ大学	タイ王国	平成19年	大学間
8	モンゴル大学	モンゴル国	平成20年	大学間
9	モンゴル科学アカデミー	モンゴル国	平成20年	機関間
10	フスタイ国立公園	モンゴル国	平成20年	機関間
11	モンゴル自然史博物館	モンゴル国	平成20年	機関間
12	国立台湾大学	台湾	平成25年	獣医学部間

## ■ 学術交流準協定一覧

	名称	国名	協定締結年	協定形態
1	エディンバラ大学	スコットランド(英国)	平成20年	大学—獣医学部間

## ● 海外派遣学生数（平成25年度）

(人)

	学部・研究科等	海外派遣学生数
学部 獣医学部	獣医学科	29
	動物応用科学科	4
生命科学・ 環境部	臨床検査技術学科	0
	食品生命科学科	0
	環境科学科	0
<b>学部計</b>		<b>33</b>
研究 獣医学 科学	獣医学専攻博士課程	0
	動物応用科学専攻博士前期課程	0
	動物応用科学専攻博士後期課程	0
環境 研究 保健 科学	環境保健科学専攻博士前期課程	0
	環境保健科学専攻博士後期課程	0
	環境衛生政策専攻修士課程	0
<b>研究科計</b>		<b>0</b>
<b>合計</b>		<b>33</b>

※ 学術交流協定校への派遣のみを対象としている。

⑬ 大学間等の連携

	連携機関	連携内容	協定締結年	備考
1	放送大学	単位互換	平成6年	
2	首都圏西部大学単位互換協定会	単位互換	平成10年	
3	神奈川県内の大学間における学術交流協定 (県内25の大学キャンパスにおける大学院単位交換)	単位互換	平成13年	
4	神奈川県教育委員会	部活動支援学生ボランティア事業	平成17年	
5	東京都町田市(町田市学長懇談会)	包括協定	平成18年	
6	公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム	地域貢献・生涯学習	平成19年	
7	公益財団法人日本盲導犬協会	包括協定	平成20年	
8	一般財団法人C.W. ニコル・アフアの森財団	学術交流	平成22年	
9	かながわ産学公連携推進協議会	産学官連携	平成22年	
10	神奈川県(県及び県内農学系4大学)	都市農業振興	平成24年	
11	一般社団法人日本養豚協会	包括協定	平成25年	
12	一般財団法人生物科学安全研究所	包括協定	平成25年	
13	特定非営利活動法人 緑のダム北相模	包括協定	平成25年	
14	独立行政法人地域医療機能推進機構相模野病院	包括協定	平成25年	
15	株式会社日本産業動物管理センター	包括協定	平成25年	
16	愛媛県	就職支援	平成26年	

⑭ 高大連携協定校

	協定校	連携内容	協定締結年	備考
1	神奈川県立座間高等学校	【大学側】 聴講生徒・研究室体験生徒の受入れ 大学教員による高校への出張講義  【高校側】 教育実習生の受入れ  【双方】 教育についての情報交換及び交流 その他双方が協議した合意事項	平成15年	
2	神奈川県立城山高等学校		平成15年	
3	神奈川県立麻溝台高等学校		平成16年	
4	神奈川県立相原高等学校		平成16年	
5	神奈川県立川崎工科高等学校		平成22年	
6	神奈川県立大和東高等学校		平成22年	
7	神奈川県立相模原高等学校		平成23年	

## (3) 研究に関する情報

## ① 競争的資金等受入状況

## ● 文部科学省及び厚生労働省 科学研究費補助金 ※

交付元	研究種目	件数(件)		交付金額(千円)		
				直接経費	間接経費	計
文部科学省	新学術領域研究	新規	2	24,097	7,229	31,326
		継続	0	0	0	0
	基盤研究(A) 海外	新規	0	0	0	0
		継続	0	0	0	0
	基盤研究(A)	新規	0	0	0	0
		継続	1	7,400	2,220	9,620
	基盤研究(B)	新規	0	0	0	0
		継続	1	3,400	1,020	4,420
	基盤研究(C)	新規	10	14,600	4,380	18,980
		継続	17	18,200	5,460	23,660
	挑戦的萌芽研究	新規	4	5,800	1,740	7,540
		継続	3	2,300	782	3,082
	若手研究(A)	新規	0	0	0	0
		継続	0	0	0	0
	若手研究(B)	新規	1	1,100	330	1,430
		継続	4	4,400	1,320	5,720
	奨励研究	新規	0	0	0	0
		継続	0	0	0	0
	特別研究員奨励費	新規	2	2,000	0	2,000
		継続	3	2,600	0	2,600
小計	新規	19	47,597	13,679	61,276	
	継続	29	38,300	10,802	49,102	
厚生労働省	健康安全・危機管理 対策総合研究事業	新規	0	0	0	0
		継続	1	3,616	1,084	4,700
	小計	新規	0	0	0	0
		継続	1	3,616	1,084	4,700
<b>合計</b>		<b>49</b>	<b>89,513</b>	<b>25,565</b>	<b>115,078</b>	

※本学教員等が「研究代表者」となっているもの。

## ● その他の競争的資金等

交付元/研究種目		件数(件)		受入額(千円)
文部科学省 (独立行政法人科学技術振興機構含む)	獣医学部	2		6,015
	生命・環境科学部	1		
経済産業省	獣医学部	1		2,448
農林水産省	獣医学部	2		2,646
厚生労働省	獣医学部	1		5,000
自治体	福島県 平成24年度ふくしま医療福祉機器開発 事業費補助金	獣医学部	1	3,000
	福島県	獣医学部	1	500
	沖縄県 平成25年度 バイオ産業活性化支援事 業補助金	獣医学部	1	2,000
	川崎市 平成25年度 ナノ・マイクロ産学協働研 究開発助成金	獣医学部	1	987
	焼津市	生命・環境科学部	1	543
財団等	平成25年度 日本中央競馬会畜産 振興事業	獣医学部	1	697
	東京都中小企業振興公社 平成25年度 新製品・新技術開発助成 事業	附属動物病院	1	1,409
<b>受入金額合計(千円)</b>				<b>25,245</b>

② 学内競争的資金の状況

学内競争的資金	件数		金額(千円)
大学院整備重点化経費	獣医学研究科	27	25,400
	環境保健学研究科	7	3,900
知財展開研究経費	獣医学部	2	5,000
若手育成研究経費	獣医学部	7	3,500
	生命・環境科学部	1	500
	附属動物病院	2	1,000

③ 知的財産データ ※

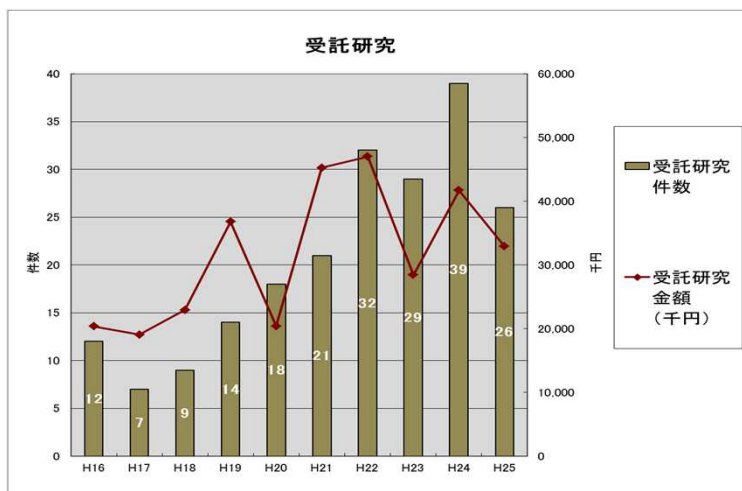
年度 出願・登録	平成25 年度	平成24 年度	平成23 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成20 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成17 年度	平成16 年度	合計
国内特許出願	7	5	7	3	3	5	4	2	6	0	42
海外特許出願	11	4	3	2	0	2	5	3	0	0	30
国内外審査請求	1	3	4	2	2	3	1	0	1	0	17
国内特許登録	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
特許登録	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
商標登録	0	0	0	0	0	2	0	1	2	0	5
技術移転(ライセンス, 譲渡等)	3	4	5	0	2	1	0	0	0	0	15

※ 平成16年度～平成25年度の職務発明を対象とする。

④ 受託研究等の受入状況 (平成16年度～平成25年度までの推移)

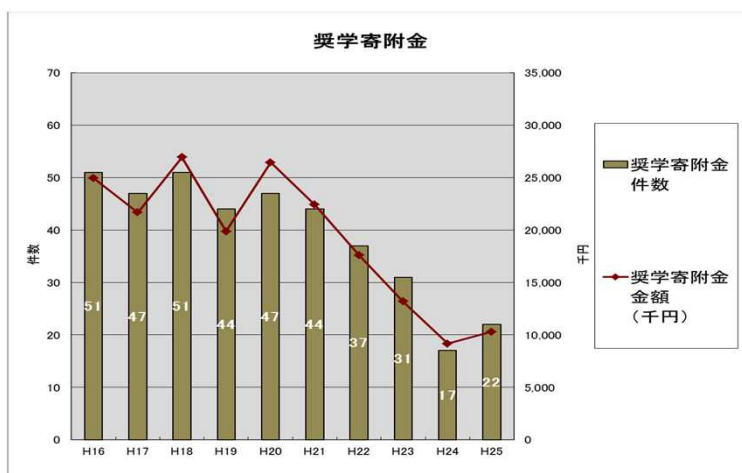
● 受託研究

年度	金額(千円)	件数
16	20,362	12
17	19,045	7
18	22,936	9
19	36,799	14
20	20,386	18
21	45,243	21
22	46,989	32
23	28,426	29
24	41,697	39
25	32,889	26



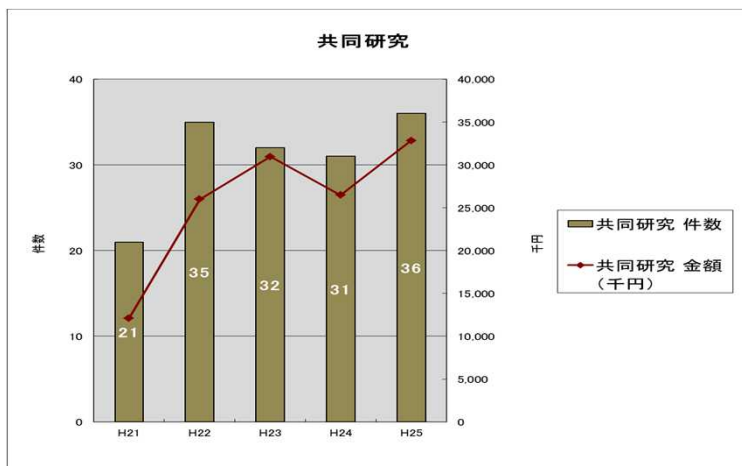
● 奨学寄附金

年度	金額(千円)	件数
16	24,938	51
17	21,665	47
18	26,932	51
19	19,864	44
20	26,445	47
21	22,421	44
22	17,612	37
23	13,192	31
24	9,165	17
25	10,295	22



● 共同研究

年度	金額(千円)	件数
21	12,121	21
22	25,979	35
23	30,947	32
24	26,489	31
25	32,830	36

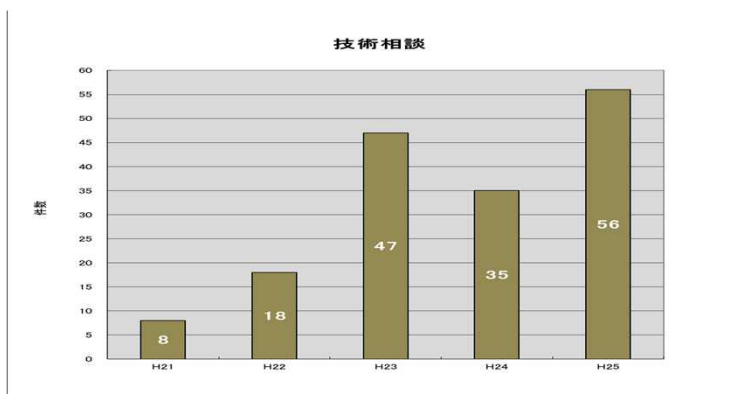


● 寄附講座

年度	金額(千円)	件数
24	20,000	1(継続)
25	20,000	1(継続)

● 技術相談

年度	件数
21	8
22	18
23	47
24	35
25	56



※件数及び金額は、契約した年度をもって記載した。

#### (4) 麻布大学附属渋野辺高等学校に関する情報

(麻布大学附属渋野辺高等学校は、平成26年4月1日から「麻布大学附属高等学校」に名称変更)

##### ① 教育理念

夢を語り、学問を追究・実践し、誠実なる校風の基、平和社会建設に貢献する。

##### ② 教育方針

「未来を拓く力の育成」

高校の3年間は、人生の中でも最も多感で、社会人として必要な人格形成に重要な意味をもつ期間と捉え、生徒は、誠実な校風のもと、学業、部活等とともに仲間と学びあうことを通じて、「自己を知り、自らを磨く」ことにより、「自身の未来を拓く力(自らの進路をみつめ、具現化する学力的、人格的素養)」を育む。

##### ③ 学校教育目標

- 個性を伸ばし、生徒一人ひとりの進路に応じた確かな学力の定着(学力の向上)
- 基本的な生活習慣(あいさつ・時間厳守・マナーやルールの尊重)を育み、国際化の社会に対応できる能力(情報発信力、コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力など)の育成(生きる力)
- 自ら課題をみつけ、自ら考え解決をめざす能力の養成(生きる力)
- 多様な価値観を認め合い、他者を思いやる心の育成(命の大切さ)
- あらゆる生命や自然環境を尊重する精神の涵養(命の大切さ)

##### ④ 教職員数

平成25年5月1日現在

	校長	教頭	教諭	契約講師	非常勤講師	専任職員	合計
教職員数	1	1	31	2	21	5	61

(人)

##### ⑤ コース・クラス別生徒数及び必要単位修得数

平成25年5月1日現在

学年	コース・クラス	組	生徒数(人)	必修科目	選択必修科目	ホームルーム活動	単位数合計
1年	一般コース	-	-				
	特進クラス	A	35	32			33
		B	35				
	進学クラス	C	33				
		D	34				
		E	34				
		F	33				
	体育系コース	G	34				
生徒数小計(人)	H	23	28		1	29	
2年	一般・理系コース	-	-				
	麻布大・進学クラス	A	37	28	2	1	31
		B	36				
	理系クラス	C	30	28	4	1	33
	一般・文系コース	-	-				
	進学クラス	D	31	28	2	1	31
	文系クラス	E	30	28	4	1	33
	体育系コース	F	27	25	2	1	28
生徒数小計(人)		191					
3年	一般・理系コース	-	-				
	麻布大・進学クラス	A	36	28	2	1	31
		B	36				
	理系クラス	C	29	28	2	1	31
	一般・文系コース	-	-				
	進学クラス	D	33	26	4	1	31
	文系クラス	E	26	26	4	1	31
		F	26				
体育系コース	G	35	25	2	1	28	
生徒数小計(人)		221					
生徒数合計(人)			673				

※平成24年度入学者から教育課程を変更。



⑥ 学納金

(単位 円)

年度		初年度	次年度以降
項目			
学納金	入学金	200,000	—
	授業料	396,000	396,000
	教材充実料	24,000	24,000
	施設設備資金	200,000	—
	合計	820,000	420,000

● 授業料の免除・徴収猶予

■ 麻布大学附属渋野辺高等学校学則

**第25条の2** 本校は、体育系コースに有為な人材確保と育成に資することを目的として、優秀であると認められた場合は、授業料及び入学金を免除することがある。

■ 麻布大学附属渋野辺高等学校普通科体育系コース規則

**第7条** 学則第25条の2により、本コースの奨学生として決定され、本校に入学する者について授業料及び入学金を免除することができる。

⑦ 奨学金

種類	貸与・給付の別	対象・条件	金額	
麻布大学附属渋野辺高等学校普通科体育系コース奨学生	給付(免除)	普通科体育系コースに入学を希望する者で中学校在学中におけるクラブ活動で一定の成績を修めた者	授業料相当額(3年間) 入学金相当額	
高等学校等就学支援金(国の制度)	給付	高等学校等在学者(全在学者)	月額9,900円(年額118,800円) 加算支給の場合あり	
神奈川県	私立高等学校等生徒学費補助金	神奈川県内の私立の高等学校等在学者で、生徒・保護者が共に神奈川県在住であり、保護者の住民税の内、市町村民税所得割額が一定の基準を満たす場合	入学金 99,000円 授業料(年額) 118,800円～420,000円 (市町村民税所得割額等の基準により異なる。)	
	私立学校生徒学費緊急支援補助金	神奈川県内の私立の小・中学校、高等学校等在学者で、生徒・保護者が共に神奈川県在住であり、保護者の前年4月1日以降に生じた会社都合による退職、倒産、死亡、離婚等により、家計が急変して当年中の所得金額が一定の所得基準に該当する場合	高等学校等の授業料(年額) 59,400円又は118,800円(所得により異なる。)	
	高等学校奨学金	貸与(無利子)	神奈川県在住で、県内の高等学校等に在学する者又は保護者が神奈川県在住で、高等学校等に在学する者 収入要件及び成績要件を満たす者	私立 30,000円、40,000円より選択(月額)
東京都私学財団	私立高等学校等授業料軽減助成	給付	生徒・保護者が共に東京都在住であり、東京都域外にある私立の高等学校等に在学する者で、所得等が一定の基準を満たす場合	授業料(年額) 99,400円～179,400円 (所得等の基準により異なる。)
	東京都育英資金	貸与(無利子)	生徒・保護者が共に東京都在住であり、高等学校等に在学する者で、経済的理由により修学が困難であること等	私立高等学校 35,000円(月額)

● 奨学金貸与・給付者数

(人)

平成26年3月31日現在

区分	1年次	2年次	3年次	小計	合計
麻布大学附属渋野辺高等学校普通科体育系コース奨学生	2	3	2	—	7
神奈川県					202
私立高等学校等生徒学費補助金	72	57	57	186	
私立学校生徒学費緊急支援補助金	1			1	
高等学校奨学金	7	4	4	15	
公益財団法人東京都私学財団					54
私立高等学校等授業料軽減助成	17	14	22	53	
東京都育英資金	1			1	
合計	100	78	85	—	263

⑧ 生徒表彰

■ 成績優等賞

各学年で教科・科目の成績が優秀な者で、出席は常にして品行方正で他の模範たるものを表彰する。  
特典として、2・3学年の生徒は、授業料が免除される。(学年で各3人)  
また、卒業時には、越智賞(1人)及び竹岸・越智賞(6人程度)を授与することがある。

■ 1か年精勤賞

欠席1日以内の者で、欠課時数が7時間以内の者を表彰する。

■ 3か年精勤賞

各学年間で精皆勤の者を表彰する。

■ 皆勤賞(1か年・3か年)

各学年間欠席・遅刻・早退・欠課が皆無の者を、1・2学年にあつては学年末に、3学年は卒業式に表彰する。  
なお、3か年皆勤者には、特典として卒業時に記念品が授与される。

■ 特別功労賞

学校の名誉を著しく高めた生徒に対して授与する。

- (1) 運動部・・・関東大会・全国大会・国体・国際試合等の代表となった個人及びチーム
- (2) 文化部・・・研究、作品、発表等で優秀であり本校の名誉を著しく高めた者
- (3) 読書感想文等のコンクールで優秀であり本校の名誉を著しく高めた者
- (4) 人命救助等で善行賞に相当する栄誉又は評価を受けた者
- (5) その他のもので、選考委員会で選出された者

尚、選考委員会の座長は教頭とし、メンバーは学年主任・生徒会指導部長・当該クラブ顧問・事務長・その他座長が特に必要と認めた人員を持って充てる。

⑨ 平成25年度卒業生数及び進路状況

平成26年5月1日現在

	卒業生数	就職	進学					その他 (浪人等)
			麻布大学	他大学	短期大学	専門学校・各種学校	その他(留学等)	
一般コース	185	1	30	109	15	14	1	15
体育系コース	35	1	0	25	0	6	0	3
<b>合計</b>	<b>220</b>	<b>2</b>	<b>30</b>	<b>134</b>	<b>15</b>	<b>20</b>	<b>1</b>	<b>18</b>

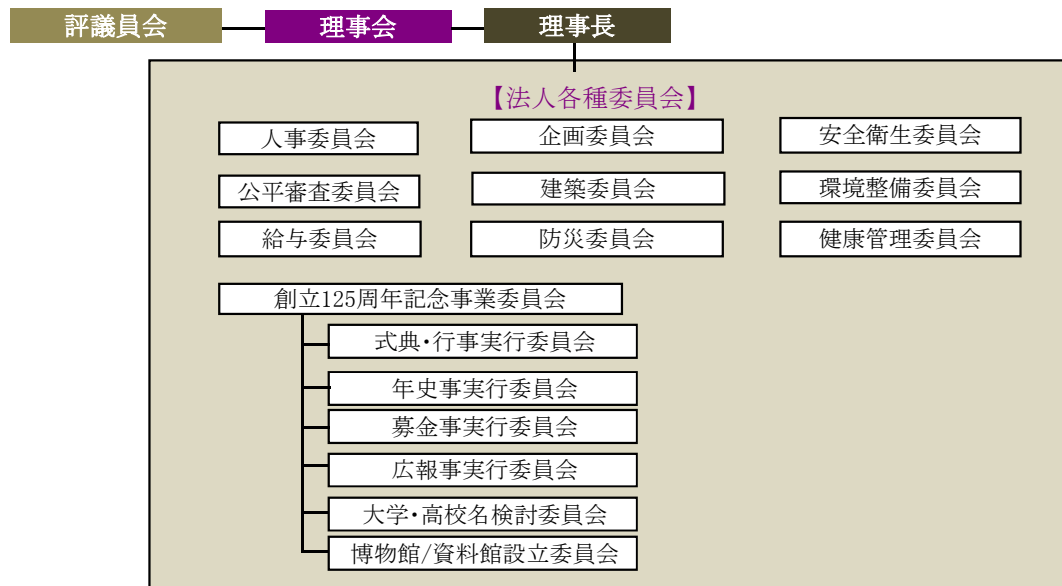
⑩ 平成26年度入学者選抜結果

平成26年5月1日現在

課程等	区分	募集人員	平成26年度											平成25年度	平成24年度	
			志願者			受験者			合格者			入学者		志願者	志願者	
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計
全 日 制 普 通 科	推薦入試	129	58	63	121	58	63	121	58	63	121	58	63	121	113	74
	一般入試	単願	54	28	82	54	28	82	54	28	82	54	28	82	88	65
		併願	129	391	482	873	391	480	871	391	480	871	47	84	131	554
	一般	15	7	22	15	7	22	15	7	22	15	7	4	11	17	18
二次試験	若干名	2	3	5	2	3	5	1	3	4	1	3	4	4	7	
一般・二次計		462	520	982	462	518	980	461	518	979	109	119	228	663	370	
<b>合計</b>		<b>258</b>	<b>520</b>	<b>583</b>	<b>1,103</b>	<b>520</b>	<b>581</b>	<b>1,101</b>	<b>519</b>	<b>581</b>	<b>1,100</b>	<b>167</b>	<b>182</b>	<b>349</b>	<b>776</b>	<b>444</b>

### 3. 管理運営の概要

(1) 学園運営に係る会議等



(2) 会議等の開催状況

① 理事会

月 日	会議等	議 事 内 容
4月23日	第1回理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>麻布大学附属渋野辺高等学校生特別入学試験に係る入学検定料及び入学金の取扱い(案)について</li> <li>麻布大学附属渋野辺高等学校の名称変更(案)について</li> </ol> <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>職員の人事異動について</li> <li>教員の人事について</li> <li>平成24年度麻布大学・大学院及び附属渋野辺高等学校の卒業生数及び修了者数について</li> <li>平成25年度麻布大学・大学院及び附属渋野辺高等学校の入学者数について</li> <li>第59回臨床検査技師国家試験結果について</li> <li>税額控除対象法人となるための募金結果及び申請について</li> <li>平成25年度法人各種委員会委員について</li> <li>大学評議会報告について</li> <li>高等学校報告について</li> </ol> <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申に基づく「新体制に関する基本的な考え方〔第一次原案〕」について</li> <li>SMA等の解約に伴う資金の運用について</li> <li>学生相談室利用状況について</li> </ol>

II 事業の概要

月 日	会議等	議 事 内 容
5月28日	第2回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学校法人麻布獣医学園寄附行為の一部改正（案）について</li> <li>2) 生命・環境科学部の入学定員・収容定員の見直し，編入学定員の廃止について</li> <li>3) 麻布大学学則の一部改正(案)について</li> <li>4) 麻布大学環境保健学部廃止に伴う関係規程の一部改正（案）について</li> <li>5) 麻布大学附属澁野辺高等学校学則の一部改正（案）について</li> <li>6) 麻布大学附属澁野辺高等学校の名称変更に伴う関係規程の一部改正（案）について</li> <li>7) 麻布大学大学院学則の一部改正(案)について</li> <li>8) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申に基づく「新体制に関する基本的な考え方〔原案〕」について</li> <li>9) SMA等の解約に伴う資金の取扱い（案）について</li> </ol> <p>10) 平成24年度事業の実績及び決算について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 事業報告書</li> <li>(2) 資金収支計算書及び消費収支計算書</li> <li>(3) 貸借対照表</li> <li>(4) 財産目録</li> <li>(5) 監事監査報告書</li> </ol> <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 職員（大学教員）の長期出張について</li> <li>2) 創立125周年記念事業 実行委員会及び検討委員会報告について</li> <li>3) 税額控除対象法人となるための募金及び申請の結果について</li> <li>4) 競争的資金等（公的機関）獲得状況について</li> <li>5) (仮称)高等学校運営会議報告について</li> <li>6) 大学評議会報告について</li> <li>7) 高等学校報告について</li> <li>8) その他</li> </ol> <p>①(仮称)AZABU Pig Research Center 構想について</p>
5月28日	第3回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学校法人麻布獣医学園寄附行為の一部改正（案）について</li> <li>2) 麻布大学附属澁野辺高等学校の名称変更に伴う関係規程の一部改正（案）について</li> <li>3) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申に基づく「新体制に関する基本的な考え方〔原案〕」について</li> <li>4) SMA等の解約に伴う資金の取扱い（案）について</li> </ol>
6月25日	第4回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 教員の人事（案）について</li> <li>2) 麻布大学特任教員に関する規則の一部改正(案)について</li> </ol> <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 職員の人事異動について</li> <li>2) 創立125周年記念事業 実行委員会及び検討委員会報告について</li> <li>3) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」の進捗状況について</li> <li>4) 「(仮称)AZABU Pig Research Center」構想に係る各団体との学術協定の締結について</li> <li>5) 大学評議会報告について</li> <li>6) 高等学校報告について</li> <li>7) その他</li> </ol> <p>①平成25年度東日本大震災被災学生への支援について</p> <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 平成26年度麻布大学附属澁野辺高等学校専任教員の採用について</li> </ol>

月 日	会議等	議 事 内 容
7月23日	第5回 理事会	<p>I 審議事項</p> <p>1) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」の実施設計図書の決定について(案)</p> <p>II 報告事項</p> <p>1) 長期海外出張者の期間延長について</p> <p>2) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申に基づく「新体制に関する基本的な考え方(原案)」学内説明会について</p> <p>3) 創立125周年記念事業 実行委員会及び検討委員会報告について</p> <p>4) 第1・四半期の財務状況等報告について</p> <p>(1) 資金収支報告</p> <p>(2) 資金残高及び資産運用報告</p> <p>(3) 麻布大学附属動物病院の運営状況報告</p> <p>5) 競争的資金等(公的機関)の獲得状況について</p> <p>6) 大学評議会報告について</p> <p>7) 高等学校報告について</p> <p>III その他</p> <p>1) 役員懇談会の開催について</p> <p>2) 麻布大学生生活協同組合との懇談会の開催について</p>
9月24日	第6回 理事会	<p>I 審議事項</p> <p>1) 教員の人事(案)について</p> <p>2) 「非常勤職員の手当に係る取扱いについて」の一部改正(案)について</p> <p>3) 平成26年度予算編成大綱(案)について</p> <p>II 報告事項</p> <p>1) 職員の人事について</p> <p>2) 創立125周年記念事業 実行委員会及び検討委員会報告について</p> <p>3) 麻布大学(仮称)新食堂等建築工事の実施設計図書について</p> <p>4) 馬場整備工事の完了について</p> <p>5) 学長選任規則等改正委員会の検討結果報告について</p> <p>6) 大学評議会報告について</p> <p>7) 高等学校報告について</p> <p>III その他</p> <p>1) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申に基づく「新体制に関する基本的な考え方〔原案〕」に係る今後の対応について</p>
10月25日	第7回 理事会	<p>I 審議事項</p> <p>1) 教員の人事(案)について</p> <p>2) 平成25年度補正予算(案)について</p> <p>II 報告事項</p> <p>1) 第2・四半期の財務状況等報告について</p> <p>(1) 資金収支報告</p> <p>(2) 資金残高及び資産運用報告</p> <p>(3) 麻布大学附属動物病院の運営状況報告</p> <p>2) 創立125周年記念事業委員会報告について</p> <p>3) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申に基づく「新体制に関する基本的な考え方〔原案〕」に対する意見について</p> <p>4) (仮称)高等学校運営会議報告について</p> <p>5) 平成25年度麻布大学東日本大震災被災特別措置の申請状況について</p> <p>6) 大学評議会報告について</p> <p>7) 高等学校報告について</p> <p>III その他</p> <p>1) 学長選任規則等の改正(案)について</p> <p>2) その他</p> <p>① 平成26年度麻布大学附属瀧野辺高等学校専任教員〔数学科〕の採用について</p>

## II 事業の概要

月 日	会議等	議 事 内 容
10月25日	第8回 理事会	I 審議事項 1) 平成25年度補正予算(案)について
11月26日	第9回 理事会	I 審議事項 1) 教員の人事(案)について 2) 麻布大学附属渋野辺高等学校学則の一部改正(案)について  II 報告事項 1) 職員の人事について 2) 創立125周年記念事業 実行委員会及び検討委員会報告について 3) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」の進捗状況について 4) 獣医学部棟建設に係る借入金の繰上償還について 5) 文部科学省「平成25年度学校法人監事研修会」の出席報告について 6) 大学評議会報告について 7) 高等学校報告について  III その他 1) 平成25年12月理事会等の開催日程について
12月17日	第10回 理事会	I 審議事項 1) 教員の人事(案)について  II 報告事項 1) 事務職員の人事について 2) 平成26年度麻布大学推薦等入学試験・編入学試験結果について 3) 創立125周年記念事業 実行委員会及び検討委員会報告について 4) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」の進捗状況について 5) 大学評議会報告について 6) 高等学校報告について  III その他 1) 麻布大学附属動物病院の研修獣医師の取扱いについて 2) 有価証券による運用について 3) 信濃研修場について

月 日	会議等	議 事 内 容
1月28日	第11回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 事務職員の人事(案)について</li> <li>2) 平成26年度予算要望(人員)(案)について</li> <li>3) 麻布大学特任教員に関する規則の一部改正(案)について</li> <li>4) 動物病院診療料金の一部改正(案)について</li> </ol> <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 事務職員の人事について</li> <li>2) 第3・四半期の財務状況等報告について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 資金収支報告</li> <li>(2) 資金残高及び資産運用報告</li> <li>(3) 麻布大学附属動物病院の運営状況報告</li> </ol> </li> <li>3) 平成26年度麻布大学一般入学試験等の志願者状況について</li> <li>4) 創立125周年記念事業 実行委員会報告について</li> <li>5) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」の進捗状況について</li> <li>6) 中央教育審議会大学分科会組織運営部会「大学のガバナンス改革の推進について」について</li> <li>7) 麻布獣医学園職員会からの要望書に対する回答について</li> <li>8) 次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」について</li> <li>9) 大学評議会報告について</li> <li>10) 高等学校報告について</li> </ol> <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 平成26年度予算概要について</li> </ol>
2月25日	第12回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 教員の人事(案)について</li> <li>2) 平成26年度事業計画(案)について</li> <li>3) 平成26年度予算(案)について</li> <li>4) 麻布大学(仮称)新食堂の建物名称(案)について</li> <li>5) 信濃研修場の処分について(案)</li> </ol> <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 職員の人事について</li> <li>2) 平成26年度麻布大学入学試験結果について</li> <li>3) 平成26年度麻布大学附属高等学校入学試験結果について</li> <li>4) 創立125周年記念事業 実行委員会報告について</li> <li>5) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」の進捗状況について</li> <li>6) 大学評議会報告について</li> <li>7) 高等学校報告について</li> </ol> <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 平成26年度理事会・評議員会開催予定(案)について</li> <li>2) 麻布大学及び麻布大学附属瀨野辺高等学校の卒業式について</li> <li>3) 平成26年3月理事会の開催時間について</li> </ol>
2月25日	第13回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 平成26年度事業計画(案)について</li> <li>2) 平成26年度予算(案)について</li> <li>3) 信濃研修場の処分について(案)</li> </ol>

## II 事業の概要

月 日	会議等	議 事 内 容
3月18日	第14回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 教員の人事(案)について</li> <li>2) 契約職員の採用(案)について</li> <li>3) 麻布大学学則の一部改正(案)について</li> </ol> <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 事務職員の人事について</li> <li>2) 平成26年度麻布大学一般入学試験等結果について</li> <li>3) 平成26年度麻布大学附属高等学校入学試験結果について</li> <li>4) 創立125周年記念事業 実行委員会報告について</li> <li>5) 施設設備引当特定資産の運用について</li> <li>6) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」の進捗状況について</li> <li>7) 第65回獣医師国家試験結果について</li> <li>8) 大学評議会報告について</li> <li>9) 高等学校報告について</li> </ol> <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 平成26年度 麻布大学・麻布大学附属高等学校の行事予定について</li> <li>2) その他 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 相模原市と学校法人麻布獣医学園との「災害時における所有者不明動物の救護活動に関する協定」の締結について</li> <li>② 「カフェテリアさくら」食堂運営委託業者について</li> <li>③ 麻布大学附属渋野辺高等学校長からの辞任の申出について</li> </ol> </li> </ol>

### ② 役員懇談会

月 日	行 事	議 事 内 容
8月27日	第1回 役員懇談会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 麻布大学(仮称)新食堂等建築工事の実施設計図書(案)について</li> <li>2) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申に基づく「新体制に関する基本的な考え方(原案)」について</li> <li>3) その他 <ol style="list-style-type: none"> <li>①次期附属高等学校長について</li> </ol> </li> </ol>



## ③ 評議員会

月日	行事	議事内容
5月28日	第1回 評議員会	<p>I 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 創立125周年記念事業 実行委員会及び検討委員会報告について</li> <li>2) 麻布大学附属渋野辺高等学校の名称変更について</li> <li>3) 生命・環境科学部の入学定員・収容定員の見直し、編入学定員の廃止について</li> <li>4) 税額控除対象法人となるための募金及び申請の結果について</li> </ol> <p>II 協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学校法人麻布獣医学園寄附行為の一部改正（案）について</li> <li>2) 麻布大学附属渋野辺高等学校の名称変更に伴う関係規程の一部改正（案）について</li> <li>3) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申に基づく「新体制に関する基本的な考え方〔原案〕」について</li> <li>4) SMA等の解約に伴う資金の取扱い（案）について</li> <li>5) 平成24年度事業の実績及び決算について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 事業報告書</li> <li>(2) 資金収支計算書及び消費収支計算書</li> <li>(3) 貸借対照表</li> <li>(4) 財産目録</li> <li>(5) 監事監査報告書</li> </ol> </li> </ol>
10月25日	第1回 臨時評議員会	<p>I 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 創立125周年記念事業委員会報告について</li> <li>2) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申に基づく「新体制に関する基本的な考え方〔原案〕」に対する意見について</li> <li>3) 「麻布大学（仮称）新5号館・新食堂等建築工事」の進捗状況について</li> </ol> <p>II 協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 平成25年度補正予算（案）について</li> </ol>
2月25日	第2回 評議員会	<p>I 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 平成26年度麻布大学入学試験結果について</li> <li>2) 平成26年度麻布大学附属高等学校入学試験結果について</li> <li>3) 創立125周年記念事業 実行委員会報告について</li> <li>4) 「麻布大学（仮称）新5号館・新食堂等建築工事」の進捗状況について</li> <li>5) 中央教育審議会大学分科会「大学のガバナンス改革の推進について」について</li> </ol> <p>II 協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 平成26年度事業計画（案）について</li> <li>2) 平成26年度予算（案）について</li> <li>3) 信濃研修場の処分について（案）</li> </ol> <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 平成26年度評議員会開催予定（案）について</li> <li>2) 麻布大学及び麻布大学附属渋野辺高等学校の卒業式について</li> <li>3) その他</li> </ol>

## ④ 創立125周年記念事業委員会

月日	行事	議事内容
10月17日	第1回 創立125周年記念 事業委員会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 創立125周年記念事業の検討及び実施経過について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 式典・行事実行委員会</li> <li>(2) 年史実行委員会</li> <li>(3) 募金実行委員会</li> <li>(4) 広報実行委員会</li> <li>(5) 大学・高校名検討委員会</li> <li>(6) 博物館/資料館設立委員会</li> </ol> </li> <li>2. その他</li> </ol>

## II 事業の概要

### ⑤ 式典・行事実行委員会

月日	行事	議事内容
10月17日	第1回 式典・行事 実行委員会	1. 創立125周年記念に係る式典・行事について (1) 会場の確認について (2) プログラムの内容について ① 記念映像配信 ② 来賓祝辞 ③ 表彰式 ④ 施設見学 (3) 招待状の送付対象について (4) 記念式典・祝賀会の出席者の範囲について (5) 記念式典出席者への配付物（記念品）について (6) 行事・記念イベントについて 2. その他
1月28日	第2回 式典・行事 実行委員会	1. 創立125周年記念式典・祝賀会について (1) プログラムの内容（案）について (2) 記念式典・祝賀会における出席者（招待状送付対象及び出席者（数））について (3) 記念式典出席者への配付物（記念品）について 2. 創立125周年記念行事・イベントについて 3. その他 (1) 各種行事・イベントでの冠表示について (2) 新食堂におけるパネル展示について (3) 次回委員会について

### ⑥ 年史実行委員会

月日	行事	議事内容
8月2日	第1回 年史実行委員会	1. 創立125周年史の構成について (1) 正史 (2) ビジュアル版 (3) 記念映像 2. 今後のスケジュールについて

### ⑦ 募金実行委員会

月日	行事	議事内容
4月23日	第1回 募金実行委員会	1. 創立125周年記念募金事業について 2. その他
8月2日	第2回 募金実行委員会	1. 創立125周年記念募金事業について 2. その他
10月21日	第3回 募金実行委員会 (持ち回り)	1. 募金パンフレット等の修正について

### ⑧ 広報実行委員会

月日	行事	議事内容
5月15日 ～ 5月20日	第1回 広報実行委員会 (持ち回り)	1. 創立125周年記念ロゴマーク 投票実施要領について 2. 創立125周年記念ロゴマーク 投票用紙について
7月2日 ～ 7月8日	第2回 広報実行委員会 (持ち回り)	1. 創立125周年記念ロゴマーク 投票結果について 2. 創立125周年記念ロゴマーク カラーシミュレーションについて

### ⑨ 大学・高校名検討委員会

月日	行事	議事内容
7月31日 ～ 8月9日	第1回 大学・高校名 検討委員会 (持ち回り)	1. 大学及び高等学校の名称について（報告）（案）

## ⑩ 博物館/資料館設立委員会

月日	行事	議事内容
5月31日	第2回 博物館/資料館 設立委員会 (持ち回り)	1. 委員の追加について 2. コンセプトと今後の進め方について
8月2日	第3回 博物館/資料館 設立委員会	1. 博物館/資料館設立委員会 検討結果報告(案)の検討 2. 名称選考
10月7日	第4回 博物館/資料館 設立委員会 (持ち回り)	博物館/資料館設立委員会 検討結果報告

## ⑪ 博物館設立委員会

月日	行事	議事内容
12月12日	第1回 博物館設立委員会	1. 「麻布大学いのちの博物館」の今後の取組について 2. 創立125周年記念事業の案内パンフレットについて 3. 費用が発生する事案の取扱いについて 4. 歴史的展示物の寄贈について

## ⑫ 博物館設立委員会 ワーキング・グループ(W.G.)

月日	行事	議事内容
12月27日	第1回 博物館設立委員会 ワーキング・グループ(W.G.)	1. W.G. 設立の経緯 2. W.G. の役割 3. 今後のスケジュール 4. 事業計画策定について 5. 質疑応答及び意見交換 6. 取組事項の優先順位について
1月21日	第2回 博物館設立委員会 ワーキング・グループ(W.G.)	1. 報告 2. 現地見学(百十周年記念会館) 3. 基本構想(案)の検討 4. 記念展示と会館改修 5. 記念展示のテーマ 6. 記念展示後の展示及び運営 7. 博物館のソフト機能 8. 現有資料の整理と登録化(管理台帳作成) 9. 他の博物館調査 10. W.G. の体制について
3月12日	第3回 博物館設立委員会 ワーキング・グループ(W.G.)	1. 報告 2. 基本構想(案)の検討 3. 記念展示 4. 会館改修 5. 同窓会への寄贈願い

## ⑬ 給与委員会

月日	行事	議事内容
8月27日	第1回 給与委員会	1. 平成25年10月1日付け採用者の格付について
1月28日	第2回 給与委員会	1. 平成26年4月1日付け採用者の格付について
3月18日	第3回 給与委員会	1. 平成26年4月1日付け採用者の格付について

## ⑭ 利益相反マネジメント委員会

月日	行事	議事内容
7月2日	第1回 利益相反マネジメント委員会	1. 対象職員の利益相反について
7月5日	第2回 利益相反マネジメント委員会(持ち回り)	1. 対象職員の利益相反について
8月20日	第3回 利益相反マネジメント委員会	1. 対象職員の利益相反について
3月11日	第4回 利益相反マネジメント委員会(持ち回り)	1. 対象職員の利益相反について

## II 事業の概要

### ⑮ 安全衛生委員会

月 日	行 事	議 事 内 容
4月22日	第1回 安全衛生委員会	1. 副委員長の指名について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
5月24日	第2回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成25年4月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
6月21日	第3回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成25年5月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
7月24日	第4回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成25年6月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
8月21日	第5回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 職員会推薦委員の任期について 2. 平成25年7月の事務職員の超過勤務状況について 3. 学内巡視の状況について 4. その他
9月27日	第6回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 職員会からの委員の推薦について 2. 平成25年8月の事務職員の超過勤務状況について 3. 学内巡視の状況について 4. その他
10月25日	第7回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成25年9月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
11月22日	第8回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成25年10月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
12月13日	第9回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 労働災害について 2. 平成25年11月の事務職員の超過勤務状況について 3. 学内巡視の状況について 4. その他
1月24日	第10回 安全衛生委員会	1. 平成25年12月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
2月24日	第11回 安全衛生委員会	1. 労働災害について 2. 平成25年度安全衛生委員会開催日程及び職場巡視日程(案)について 3. 平成25年度安全衛生管理活動計画表(案)について 4. 学内巡視の状況について 5. その他
3月28日	第12回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成26年2月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他

### ⑯ 健康管理委員会

月 日	行 事	議 事 内 容
10月18日	第1回 健康管理委員会 (持ち回り)	1. 平成26年度事業計画について 2. 平成26年度予算について

## (3)平成25年度 行事報告

	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 高校	
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院		
4 月	23日 第1回理事会	1日 学生健康診断 (～4日)	8日 教授会	1日 学部教務委員会 (持ち回り)	3日 在学者ガイダンス	5日 始業式	
	23日 第1回募金実行委員会	2日 入学者オリエンテーション (～4日)	10日 情報システム 基礎講習会	9日 教授会	3日 入学者オリエン テーション	5日 職員会議	
	28日 第1回 安全衛生委員会	4日 在学者, 編入学者 ガイダンス	4日 在学者, 編入学者 ガイダンス	29日 学部教務委員会	9日 情報システム 基礎講習会	5日 情報システム 基礎講習会	8日 入学式
		4日 フレッシュアップセミナー	4日 フレッシュアップセミナー		22日 学部教務委員会 (持ち回り)	10日 環境保健学 研究科委員会	9日 オリエンテーション①
		4日 教職課程委員会 (持ち回り)	4日 教職課程委員会 (持ち回り)			22日 獣医学研究 科委員会	9日 在校生授業開始
		5日 入学式	5日 入学式				9日 部長会議
		8日 授業開始	8日 授業開始				10日 オリエンテーション②
		8日 生物研運営委員会	8日 生物研運営委員会				11日 部会議
		9日 生涯学習委員会 (持ち回り)	9日 生涯学習委員会 (持ち回り)				11日 入学者授業開始
		17日 評議会	17日 評議会				13日 後援会役員会
		19日 生物研運営委員会 (持ち回り)	19日 生物研運営委員会 (持ち回り)				16日 部長会議
		19日 高大一貫推進委員会	19日 高大一貫推進委員会				18日 職員会議
		22日 キャリア・就職支援 対策委員会	22日 キャリア・就職支援 対策委員会				23日 部長会議
		22日 動物病院運営会議	22日 動物病院運営会議				25日 学年会議
		24日 教務委員会	24日 教務委員会				30日 部長会議
		24日 学芸員課程委員会	24日 学芸員課程委員会				
		25日 研究推進・支援 本部会	25日 研究推進・支援 本部会				
		25日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)	25日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)				
		25日 学生委員会	25日 学生委員会				
		26日 合同地方自治体等 (公務員)説明会 (就職)	26日 合同地方自治体等 (公務員)説明会 (就職)				
	30日 高大连携推進委員会						
5 月	16日 平成24年度決算に 係る学内監査	8日 大学院奨学金 選考委員会	6日 教授会	9日 学部教務委員会	8日 環境保健学 研究科委員会	7日 部長会議	
	15日 第1回広報実行委員 (持ち回り)	8日 就職活動対策 講座(～6/12 毎週水曜日)	27日 学部教務委員会	13日 教授会	27日 獣医学研究 科委員会	9日 部会議	
	24日 第2回 安全衛生委員会 (持ち回り)	8日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)				14日 部長会議	
	28日 第2回理事会	11日 父母会理事会				16日 学年会議	
	28日 第1回評議員会	13日 生物研運営委員会				17日 高等学校運営委員会	
	28日 第3回理事会	15日 教職課程委員会				18日 後援会総会	
	31日 第1回 博物館/資料館 設立委員会 (持ち回り)	16日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)				21日 部長会議	
						21日 中間試験 (～24日)	
						23日 運営委員会	
						25日 麻布見学会	

## II 事業の概要

	麻布獣医学園	麻 布 大 学			麻布大学附属 高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	
5 月		16日 学術情報委員会			27日 体育コース委員会
		17日 就職活動対策 講座(～6/21 毎週金曜日) (就職)			28日 部長会議
		19日 卒業生子女対象 大学説明会			29日 体育祭
		20日 情報システム委員会			30日 職員会議
		20日 教育推進センター FD講演会			
		22日 評議会			
		23日 研究推進・支援 本部会			
		27日 動物病院運営会議			
		27日 キャリア・就職支援 対策委員会			
		28日 国際交流委員会			
	28日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)				
6 月	21日 第3回 安全衛生委員会 (持ち回り)	2日 オープンセミナー	3日 教授会	10日 教授会	12日 環境保健学 研究科委員会
	25日 第4回理事会	3日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)	27日 学部教務委員会	30日 学部教務委員会	24日 獣医学研究 委員会
		4日 学業成績優秀者・ 学生功労賞・ 増井光子賞 表彰式			
		4日 生物研特別講演会			
		7日 合同NOSAI説明会 (就職)			
		10日 教育推進センター 運営委員会			
		10日 生物研運営委員会			
		11日 学術情報センター 運営委員会 (持ち回り)			
		12日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)			
		15日 父母会定期 総会・代議員会			
		17日 合同採用説明会 (就職)			
		19日 SPI対策講座 (～7/17 毎週水曜日) (就職)			
		19日 生物研運営委員会 (持ち回り)			
		19日 評議会			
		20日 研究推進・支援本部セミナー			
					1日 後援会役員会
					4日 部長会議
					6日 部会議
					11日 部長会議
					13日 一般コース 修学旅行 (～18日)
				15日 社会見学 テーブルマナー	
				18日 部長会議	
				18日 麻布大学見学会	
				25日 部長会議	
				25日 市内4校情報交換会	
				26日 麻布大見学会	
				27日 職員会議	
				29日 保護者対象進路説明会	

	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
		20日 教務委員会 24日 動物病院運営 会議 24日 キャリア・就職支援 対策委員会 26日 研究推進・支援 本部会 27日 第1回教員評価基準に 関する検討委員会 28日 国際交流委員会 28日 職務発明審査委員会				
7 月	2日 第1回 利益相反マネジメント 委員会 2日 第2回 広報実行委員会 (持ち回り) 5日 第2回 利益相反マネジメント 委員会(持ち回り) 23日 役員研修会(～24日) 23日 第5回理事会 24日 第4回 安全衛生委員会 (持ち回り) 31日 第1回 大学・高校名検討 委員会 (持ち回り)	1日 合同動物病院 説明会(就職) 2日 麻布大学奨学生 選考委員会 3日 教職員健康診断 5日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 7日 オープンセミナー 8日 第1回生物研ワークショップ 8日 生物研運営委員会 11日 高大一貫推進委員会 16日 職務発明審査委員会 17日 評議会 18日 研究推進・支援 本部会 22日 キャリア・就職支援 対策委員会 24日 教務委員会 25日 学生委員会 26日 教職課程委員会 (持ち回り) 29日 第1回学長選任規則等 改正委員会 29日 前期定期試験 (～8/2) 29日 動物病院運営会議 31日 市民大学 (～9/4, 毎週水曜全5回)	1日 教授会 22日 学部教務委員会	8日 教授会	10日 環境保健学 研究科委員会 22日 獣医学研究 科委員会	2日 部長会議 4日 学年会議 4日 期末試験 (～10日) 9日 部長会議 11日 運営委員会 13日 後援会役員会 15日 私学展 16日 部長会議 16日 マイナビ進学フェスタ 17日 学年会議 18日 職員会議 19日 前期終業式 21日 夏期休業 (～8月31日)

## II 事業の概要

	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
8 月	2日 第1回年史実行委員会	1日 市民大学 (～9/5, 毎週木曜全5回)	5日 教授会	6日 教授会	6日 論文発表会	3日 後援会役員会
	2日 第2回募金実行委員会				6日 中間論文発表 会(獣医学研 究科)(～7日)	9日 公私合同説明会
	2日 第3回 博物館/資料館 設立委員会	3日 オープンキャンパス (～4日)				19日 転編入試
	20日 第3回 利益相反マネジメント 委員会	6日 生物研運営委員会 (持ち回り)			8日 環境保健学 研究科入学 試験	24日 学校説明会
	21日 第5回 安全衛生委員会 (持ち回り)	7日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)			9日 環境保健学 研究科委員会	
	27日 第1回給与委員会	8日 夏期休業 (～9/16)			27日 臨時環境保健学 研究科委員会	
	27日 第1回役員懇談会	18日 父母会さいたま 会場地区懇談会			27日 論文審査会 (獣医学研究科)	
		22日 第2回学長選任規則等 改正委員会			28日 獣医学研究 科獣医学専 攻入学試験	
		24日 父母会仙台会場 地区懇談会			28日 獣医学研究 科動物応用 科学専攻入 学試験(～29日)	
		26日 動物病院運営 会議				
	29日 第3回学長選任規則等 改正委員会					
	31日 父母会福岡会場 地区懇談会					
	31日 プレ入試					
9 月	24日 第5回理事会	2日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)	7日 AO入試(2次)		3日 獣医学研究 科委員会	2日 授業開始
	27日 第6回 安全衛生委員会 (持ち回り)	3日 研究推進・支援 本部会	13日 AO入試 (2次面接) (～9/18)		17日 獣医学研究科 委員会(持ち回り)	3日 部長会議
		5日 第4回学長選任規則等 改正委員会 (持ち回り)	30日 学部教務委員会			5日 部会議
		5日 高大連携推進委員会				7日 文化祭 (～8日)
		7日 父母会大阪会場 地区懇談会				12日 職員会議
		13日 国際交流委員会 (持ち回り)				19日 学年会議
		13日 第2回教員評価基準に 関する検討委員会				24日 体育系コース 修学旅行 (～28日)
		14日 麻布環境科学 研究会				24日 部長会議
		17日 前期追再試験 (～24日)				26日 運営委員会
		18日 評議会				
		18日 研究推進・支援 本部取扱補助金 パネル報告会				
		18日 自己点検・評価 委員会				
		24日 キャリア・就職支援 対策委員会				



	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
		25日 後期授業開始				
		25日 就職活動実戦 講座(～12/4 毎週水曜日) (就職)				
		27日 職務発明審査委員会				
		30日 動物病院運営会議				
10月	7日 第4回 博物館/資料館 設立委員会 (持ち回り)	3日 消防訓練	7日 教授会	4日 学部教務委員会	9日 環境保健学 研究科委員会	1日 部長会議
	17日 第1回 創立125周年記念 事業委員会	4日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)	10日 附属高特別入試	10日 附属高特別入試	28日 獣医学研究 科委員会	3日 部会議
	17日 第1回 式典・行事実行 委員会	5日 グループ・ディスカッション 対策実習(就職)	17日 臨時教授会	15日 教授会		5日 後援会役員会
	18日 第1回健康管理委員会 (持ち回り)	6日 オープンセミナー	28日 学部教務委員会			8日 塾説明会
	21日 第3回募金実行委員会 (持ち回り)	7日 研究推進・支援本部セミナー				10日 麻布大特別入試
	25日 第8回理事会	8日 研究推進・支援 本部会				10日 学年会議
	25日 第1回臨時評議員会	11日 業界セミナー:検査 業界編 (就職)				15日 中間試験A (～18日)
	25日 第7回理事会	12日 父母会関東甲信 越地区個人面談				15日 部長会議
	25日 第7回 安全衛生委員会 (持ち回り)	15日 生物研運営委員会				17日 職員会議
		16日 評議会				19日 学校説明会
		17日 研究推進・支援本部セミナー				22日 部長会議
		18日 学生リクルート ファッションセミナー (就職)				29日 部会議
		21日 女子学生リクルート メイクセミナー (就職)				
		21日 動物病院運営 会議				
		21日 教職課程委員会 (持ち回り)				
		22日 学生委員会				
		23日 学術情報委員会				
		23日 教育推進センター 運営委員会 (持ち回り)				
		23日 情報システム委員会				
		23日 国際交流委員会				
		24日 高大連携推進委員会 (持ち回り)				
		24日 学術情報センター 運営委員会				
		25日 学芸員課程委員会				
		25日 動物慰霊祭				
		26日 大学祭(～27日)				

II 事業の概要

	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
		26日 ホームカミングデー 28日 キャリア・就職支援 対策委員会 29日 教務委員会				
11月	13日 予算ヒアリング (～12/5) 22日 第8回 安全衛生委員会 (持ち回り) 26日 第9回理事会	1日 業界セミナー:製菓 業界編 (就職) 3日 オープンセミナー 3日 麻布獣医学会 5日 麻布大学奨学生 選考委員会 6日 第2回生物研ワークショップ 8日 就職サイト(リクナビ) 活用セミナー (就職) 11日 生物研運営委員会 14日 職務発明審査委員会 14日 学生委員会 (持ち回り) 14日 研究推進・支援 本部会 15日 就職サイト(マイナビ) 活用セミナー (就職) 20日 教務委員会 (持ち回り) 20日 評議会 21日 第3回教員評価基準に 関する検討委員会 21日 学芸員課程委員会 (持ち回り) 21日 教職課程委員会 (持ち回り) 22日 業界セミナー:食品 業界編 (就職) 24日 模擬面接対策 実習(就職) 25日 動物病院運営 会議 25日 キャリア・就職支援 対策委員会 26日 麻布大学父母会 奨学生選考 委員会 29日 研究推進・支援本部セミナー	2日 獣医学科編入学 試験(1次選抜) 5日 教授会 16日 獣医学部 推薦・特別 入学試験 23日 獣医学部 編入学試験 25日 学部教務委員会	1日 学部教務委員会 9日 指定校特別 推薦入学試験 9日 環境特別 入学試験 11日 教授会 16日 生命・環境科学部 推薦・特別入学 試験, 編入学 試験 20日 臨時教授会 29日 学部教務委員会	13日 環境保健学 研究科委員会 25日 獣医学研究 科委員会	5日 部長会議 7日 運営委員会 9日 後援会もつ煮会 14日 部会議 15日 球技大会 19日 部長会議 19日 芸術鑑賞会 21日 職員会議 23日 学校説明会 26日 部長会議 28日 学年会議
12月	12日 第1回 博物館設立委員会	9日 合同企業説明会 (～11日)(就職)	2日 教授会	9日 教授会	3日 環境保健学 研究科委員会 (持ち回り)	3日 部長会議 3日 部長会議

	麻布獣医学園	麻 布 大 学			麻布大学附属 高校	
		全学	獣医学部	生命・環境科学部		大学院
	13日 第9回 安全衛生委員会 (持ち回り)	9日 生物研運営委員会			16日 獣医学研究 科委員会	4日 中間試験B (～10日)
		11日 高大一貫推進委員会				10日 部長会議
	17日 第10回理事会					10日 避難訓練
	27日 第1回 博物館設立委員会 ワーキング・グループ (W.G.)	13日 大学院奨学金 返還免除候補 選考委員会 (持ち回り)				13日 学年会議
		14日 父母会理事会				17日 1回内選会議
		16日 動物病院運営 会議				20日 全校集会
		16日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)				20日 2回内選会議
		18日 第4回教員評価基準に 関する検討委員会				25日 冬季休業 (～1/7)
		18日 大学院奨学金 返還免除選考 委員会				
		18日 評議会				
		19日 研究推進・支援 本部会				
		19日 獣医学研究科 FD講演会				
		26日 冬期休業 (～1/8)				
1 月	21日 第2回 博物館設立委員会 ワーキング・グループ (W.G.)	9日 授業開始	8日 教授会	14日 教授会	15日 環境保健学 研究科委員会	8日 授業開始
		10日 教職課程委員会 (持ち回り)	27日 学部教務委員会	27日 学部教務委員会	22日 獣医学研究科 FD講演会	9日 職員会議
	24日 第10回 安全衛生委員会 (持ち回り)	12日 模擬選考実習 (就職)			27日 獣医学研究 科委員会	11日 後援会役員会
	28日 第2回給与委員会	14日 生物研運営委員会				14日 部長会議
	28日 第11回理事会	16日 高大連携推進委員会 (持ち回り)				16日 部会議
	28日 第2回 式典・行事実行 委員会	16日 就職面接会 (ハローワーク相模原主催) (就職)				21日 部長会議
		18日 大学入試センター 試験(～19日)				22日 推薦入学試験
		22日 研究推進・支援 本部会				23日 卒業認定会議
		22日 評議会				28日 部長会議
		24日 第5回教員評価基準に 関する検討委員会				30日 学年会議
		24日 学生委員会				
		24日 国際交流委員会				
		27日 キャリア・就職支援 対策委員会				
		27日 動物病院運営 会議				

## II 事業の概要

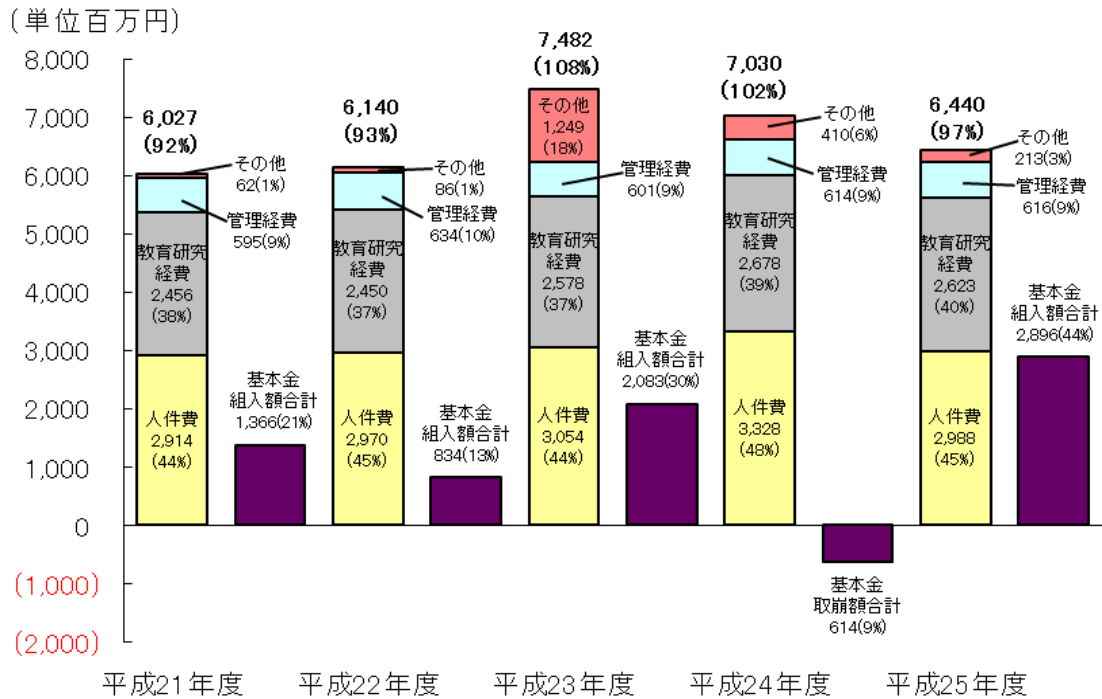
	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
2 月	24日 第11回 安全衛生委員会	3日 高大一貫推進委員会 (持ち回り)	3日 獣医学科 一般入学試験	5日 生命・環境科学部 一般入学試験 (A日程)	12日 環境保健学 研究科委員会	4日 部長会議
	25日 第12回理事会	10日 第1回学長選挙 管理委員会	4日 動物応用科 学科一般入学 試験	6日 生命・環境科学部 一般入学試験 (B日程)	12日 環境保健学研究科 FD研修会	6日 部会議
	25日 第13回理事会	10日 後期定期試験 (～13日)	6日 教授会	7日 生命・環境科学部 一般入学試験 (C日程)	13日 課程論文発表 会(獣医学研究 科)(～14日)	10日 一般入学試験
	25日 第2回評議員会	10日 生物研運営委員会	13日 臨時教授会	10日 教授会	14日 課程論文審査 会(環境保健学 研究科)	11日 入試判定会議
		14・ 模擬選考実習 16日 (就職)	21日 動物応用科学科 センター試験利 用入試(Ⅱ期)	14日 臨時教授会	24日 獣医学研究 科委員会	12日 一般入学試験 合格発表
		17日 学芸員課程委員会	24日 学部教務委員会 (持ち回り)		26日 環境保健学 研究科入学 試験	12日 体育系コース スキー実習 (～15日)
		17日 公務員ガイダンス (就職)			28日 臨時環境保健学 研究科委員会	13日 学年会議
		19日 第6回教員評価基準に 関する検討委員会				15日 後援会役員会
		19日 評議会				18日 部長会議
		19日 研究推進・支援 本部会				20日 職員会議
		20日 教育推進センター FD研修会				25日 部長会議
		20日 動物病院説明会 及び経営セミナー (南サステイナコンサルティング 主催)(就職)				27日 運営会議
		24日 学術情報委員会 (持ち回り)				
		24日 動物病院運営会議				
		24日 キャリア・就職支援 対策委員会				
		24日 後期追再試験 (～3/28)				
		26日 学生委員会				

3月	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
11日	第4回 利益相反マネジメント 委員会(持ち回り)	3日 公務員対策集中 講座(～11日) (就職)	3日 教授会 4日 獣医学部転 学部・転学 科試験	1日 食品生命科 学科一般入学 試験(Ⅱ期)	3日 獣医学研究 科獣医学専 攻入学試験	1日 卒業式 4日 一般入学試験 (二次)
12日	第3回 博物館設立委員会 ワーキング・グループ(W.G.)	3日 麻布大学奨学生 選考委員会	13日 学部教務委員会	1日 環境科学科 一般入学試験 (Ⅱ期)	3日 獣医学研究 科動物応用 科学専攻入 学試験 (～4日)	4日 部長会議 6日 学年末試験 (～12日)
18日	第3回給与委員会	3日 学術情報センター 運営委員会 (持ち回り)	17日 臨時教授会	4日 教授会		
18日	第14回理事会	5日 評議会		7日 生命・環境科学部 転学部・転学 科試験	5日 環境保健学 研究科委員会	9日 新入生召集日
28日	第12回 安全衛生委員会 (持ち回り)	7日 第2回学長選挙 管理委員会 7日 動物病院運営 会議(持ち回り) 7日 大学院奨学金 返還免除候補 選考委員会 10日 生涯学習委員会 10日 生物研運営委員会 11日 第7回教員評価基準に 関する検討委員会 14日 第3回学長選挙 管理委員会 15日 卒業式 18日 公務員全国公開 模擬試験(就職) 19日 研究推進・支援 本部会 20日 国際交流委員会 20日 新クラス担任 連絡会 22日 ミニ・オープンキャンパス 24日 動物病院運営会議 24日 キャリア・就職支援 対策委員会 24日 春期休業(～31日) 25日 教育推進センター FD研修会 26日 第4回学長選挙 管理委員会 26日 高大連携に係る 教育交流懇談会 27日 第8回教員評価基準に 関する検討委員会 (持ち回り) 27日 模擬選考実習 (就職)		13日 学部教務委員会 17日 学部教務委員会 17日 臨時教授会	5日 環境保健学研究科 FD研修会 5日 環境保健学研究科 FD研修会 6日 獣医学研究 科委員会	9日 部長会議 11日 部長会議 18日 部長会議 19日 学年会議 20日 進級会議 25日 終了式・離任式 25日 新年度準備会議 26日 春期休業 (～4/6)

### Ⅲ 財務の概要

#### 1. 財務状況の推移

#### 消費支出及び基本金組入額



( )は帰属収入に  
対しての比率

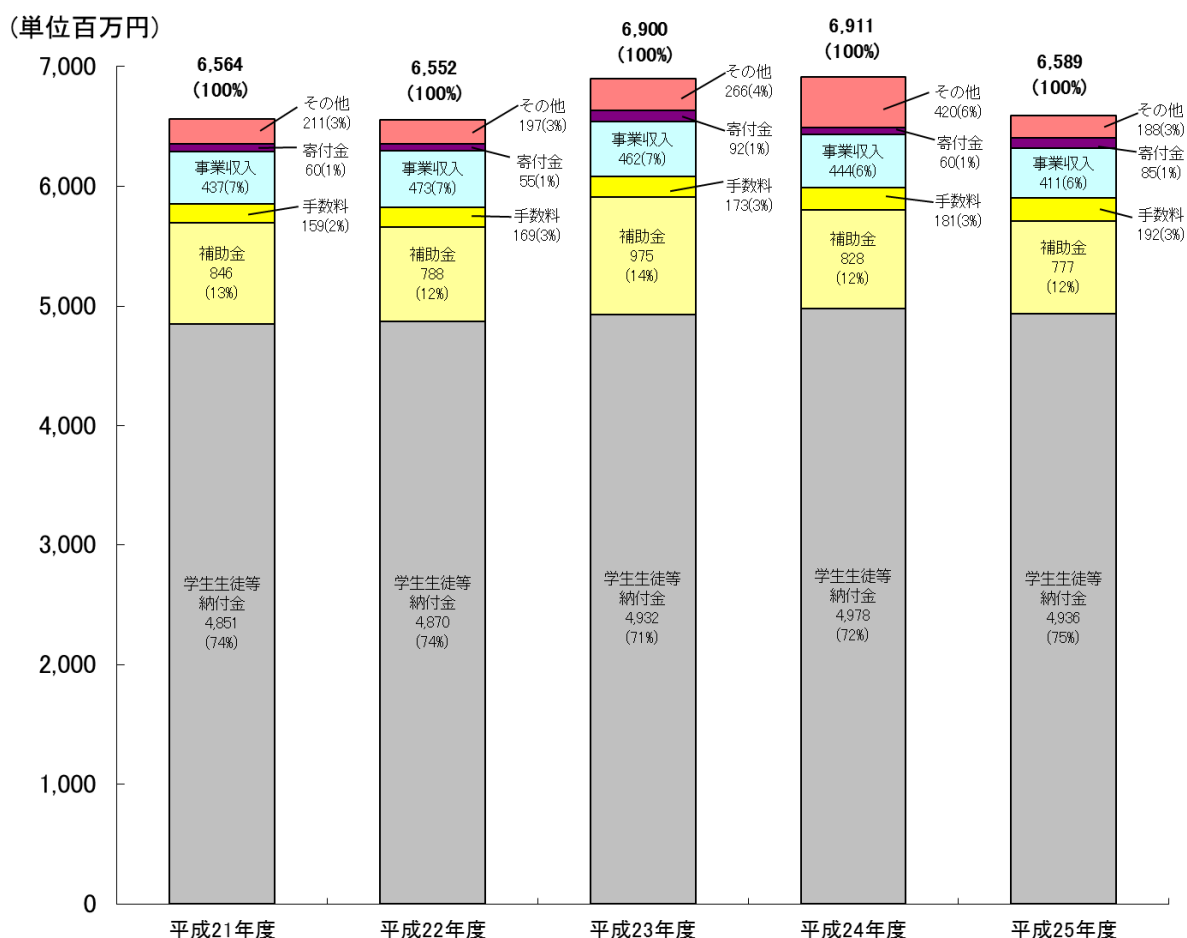
●消費支出とは、教育研究その他の諸活動に対応して消費した財貨と用役の額を示したもので、以下のようなものがある。

- 人件費  
教員人件費、職員人件費、退職給与引当繰入額など
- 教育研究経費  
消耗品費、光熱水費、業務委託費、減価償却費など
- 管理経費  
消耗品費、光熱水費、業務委託費、減価償却費など
- その他  
資産処分差額など上記各科目に該当しないもの

●基本金組入額とは、「学校法人の永続的維持に必要な資産を継続的に保持するため、維持すべきものとして帰属収入のうちから組み入れた金額」で、組み入れるべき金額としては、教育の用に供される固定資産額で、以下のようなものがある。

- 基本金組入額合計  
建物、構築物、教育研究用機器備品、図書などの取得価額の合計

### 帰属収入



( )は帰属収入に対しての比率

●帰属収入とは、学校法人の負債とならない収入で、以下のようなものがある。

- 学生生徒等納付金  
入学金, 授業料, 実験実習費など
- 補助金  
国庫補助金, 地方公共団体補助金など
- 手数料  
入学検定料, 試験料, 証明手数料など
- 事業収入  
附属病院収入, 受託事業収入など
- 寄付金  
特別寄付金, 一般寄付金, 現物寄付金
- その他  
受取利息配当金, 施設設備利用料, 雑収入など

2. 財務比率の推移

		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
消費収支計算書関係												
人件費比率	人件費	42.0	52.2	42.9	40.6	41.7	43.9	44.4	45.3	44.3	48.2	45.4
	↓ / 帰属収入	(52.0)	(52.2)	(51.3)	(52.0)	(51.4)	(52.8)	(52.6)	(52.9)	(54.0)	(52.8)	
人件費依存率	人件費	54.3	68.1	55.6	54.6	57.9	61.1	60.1	61.0	61.9	66.9	60.5
	↓ / 学生生徒等納付金	(69.6)	(70.2)	(70.7)	(71.3)	(71.7)	(72.3)	(72.4)	(72.0)	(74.4)	(71.9)	
教育研究経費比率	教育研究経費	32.2	35.4	33.2	42.2	42.2	38.3	37.4	37.4	37.4	38.8	39.8
	↑ / 帰属収入	(27.4)	(28.3)	(28.5)	(29.3)	(29.7)	(31.0)	(30.9)	(30.9)	(30.9)	(31.2)	
管理経費比率	管理経費	7.5	7.9	9.0	10.0	9.9	9.2	9.1	9.7	8.7	8.9	9.3
	↓ / 帰属収入	(7.9)	(8.5)	(8.5)	(8.5)	(8.7)	(9.9)	(10.3)	(8.8)	(8.7)	(9.2)	
借入金等利息比率	借入金等利息	0.2	0.1	0.3	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7	1.0	1.0	2.8
	↓ / 帰属収入	(0.6)	(0.5)	(0.5)	(0.5)	(0.5)	(0.4)	(0.4)	(0.4)	(0.4)	(0.3)	
消費収支比率	消費支出	94.5	100.8	93.1	132.5	96.7	100.7	116.0	107.4	155.3	101.7	174.4
	↓ / 消費収入	(105.7)	(107.2)	(107.5)	(107.8)	(108.3)	(115.0)	(110.8)	(110.5)	(109.2)	(107.9)	
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金	77.3	76.6	77.2	74.4	71.9	71.8	73.9	74.3	71.5	72.0	74.9
	~ / 帰属収入	(74.7)	(74.4)	(72.6)	(72.9)	(71.6)	(73.0)	(72.7)	(73.4)	(72.7)	(73.4)	
寄付金比率	寄付金	1.1	1.1	0.9	1.4	1.1	1.0	0.9	0.8	1.3	0.9	1.3
	↑ / 帰属収入	(2.3)	(1.9)	(3.4)	(2.3)	(3.0)	(2.4)	(2.5)	(2.6)	(2.3)	(2.0)	
補助金比率	補助金	12.9	12.5	12.5	13.2	14.3	13.9	12.9	12.0	14.1	12.0	11.8
	↑ / 帰属収入	(12.6)	(12.7)	(12.5)	(12.3)	(12.1)	(12.5)	(12.9)	(12.4)	(12.4)	(12.6)	
基本金組入率	基本金組入額	9.5	-8.7	7.7	27.9	0.0	8.0	20.8	12.7	30.2	0.0	43.9
	↑ / 帰属収入	(15.4)	(15.2)	(15.9)	(14.6)	(14.5)	(13.2)	(13.1)	(13.4)	(11.6)	(11.7)	
帰属収支差額率	帰属収入-消費支出	14.4	-9.6	14.1	4.5	3.3	7.3	8.2	6.3	-8.4	-1.7	2.3
	↑ / 帰属収入	(10.5)	(9.1)	(9.6)	(8.0)	(7.4)	(0.2)	(3.7)	(4.4)	(3.4)	(4.8)	
貸借対照表関係												
固定比率	固定資産	101.7	103.4	110.4	110.5	112.2	110.8	109.6	118.5	114.6	112.2	105.8
	↓ / 自己資金	(98.4)	(98.5)	(98.7)	(98.7)	(98.5)	(99.4)	(100.0)	(99.8)	(100.1)	(99.5)	
固定長期適合率	固定資産	96.5	95.9	94.7	94.9	96.9	96.5	96.1	96.3	93.1	92.5	92.2
	↓ / 自己資金+固定負債	(88.6)	(90.0)	(90.5)	(90.8)	(91.0)	(91.8)	(92.0)	(92.1)	(92.2)	(91.9)	
流動比率	流動資産	171.8	182.0	222.8	210.1	163.1	173.0	181.7	179.9	232.7	206.4	229.9
	↑ / 流動負債	(249.2)	(257.7)	(253.0)	(247.6)	(251.2)	(238.6)	(232.7)	(236.6)	(230.3)	(237.1)	
総負債比率	総負債	9.4	11.7	17.7	17.8	17.6	16.9	16.4	22.3	22.8	23.0	17.8
	↓ / 総資産	(16.3)	(14.1)	(13.6)	(13.4)	(12.8)	(12.7)	(13.2)	(12.8)	(13.1)	(12.8)	
負債比率	総負債	10.4	13.3	21.5	21.7	21.4	20.4	19.6	28.7	29.5	29.9	21.7
	↓ / 自己資金	(19.4)	(16.4)	(15.8)	(15.5)	(14.7)	(14.6)	(15.2)	(14.7)	(15.1)	(14.7)	
自己資金構成比率	自己資金	90.6	88.3	82.3	82.2	82.4	83.1	83.6	77.7	77.2	77.0	82.2
	↑ / 総資金	(83.7)	(85.9)	(86.4)	(86.6)	(87.2)	(87.3)	(86.8)	(87.2)	(86.9)	(87.2)	
消費収支差額構成比率	消費収支差額	-6.6	-6.8	-4.6	-10.2	-9.0	-9.0	-11.9	-12.2	-21.4	-19.7	-30.7
	↑ / 総資金	(-5.4)	(-2.3)	(-2.6)	(-3.6)	(-4.6)	(-6.8)	(-8.1)	(-9.3)	(-10.5)	(-11.2)	

【注】1. ( )内の数字は「今日の私学財政(大学・短期大学編)」(日本私立学校振興・共済事業団編)に記載されている医歯系法人を除く大学法人の平均値を示す。

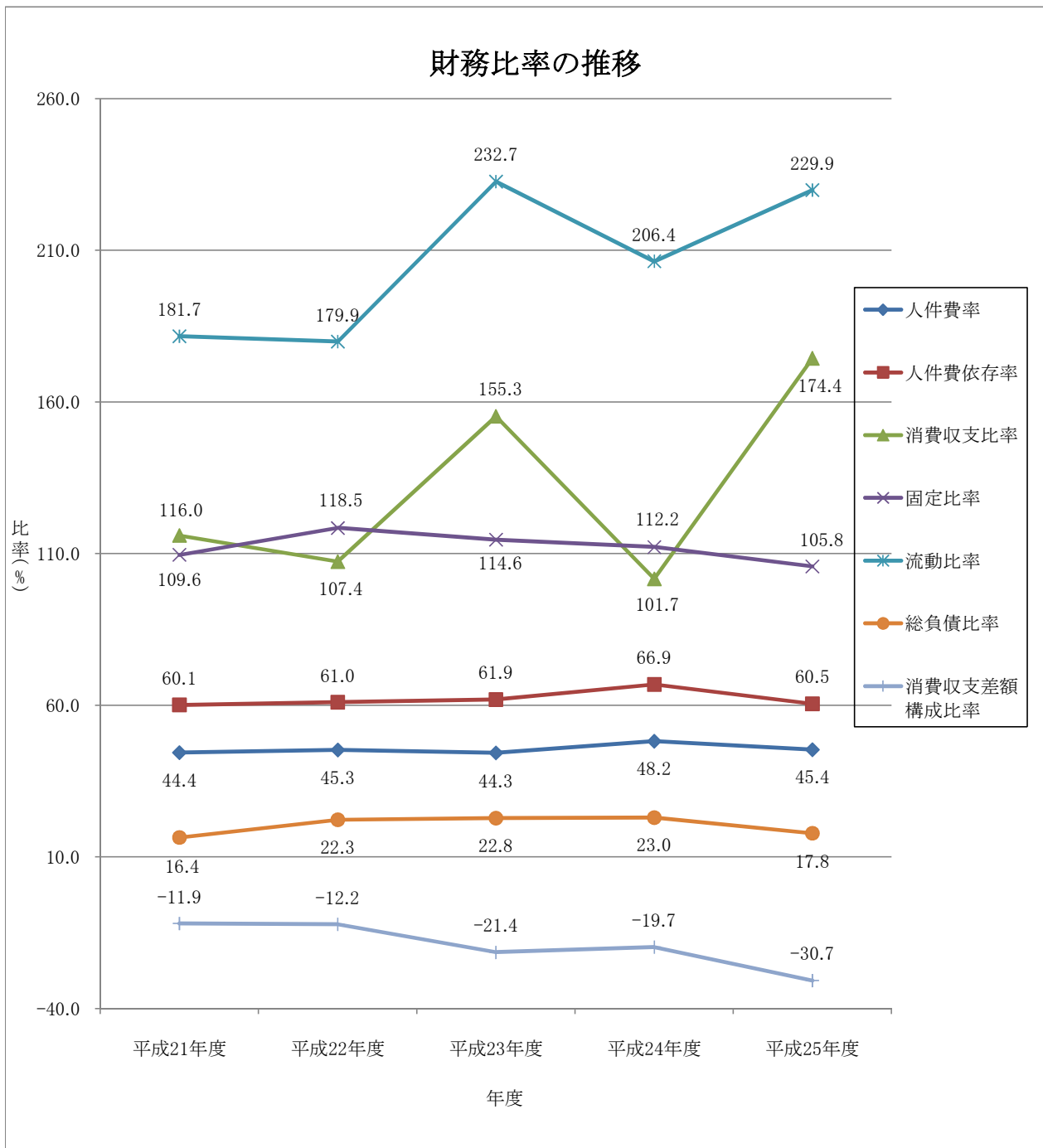
2. 総資金=負債+基本金+消費収支差額 自己資金=基本金+消費収支差額

3. ↑:高い値がよい。↓:低い値がよい。~:どちらともいえない。



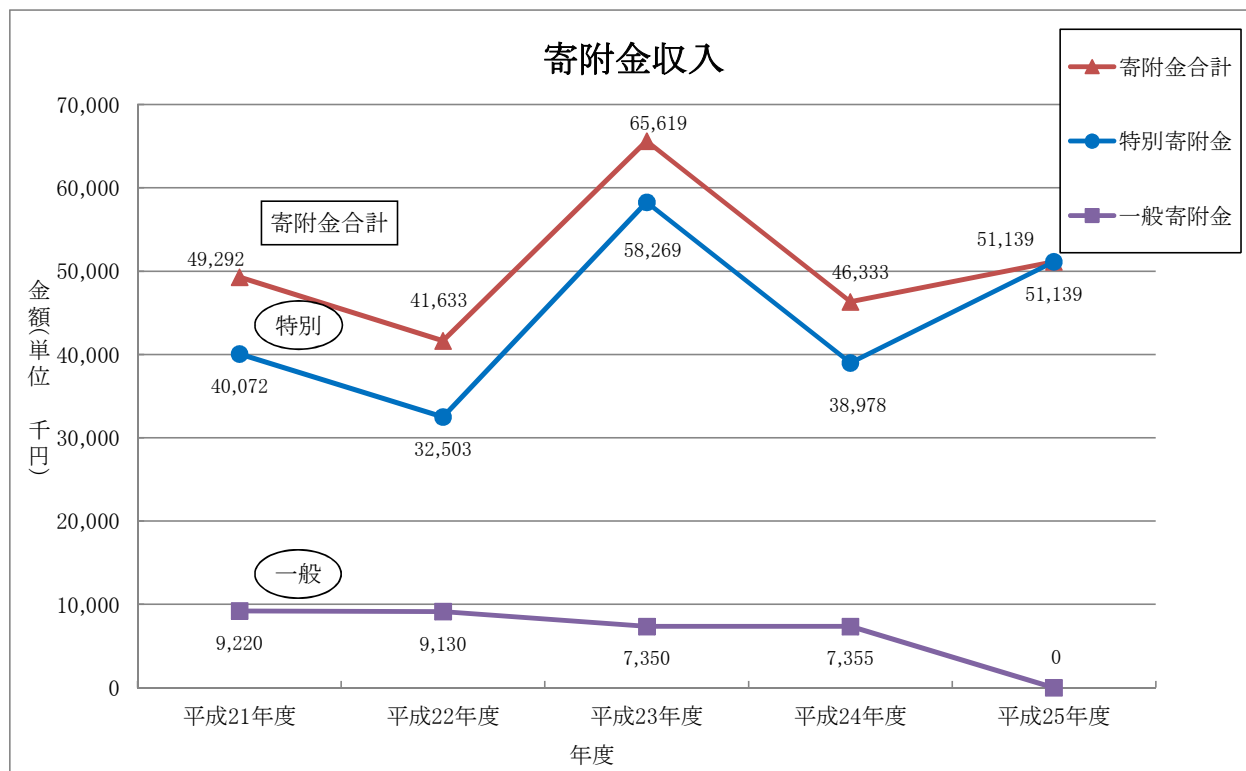
● 財務比率の推移

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
人件費率	人件費/帰属収入	44.4	45.3	44.3	48.2	45.4
人件費依存率	人件費/学生生徒等納付金	60.1	61.0	61.9	66.9	60.5
消費収支比率	消費支出/消費収入	116.0	107.4	155.3	101.7	174.4
固定比率	固定資産/自己資金	109.6	118.5	114.6	112.2	105.8
流動比率	流動資産/流動負債	181.7	179.9	232.7	206.4	229.9
総負債比率	総負債/総資産	16.4	22.3	22.8	23.0	17.8
消費収支差額構成比率	消費収支差額/総資金	-11.9	-12.2	-21.4	-19.7	-30.7



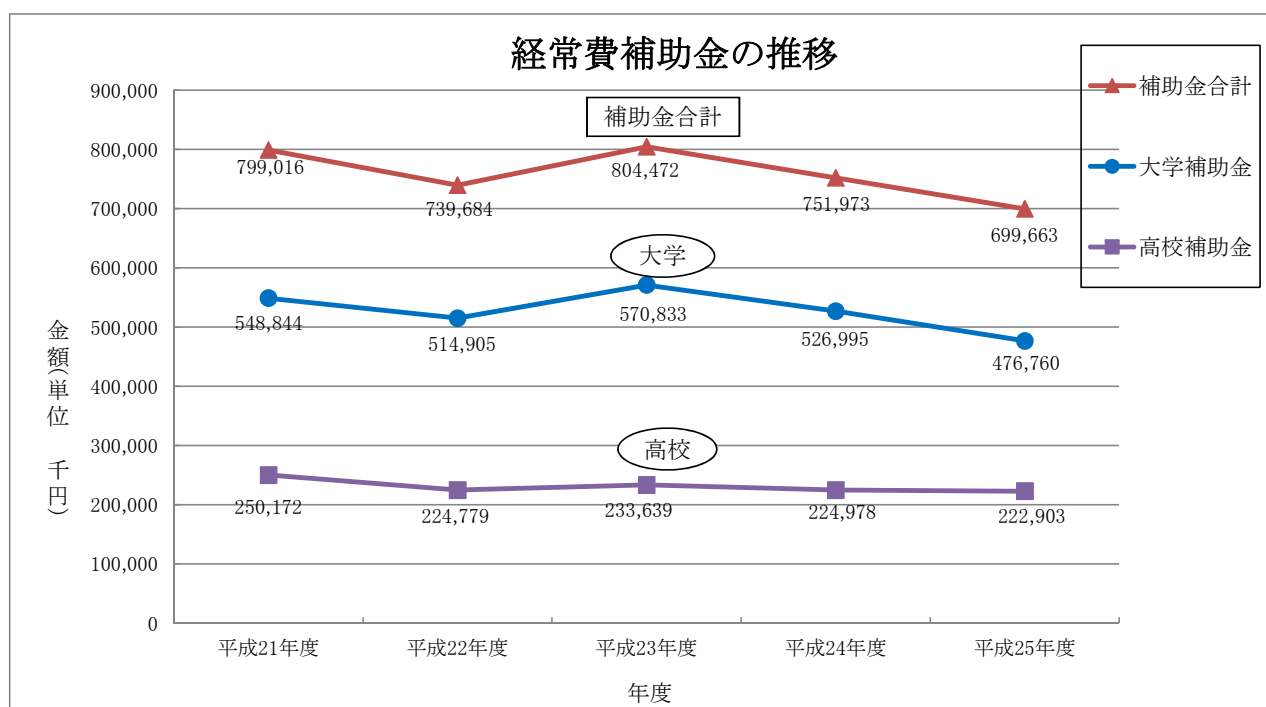
### 3. 寄附金収入の推移

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
一般寄附金	9,220,000	9,130,000	7,350,000	7,355,000	0
特別寄附金	40,072,100	32,502,955	58,269,310	38,977,662	51,138,600
寄附金合計	49,292,100	41,632,955	65,619,310	46,332,662	51,138,600

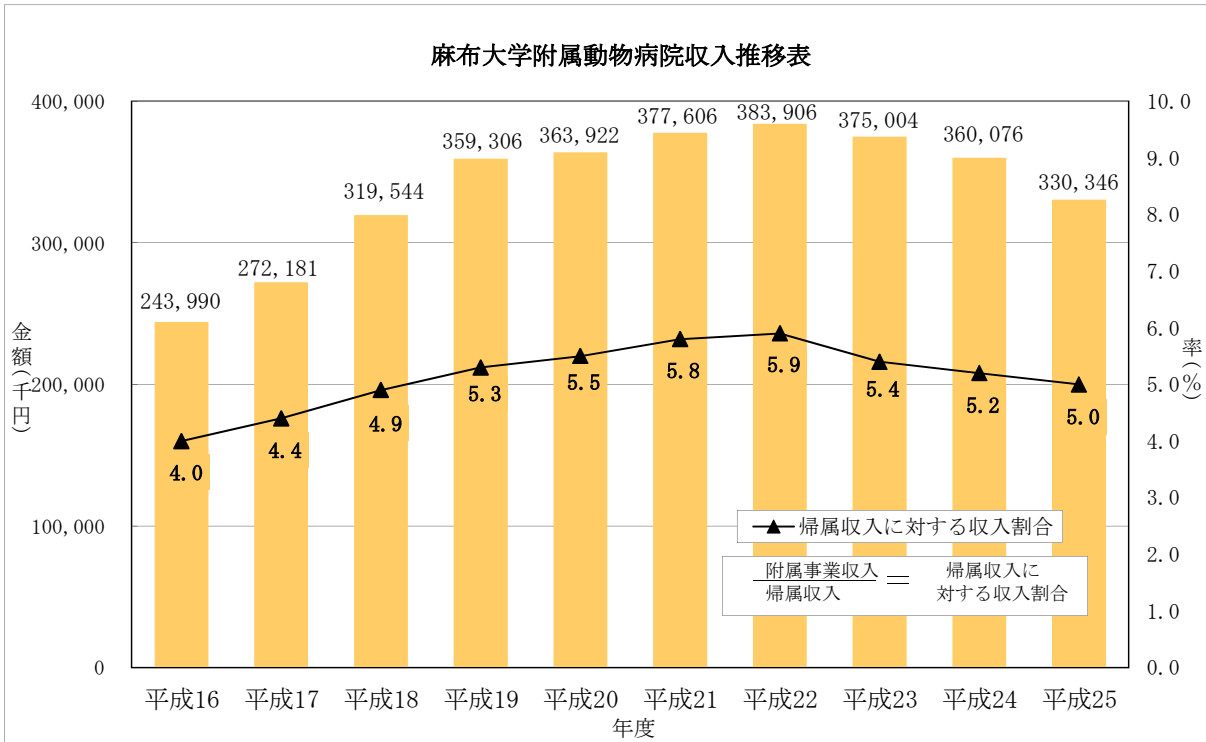


### 4. 経常費補助金の推移

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
大学補助金	548,844,000	514,905,000	570,833,000	526,995,000	476,760,000
高校補助金	250,172,000	224,779,000	233,639,000	224,978,000	222,903,000
補助金合計	799,016,000	739,684,000	804,472,000	751,973,000	699,663,000



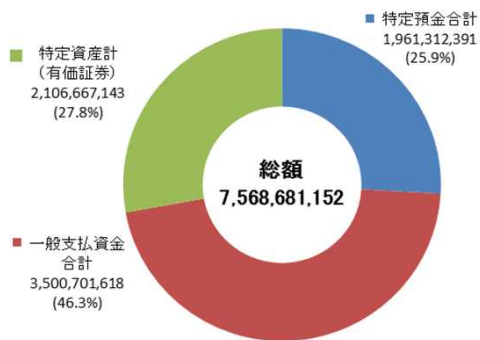
5. 動物病院収入の推移



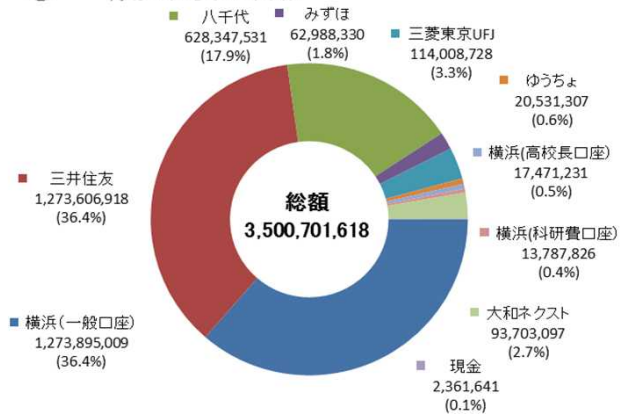
\* 動物病院は、平成19年4月に獣医学部附属から麻布大学附属動物病院に組織及び名称変更

6. 資産残高

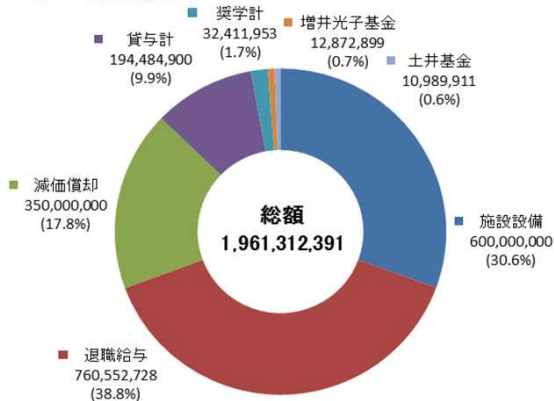
平成25年度末 資金残高表



① 一般支払資金明細



② 特定預金



③ 有価証券(商品別割合)

